

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	1	農業委員会費
---	---	--------	---	---	-----	---	---	--------

1	事業名	農業委員会管理費					担当課	農業委員会事務局
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)						予算現額
R5	57,981	国支出金	県支出金	地方債	業務委託金	一般財源		64,307
R4	59,694	0	6,823	0	265	50,893		執行率
R3	62,849							90.16 %

事業の趣旨・目的

農地法等に基づき、農地の売買や転用等の許認可業務に取り組むと共に、農地利用の最適化の推進に取り組む。また、優良農地の確保と有効利用を図るため、農地機構との連携を強め、農用地の担い手への集積・集約を行い、担い手の確保を支援する。

実施事業の内容

委員報酬	18,268
職員給与等	32,803
事務費等	6,910

(1) 総会開催状況

通常総会	1回	臨時総会	1回	定例総会	12回
------	----	------	----	------	-----

① 農地関係主要審議事項

審 議 事 項	処理件数	筆 数	申 請 面 積
農地法第3条関係 (耕作目的での権利移動等)	96 件	184 筆	107,521 m ²
農地法第4条関係 (自己転用)	42 件	58 筆	17,323 m ²
農地法第5条関係 (所有権移転等を伴う転用)	137 件	310 筆	186,345 m ²
農地法第18条関係 (賃貸借の解約等)	28 件	40 筆	34,518 m ²
非農地証明願	15 件	27 筆	13,389 m ²
非農地判断	0 件	0 筆	0 m ²
農用地利用集積関係			
賃貸借権設定	96 件	246 筆	267,854 m ²
使用貸借権設定	569 件	1,401 筆	1,310,943 m ²
所有権移転	0 件	0 筆	0 m ²
農地中間管理事業 (農地利用配分計画)	8 件	22 筆	22,662 m ²
許可後の事業計画変更申請 (承継含む)	21 件	106 筆	93,893 m ²
許可後の取消願	5 件	9 筆	5,661 m ²
許可申請の取下願 (許可後の変更申請の取下含む)	6 件	9 筆	7,406 m ²
競売買受適格証明願	0 件	0 筆	0 m ²
農地法第3条の3第1項届出 (相続による権利取得)	31 件	168 筆	101,533 m ²

② 農政関係主要審議事項

- ・ 農業振興地域整備計画の変更について
- ・ 農業委員会の組織活動目標計画について
- ・ 全国農業新聞の普及推進について
- ・ 「地域計画」について
- ・ 農地等利用の最適化の推進に関する意見について

(2) 諸証明等取扱状況

工事完了証明	93 件	贈与税、相続税の納税猶予適格者証明	1 件
工事完了届	45 件	賃借権(残存小作権)に係る名義変更届出	2 件
農業経営証明	9 件	農業者年金受給関係届出他	110 件

(3) 農地に関する活動

①農地利用状況調査(農地法第30条)

- ・農地パトロール手当 200

市内の農地(令和6年3月31日現在) 3,551ha

遊休農地	再生可能		山林化している農地		合 計	
	筆 数	面 積	筆 数	面 積	筆 数	面 積
令和3年度	382筆	20.7ha	10,900筆	441.6ha	11,282筆	435.3ha
令和4年度	257筆	14.6ha	10,807筆	401.5ha	11,064筆	416.1ha
令和5年度	193筆	10.5ha	10,802筆	400.7ha	10,995筆	411.2ha

②遊休農地対策

- ・利用意向調査(農地法第32条) 48人、91筆、61,353m²
- ・文書等による指導 83件、158筆、125,074m²

(4) 農政に関する活動

①意見、政策提案活動

- ・全国農業委員会会長大会、代表者集会参加負担金 150
- ・県及び市へ農業施策に関する意見書提出 各1回

②定例農家相談会

市役所本庁	(毎月 5日)
綾歌市民総合センター	(毎月10日)
飯山市民総合センター	(毎月27日)

③委員研修

- ・県外先進地視察研修 206
 - 農事組合法人奥山営農組合(岡山県笠岡市)
 - 笠岡ベイファーム(〃)
- ・市町農業委員・農地利用最適化推進委員研修会参加

④情報提供活動

- ・農業委員会だより発行(年1回) 5千部 192
- ・全国農業新聞の普及推進

⑤農業者年金の加入促進

事業の成果・課題

農地の有効利用と遊休農地の発生防止のため、農業委員・農地利用最適化推進委員により農地利用の状況調査を行った。その結果をもとに利用意向調査を行い、農地機構の紹介や、管理指導などを行った。その結果、遊休農地の解消面積は4.9haの成果があった。今後も適切な許認可事務と、農地利用の最適化の推進を図るとともに、農林水産課において作成する「地域計画」の基となる「目標地図」の作成等、地域農業が持続的に発展できるよう関係機関との連携により、各種施策に取り組んでいく。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	2	農業総務費
1	事業名	農業総務管理費				担当課	農林水産課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	130,630	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	135,394	
R4	113,094	0	0	0		130,630	執行率	
R3	104,061						96.48 %	
事業の趣旨・目的								
農業振興地域整備計画変更に伴う事務費や委託料、農地集積専門員の配置に伴う負担金、総務的管理費を計上し、農業行政を推進する。								
実施事業の内容								
職員給与等						125,827		
農業振興地域整備計画システム保守業務委託料						1,199		
農業振興地域整備計画変更に係る基礎調査業務委託料						1,881		
農地集積専門員配置負担金						675		
事務費等						1,048		
事業の成果・課題								
農業振興地域整備計画については、概ね5年毎に国の指針変更等に対応するため、令和7年1月に本市計画の全体見直しを完了予定としており、令和5年度はその基礎資料とするための基礎調査業務を行った。 今後は、地図情報システムの有効活用や農地の利用状況の把握に努め、農地集積や農地利用計画変更の相談・照会対応へ活用することで、農業施策の充実につなげていく。								

款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	3	農業振興費	
1		事業名		農業振興事業費				担当課		農林水産課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）							予算現額		
R5	99,595	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源		108,557			
R4	19,062	63,323	8,594	0	2,952	24,726	執行率				
R3	14,966						91.74 %				
事業の趣旨・目的											
地域農業を担う農業者の育成・確保のために丸亀市地域農業再生協議会を活用するとともに、農業者所得保障のための収入保険を取り扱う農業共済組合を支援する。主要農作物である米の消費拡大を図るとともに、市民農園の利用を通じて、市民の農業に対する普及啓発を行う。また、有害鳥獣による農作物被害の防止を目的に捕獲活動等を実施する。米麦や大豆等の栽培農家の経営所得安定対策の円滑な推進のため、関係農業者の支援等を行う。さらに臨時事業として「丸亀産おいでまい配布事業」を実施することで、米の消費拡大、子育て世帯の家計負担軽減、地産地消の推進を図る。											
実施事業の内容											
担い手経営活性化事業費										805	
丸亀市地域農業再生協議会負担金										280	
「第25回全国農業担い手サミット（東京）」出席負担金等										62	
農業収入安定化支援対策事業補助金（12件）										413	
大型特殊免許取得費補助金（1件）										50	
農業改善普及事業費										997	
香川県中讃農業改良普及協議会負担金										139	
香川県農業共済組合補助金										858	
いきいきふるさと推進事業費										7,586	
土地借上料（3地区）										106	
レクリエーション農園およびコミュニティ農園空き区画等維持管理委託料										570	
市内産農産物PR事業業務委託料（せとうち旬彩館）										700	
さぬき富士桃の里まつり開催補助金										1,700	
第18回桃喰うまつりにかかるステージ、テント等設営撤去業務委託料										779	
富熊レクリエーション農園区画整備工事費										2,935	
富熊レクリエーション農園区画整備測量設計業務委託料										499	
地産地消推進事業負担金 7件										100	
光熱水費及び事務費等										197	
有害鳥獣捕獲事業費										22,483	
鳥獣被害防止対策実施隊報酬										70	
有害鳥獣捕獲報奨金										13,496	
事業名				捕獲頭数		捕獲報償金		特定財源			
アライグマ・ヌートリア等 防除支援事業				アライグマ 1頭		111		—			
				ハクビシン 6頭							
				ヌートリア 20頭							

〔表の続き〕

鳥獣捕獲等助成事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金	イノシシ	764頭	13,385	県	4,193
	内訳本島	265頭			
	広島	339頭			
	手島	19頭			
	小手島	12頭			
	丸亀	30頭			
	綾歌	75頭			
	飯山	24頭			

イノシシ等捕獲器導入 (箱わな25基ほか)

6,243

猟友会等運営補助金

1,442

旅費及び事務費等

1,232

経営所得安定対策等推進事業費

4,401

補助金

4,401

助成先: (事業実施主体) 丸亀市地域農業再生協議会

【内訳】 派遣職員賃金 (2人) 他

丸亀産おいでまい配布事業費

63,323

印刷製本費

186

通信運搬費

14

おいでまい配布に係る業務委託料

63,123

(配送分3,653件、讃さん広場受け渡し分17,594件、市役所受け渡し分20件 計21,267件)

事業の成果・課題

有害鳥獣対策として猟友会による見回りや追い払いのほか、増加傾向にあった島嶼部のイノシシについて集中捕獲を実施するなど農作物や生活環境被害の軽減に努めた。

農業関係者団体で構成される丸亀市地域農業再生協議会は、担い手の育成・確保や耕作放棄地の再生利用など、地域農業の振興に大きく寄与している。昨年度に引き続き、収入保険制度加入者の保険料の一部に対し補助を行い、農業経営を支援した。また、臨時事業として「丸亀産おいでまい配布事業」で22歳以下の市民に丸亀産おいでまい5kgを配布し、市内産米の消費拡大、地産地消の推進及び対象者の家計負担軽減に努めた。

2	事業名	農業振興事業補助金				担当課	農林水産課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	16,499	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	19,782
R4	19,789	0	7,100	0	140	9,259	執行率
R3	24,936						83.40 %

事業の趣旨・目的

米麦、指定野菜及び果樹の品質向上と生産振興を図るために、薬剤や種苗等の購入助成を行う。

農地借入に対する支援や制度資金に係る利子助成を行うことで、認定農業者の経営規模拡大による農業経営の安定化を図る。女性農業者組織等への支援により地域農業の活性化を図り、新規就農者へは、就農後の定着を図るための助成を行っている。

集落営農の法人化等への取組に対し助成すると共に、農地の集積や農地の有効利用に努めることで地域農業の振興を図る。また、有害鳥獣による農作物被害防止のための補助により農地の適正管理を図る。

実施事業の内容

米麦生産振興事業補助金 2,954

事業名	事業主体	事業内容	補助金額
米麦生産振興総合対策事業	J A 丸亀支店	スクミノン 1,998kg カメムシ防除用薬剤 4,361kg 麦優良種子導入 さぬきの夢2009 5,910kg イチバンボシ 6,080kg	1,047
	J A 飯山支店	スクミノン 2,768kg カメムシ防除用薬剤 4,773kg 麦優良種子導入 さぬきの夢2009 21,180kg イチバンボシ 9,940kg	1,907

園芸特産物振興事業補助金 2,505

事業名	事業主体	事業内容	補助金額
園芸特産物生産振興総合対策事業 (農業生産資材廃棄物 適正処理推進対策型)	J A ふれあいセ ンター丸亀店	廃棄ビニール等回収処理 残農薬・農薬空き容器処理	75
	J A 飯山支店		184
園芸特産物生産振興総合対策事業 (施設園芸育成整備 対策型)	J A 丸亀支店	ハウス被覆資材	286
	J A 飯山支店		462
園芸特産物生産振興総合対策事業 (優良種苗導入型)	J A 丸亀地区 玉葱部会	玉葱種子導入	103
	J A 丸亀地区 レタス部会	レタス種苗導入	122
	J A 飯山支店	レタス種苗導入	216
果樹産地総合振興事業	J A 飯山支店	桃品質向上対策 二重袋普及、桃苗木導入助成	1,057

農業経営支援事業補助金 420

農業経営基盤強化資金利子助成補助金 (2件) 20

農業経営研究活動事業補助金 (1件) 400

生活研究等組織活動支援事業費 430

農業生産組織活動事業補助金 (1件) 130

生活研究活動事業補助金 (1件) 300

新規就農者確保事業補助金 3,750

新規就農者確保事業補助金 (1人) 750

新規就農者経営発展支援事業補助金 (2人) 3,000

環境保全型農業直接支援対策事業補助金 427

環境保全型農業直接支払交付金 (3件、取組面積計3.15ha) 427

農地集積支援事業費補助金		4,174
農地集積支援事業費補助金 (35件、計20.46ha)	2,046	
香川県マッチング促進基盤整備事業補助金 (防草シート設置 1件)	1,232	
認定農業者農地集積支援事業費補助金 (14件、計8.96ha)	896	
明日の農業を守る鳥獣被害防止対策事業補助金		1,699
防護柵等設置補助金 (36件)	1,334	
狩猟免許取得補助金 (11件)	365	
有機農業等推進事業補助金		140
有機転換推進事業補助金 (1件)	50	
環境にやさしい農業推進事業補助金 (1件)	90	

事業の成果・課題

水稻に対する適正な薬剤散布により品質の向上及び収量の確保が図られているほか、麦類の優良種子導入により生産性及び品質の向上を図ることで作付面積の拡大に寄与しているため、引き続き支援を行っていく。また、指定野菜や果樹についても、種苗助成等により産地の維持が図られ一定程度の成果が見られるため、引き続き支援していく。

組織活動への支援については、組織会員の相互研鑽が積極的に図られ、さらなる営農技術の向上につながっている。

新規就農認定期間終了者の中には、認定農業者へステップアップし規模拡大等を通じて地域農業の担い手となっている農業者もいることから、今後も継続して事業を行い、新たな地域の担い手農家の育成・確保に努める。

農地集積支援事業については、新たに農地中間管理機構を通じ、借り受けた農地の契約更新についても支援し、担い手への農地集積を進めていく。

鳥獣被害防止対策として、イノシシ等の農地への侵入防護柵の設置に対する補助及び狩猟免許取得にかかる費用の補助や啓発を行うなど有害鳥獣による農業被害の軽減に努めた。

有機農業等推進事業については、有機農業をはじめとする自然環境に配慮した農業者を支援し、有機農業等の経営安定を図り、取組の拡大につながるよう努めた。

3	事業名	6次産業化推進事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	2,085	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,500
R4	2,500	0	0	0		2,085	執行率
R3	1,500						83.40 %

事業の趣旨・目的

農産物の生産、加工及び流通・販売の各事業者間の交流とマッチングを行うことで、6次産業化を推進する。

実施事業の内容

6次産業化推進事業費	2,085
6次化マッチング事業業務委託料	600
参加事業者: 5者	
参加生産者: 6人	
新商品開発及び販売開始: 1件	
6ジカ事業PRイベント「丸亀農産物マルシェ」運営業務委託料 (7/9、3/20開催)	1,485

事業の成果・課題

生産者1名、加工・小売店等の事業者5者からWEBで登録があり、それぞれの意向に沿う形でビジネスマッチングを行った結果、4件が商談成立となる成果が得られた。

また、規格外で市場には出荷できない農産物等を直接消費者に紹介するホームページの運営や「丸亀農産物マルシェ」を7/9にマルタス、3/20に市役所西側道路「高質空間」で令和5年度より2回開催し、6次産業化を通して生まれた加工品の販売を行い来場者にPRした。今後もビジネスマッチングの継続と新商品開発の取組に努めていく。

4	事業名	主食用米生産臨時支援事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	80,543	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	114,000
R4	—	0	0	0		80,543	執行率
R3	—						70.65 %

事業の趣旨・目的

肥料や農薬等の農業生産資材及び燃油の高騰のため経営継続に支障をきたしている市内の稲作農業者に対して交付するもので、農業者の次期作付に向けた生産意欲の向上と営農継続を支援する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（31,975）	
通信運搬費	213
手数料	368
申請書作成・発送及び申請受付等業務委託料	3,254
主食用米生産臨時支援事業補助金（1,340件）	76,708

事業の成果・課題

市独自の事業として、令和5年度に主食用米を作付けした市内の米農家に対して支援金を交付し、次期作付に向けた生産意欲の向上と営農継続の支援を行った。合計1,340件の申請があり、76,708千円を交付した。なお、予算を繰り越して令和6年度も継続して事業を行う。

5	事業名	農業施設整備補助金				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	23,557	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	24,059
R4	50,335	0	16,247	0		7,310	執行率
R3	54,993						97.91 %

事業の趣旨・目的

地域農業の担い手である認定農業者等の農業生産力を向上させ、需要に見合った米麦等の生産量を維持するため、農業用機械の導入を支援する。

また、集落営農組織を対象とした機械導入支援事業では、組織の発展に寄与し、継続的な農業生産活動の一助となるよう支援する。さらに、新規就農者に対し、就農初期の安定を図るために機械施設等の導入について支援する。

実施事業の内容

集落営農施設整備等支援事業補助金

21,620

事業名	事業内容	補助金額	特定財源
みんなで守る地域 農業支援事業	(営)・コンバイン 1台	2,909	県 2,006
	(営)・トラクター 1台 (ア)・ロータリー 1台 (営)・粃摺機 1台 (ア)・施肥播種機 1台 (ア)・アッパーローター 1台	3,996	県 2,756
	(営)・ハイクリブーム 1台	2,136	県 1,473
	(営)・トラクター 1台 (ア)・施肥播種機 1台 (営)・自走ラジコン動噴 1台	2,778	県 1,916
	(営)・トラクター 1台 (営)・一輪管理機 1台 (営)・法面畔草刈機 1台 (営)・法面草刈機 1台 (営)・中型管理機 1台 (ア)・施肥播種機 1台	3,530	県 2,435
	(ア)・溝堀機 1台 (営)・一輪管理機 1台	323	県 223
	(営)・乗用管理機 1台 (ア)・掘取機 1台	2,297	県 1,584
	(営)・トラクター 1台 (ア)・アッパーロータリー 1台 (営)・一輪管理機 1台 (集)・乾燥機 1台	3,651	県 2,518
	※ (営)：営農用機械・器具本体 (ア)：アタッチメント (集)：集出荷機械・器具		

新規就農者サポート事業補助金（施設整備）

1,937

事業名	事業内容	補助金額	特定財源
新規就農者の 経営発展支援事業	(営)・ステレオスプレーヤ 1台	1,937	県 1,336

事業の成果・課題

地域を支える集落営農施設整備等支援事業により、機械等導入を支援し、集落単位での農地の集積が進み農業生産力の向上が図られている。

新規就農者には経営発展支援事業により就農初期の経営の安定を図るため、機械の導入支援を行い、農地保全、農業経営の安定化が図られている。

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	4	畜産業費
---	---	--------	---	---	-----	---	---	------

1	事業名	畜産業管理費					担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	187	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	229	
R4	187	0	0	0		187	執行率	
R3	187						81.66 %	
事業の趣旨・目的								
関係機関と連携し、畜産業の推進を図る。								
実施事業の内容								
県畜産協会負担金及び県畜魂祭負担金等							187	
事業の成果・課題								
公益財団法人香川県畜産協会は、国等が実施する畜産関係事業全般について、県下全域の取り組みを行っている機関であり、本市畜産農家が取り組む事業の円滑な推進に寄与している。また、本事業の対象団体は県下全域を担う広域的組織であるため、運営に関わる関係市町と協調が重要であり、関係する市町の動向等も勘案し負担金等の適正化に努める。								

2	事業名	畜産業振興事業費					担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	360	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	360	
R4	360	0	0	0		360	執行率	
R3	360						100.00 %	
事業の趣旨・目的								
畜産農家の経営向上及び産地育成のため、肉用牛の育成に係る研究活動を行う。								
実施事業の内容								
肉用牛産地育成事業補助金							360	
事業の成果・課題								
本事業を活用して、年に1回共励会を開催するなど会員相互の研鑽や畜産経営の技術等の向上に取り組んでいるが、高齢化に伴い廃業するケースや、新たな畜産経営の担い手農家がないことが、本市の畜産業の課題となっている。								

款	6	農林水産業費	項	1	農業費	目	5	農地費
---	---	--------	---	---	-----	---	---	-----

1	事業名	農地管理費					担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	36,866	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源	37,342	
R4	38,850	0	0	0	4,768	32,098	執行率	
R3	39,211						98.73 %	

事業の趣旨・目的

農業生産に不可欠な農業用水を安定的に確保するための負担金。関係団体との連携のもと、土地改良事業の推進を図る。

実施事業の内容

旅費	6
需用費	380
委託料	4,415
使用料及び賃借料	42
負担金、補助金及び交付金	32,023
香川用水土地改良区経常費賦課金	8,492
香川県土地改良事業団体連合会一般賦課金	3
吉野川総合開発香川用水事業推進協議会会員負担金	716
香川用水事業推進協議会負担金	30
農道台帳管理事業賦課金	82
仲多度土地改良事業推進協議会一般賦課金	10
綾歌土地改良協議会一般会費	3
田万ダム管理委員会負担金	450
香川用水維持管理負担金	21,879
満濃池環境保全事業負担金	154
荒井堰等管理負担金	6
聖池維持管理事業補助金	198

事業の成果・課題

当該事業の負担金は、農業用水の配水や施設の維持管理に係る費用等の市負担分であり、農業者負担の軽減につながっていることから、各団体と連携し今後も継続的に行い、土地改良事業の推進に努める。

2	事業名	農道、排水路維持補修費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）				予算現額	
R5	7,131	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	8,633
R4	7,734	0	0	0		7,131	執行率
R3	6,551						82.60 %

事業の趣旨・目的

土地改良施設の適切な維持管理を行うため、かんがい排水路の土砂運搬及び農道等の維持補修に要する材料支給を行う。

実施事業の内容							
委託料							5,959
かんがい排水路土砂運搬委託料							4,598
水路清掃等委託料							1,361
資材費							1,172
生コン・花崗土 支給							
事業の成果・課題							
水利組合や自治会が行った水路清掃による土砂の撤去処分を実施するとともに、農道等の整地やコンクリート打設に伴う原材料の支給を行った。この取組は農道や水路等の維持管理における地元負担の軽減となることから、引き続き支援する。							
3	事業名	農業土木振興事業補助事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	19,480	国支出金	県支出金	地方債	寄付金	一般財源	19,500
R4	7,500	0	0	0	2,500	16,980	執行率
R3	7,500						99.90 %
事業の趣旨・目的							
各土地改良団体に補助金を交付することにより、地区内の土地改良事業の調整や農業関連施設の適切な維持管理を行う。							
実施事業の内容							
丸亀市土地改良区運営補助金							2,000
綾歌町土地改良団体連絡協議会運営補助金							2,000
飯山町土地改良団体連絡協議会運営補助金							2,000
ため池草刈業務補助金							1,500
ラジコン草刈機購入補助金							11,980
事業の成果・課題							
土地改良区は、地区内の土地改良施設を適正管理するとともに、施設整備を行っている。土地改良施設を安定的に維持していくためには、土地改良区の持続的な運営が必要であることから運営補助を行うとともに、ため池法面等の草刈り業務の省力化を図るため3土地改良区のラジコン草刈機の購入補助を行った。							
4	事業名	多面的機能支払交付金事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	136,432	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	136,685
R4	141,751	0	102,470	0		33,962	執行率
R3	142,635						99.81 %
事業の趣旨・目的							
多面的機能を支える共同活動及び地域資源（ため池・水路・農道等）の長寿命化を図る活動を国・県と連携して支援する。							

実施事業の内容					
需用費					48
委託料					1,521
実績報告書確認作業等委託料					
負担金、補助及び交付金					134,114
多面的機能支払交付金事業補助金					
12 活動組織	綾歌	2	組織 (1広域協定含む)		
	飯山	3	組織 (1広域協定含む)		
	丸亀	7	組織 (1広域協定含む)		
償還金、利子及び割引料					749
過年度県補助金返還金					

事業の成果・課題					
当該事業により、農道や水路、ため池等の土地改良施設の維持管理や修繕等を行い、地域資源の適切な保全、施設の長寿命化に寄与している。					
農業者の高齢化等により、土地改良施設の適切な保全が年々困難になってきている中、継続的な組織活動を推進し、農地の多面的機能の充実に努めていく。					

5	事業名	土地改良事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	189,482	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	252,979
R4	139,975	0	0	40,400		149,082	執行率
R3	150,709						74.90 %

事業の趣旨・目的					
土地改良施設の改修工事に対し、市が補助をすることにより農家の負担を軽減するほか、農道舗装工事を実施することで生産性の向上や維持管理の軽減に寄与する。					
また、農村地域の防災力向上を図ることを目的とした県営農地防災事業により土地改良施設の改修事業等を実施する。					

実施事業の内容					
【予算現額のうち翌年度繰越額】 (55,357)					
単独県費補助土地改良事業補助金					44,995
番号	地区名	工 種	事業量	事業費	市補助金
1	聖池 地区	ため池	L=27m	11,200	5,040
2	道上 地区	水 路	L=111m	8,130	3,252
3	八尺 地区	樋 門	1基	4,050	1,620
4	大林 地区	樋 門	1基	3,300	1,320
5	中の池 地区	水 路	L=108m	7,470	2,988
6	庄之池 地区	水 路	L=23m	2,400	960
7	辺池 地区	水 路	L=36m	8,510	3,404
8	丸亀支線 地区	樋 門	1基	20,000	8,000
9	百々路股 地区	水 路	L=53m	2,230	892
10	仁王池 地区	ため池	L=30m	10,900	4,905
11	川井 地区	水 路	L=70m	2,970	1,188
12	小津森池 地区	ため池	L=99m	7,000	3,150
13	岡田東 地区	水 路	L=73m	12,790	5,116
14	大縄 地区	水 路	L=66m	3,100	1,240
15	俊正 地区	水 路	L=117m	4,800	1,920
計				108,850	44,995

単独市費補助土地改良事業補助金 51,078

単独市費補助土地改良事業補助金(工事費等補助分) 51,050

番号	工 種	件 数	事業費	市補助金
1	た め 池	7 件	5,860	5,612
2	水 路	52 件	42,213	37,968
3	樋 門	3 件	1,935	1,504
4	揚 水 機	1 件	660	594
5	農 道	8 件	5,973	5,372
	計	71 件	56,641	51,050

土地改良事業特別賦課金補助金 綾歌地区 28

土地改良施設維持管理適正化事業補助金 3,117

番号	地区名	対象年度	事業費	市補助金
1	油山池2 地区	R2～R6	14,400	864
2	輪工池 地区	R2～R6	5,000	300
3	奥池 地区	R3～R7	6,800	748
4	奥池2 地区	R4～R8	5,500	605
5	金丸池 地区	R4～R8	8,000	480
6	金丸池2 地区	R5～R9	2,000	120
	計		41,700	3,117

土地改良施設整備事業費 85,562

工事請負費 82,326

農業用排水施設修繕等	(15件)	8,889
排水対策工事	(12件)	23,665
交通安全施設設置工事等	(10件)	2,775
農道舗装	(58件)	46,997

委託料 3,236

県営土地改良事業負担金 4,730

負担金、補助金及び交付金

香川用水施設緊急改築事業負担金	570
事業特別賦課金	178
地域ため池総合整備事業負担金	1,727
ため池保全管理サポートセンター業務負担金	333
経営体育成基盤整備事業負担金(岡田上地区)	1,562
経営体育成促進換地等調整事業補助金(岡田上地区)	360

事業の成果・課題

土地改良施設の更新、改修等は、農業生産性の維持、向上と農業経営の安定化につながることから、地域からの土地改良施設の改修要望等に対し、土地改良区等と連携しながら事業の実施を進めており、県営事業においても、ため池の防災減災や水路の改修、農地の区画整理等の取組を行っている。

また、単独県費補助土地改良事業6地区、県営土地改良事業3地区、土地改良施設整備事業1地区については、年度内の工事完了が困難なため、繰り越して実施する。

6	事業名	土地改良事業費（繰越明許費）				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	82,727	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	84,437
R4	13,800	0	0	20,300		62,427	執行率
R3	24,435						97.97 %

事業の趣旨・目的

土地改良施設の改修工事に対し、市が上乘せ補助をすることにより、農家の負担を軽減する。
また、農村地域の防災力向上を図るため県営農地防災事業により土地改良施設の改修事業を実施する。

実施事業の内容

単独県費補助土地改良事業補助金

81,077

番号	地区名	工 種	事業量	事業費	市補助金
1	中屋敷 地区	樋門	N=1基	20,180	8,072
2	宝幢寺 地区	揚水機	N=1式	15,590	6,236
3	樋ノ口2号 地区	水路	L=119m	4,240	1,696
4	樋ノロー一股 地区	水路	L=93m	2,680	1,072
5	上法沖 地区	水路	L=39m	2,180	872
6	大窪池 地区	水路	L=10m	10,580	4,232
7	名 地区	水路	L=43m	6,480	2,592
8	袖村 地区	水路	L=49m	2,480	992
9	宮野井 地区	水路(出水)	1箇所	23,640	9,456
10	滝の鼻 地区	水路	L=153m	13,700	6,165
11	赤坂 地区	水路	L=130m	23,150	10,759
12	土路池 地区	揚水機	N=1式	4,850	1,940
13	宮池 地区	水路	L=76m	12,000	4,800
14	河内谷下池 地区	ため池	1箇所	42,820	19,269
15	岡田東 地区	水路	L=40m	7,310	2,924
計				191,880	81,077

県営土地改良事業負担金

1,650

県営地域ため池整備事業負担金（丸亀南部）

1,650

事業の成果・課題

令和4年度において、県から単独県費補助土地改良事業15地区他の補助金等の追加割当を受け、事業費は確保されたが、工程的に年度内完了が困難であったため、繰越し対応とし令和5年度に整備を完了させた。

7	事業名	農地耕作条件改善事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	24,456	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	24,456
R4	—	0	0	1,600		22,856	執行率
R3	—						100.00 %

事業の趣旨・目的

ほ場整備等による土地改良施設の改修工事に対し、市が補助することにより、農業者負担の軽減を図る。

実施事業の内容

農地耕作条件改善事業補助金

24,456

番号	地区名	工種	総事業量	事業費	市補助金
1	三谷中地区	区画整理	4.5ha	15,458	14,683
2	一里塚地区	区画整理	8.2ha	5,383	4,608
3	小津森地区	区画整理	7.4ha	17,831	5,165
計				38,672	24,456

事業の成果・課題

区画整理の実施により、農業者の生産性の向上や農地集積が推進され、農業経営の合理化・安定化につながるため、国・県の補助事業を活用し事業を実施した。

8	事業名	農地耕作条件改善事業費（繰越明許費）				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	59,620	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	59,620
R4	—	0	0	7,700		51,920	執行率
R3	2,049						100.00 %

事業の趣旨・目的

ほ場整備等による土地改良施設の改修工事に対し、市が補助することにより、農業者負担の軽減を図る。

実施事業の内容

農地耕作条件改善事業補助金

59,620

番号	地区名	工種	総事業量	事業費	市補助金
1	三谷中地区	区画整理	4.5ha	68,510	45,259
2	一里塚地区	区画整理	8.2ha	42,571	14,361
計				111,081	59,620

事業の成果・課題

区画整理の実施により、農業者の生産性の向上や農地集積が推進され、農業経営の合理化・安定化につながるため、国・県の補助事業を活用し事業を実施した。

農地耕作条件改善事業2地区について、設計内容の見直し等関係者との協議に時間を要し、年度内の工事完了が困難となったことから繰り越して実施した。

9	事業名	農地耕作条件改善事業費（事故繰越）				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	13,776	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	13,780
R4	—	0	0	8,000		5,776	執行率
R3	—						99.97 %

事業の趣旨・目的

ほ場整備等による土地改良施設の改修工事に対し、市が補助することにより、農業者負担の軽減を図る。

実施事業の内容

農地耕作条件改善事業補助金

13,776

番号	地区名	工種	総事業量	事業費	市補助金
1	三谷中地区	区画整理	4.5ha	40,480	8,096
2	一里塚地区	区画整理	8.2ha	28,400	5,680
計				68,880	13,776

事業の成果・課題

区画整理の実施により、農業者の生産性の向上や農地集積が推進され、農業経営の合理化・安定化につながるため、国・県の補助事業を活用し事業を実施した。

農地耕作条件改善事業2地区について、設計内容の見直し等関係者との協議に時間を要し、工事完了が困難となったことから繰り越して実施した。

10	事業名	農村地域防災減災事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,750	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	17,692
R4	—	0	2,750	0		0	執行率
R3	—						15.54 %

事業の趣旨・目的

国の補助事業を活用し、ため池への水位計・監視カメラの設置工事やため池廃止工事を行い、ため池の防災対策の強化を推進する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (14,942)

ため池水位計等観測機器設置工事費（大窪池） 2,750

事業の成果・課題

豪雨時における水位上昇の早期把握等による人的被害の軽減を図るため、ため池へ水位計等観測機器の設置を進めている。

また、補助金の追加割当があった水位計等観測機器設置工事5池並びにため池廃止工事1池については、年度内事業完了が困難なため、繰り越して実施する。

款	6	農林水産業費	項	2	林業費	目	1	林業対策費
---	---	--------	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	森林環境整備基金積立金				担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	12,716	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	12,716
R4	12,733	0	0	0		12,716	執行率
R3	9,775						100.00 %

事業の趣旨・目的

森林環境整備及びその促進に関する施策に活用するため、森林環境譲与税を基金に積み立てる。

実施事業の内容

森林環境整備基金積立金 ※一般財源は森林環境譲与税12,716を充当
12,716

事業の成果・課題

後年度の公共施設整備等での木材活用や普及啓発等の促進を図るため、森林環境譲与税等を積み立て、令和5年度末基金残高は39,879千円となっている。

2	事業名	森林環境整備基金積立金（運用利子）				担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	20	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	20
R4	8	0	0	0	20	0	執行率
R3	2						100.00 %

事業の趣旨・目的

基金条例に基づき、基金運用利子を基金に積み立てる。

実施事業の内容

森林環境整備基金積立金（運用利子） 20

事業の成果・課題

マイナス金利政策は解除されたものの、即座に基金運用利子を確保することは難しい状況であるため、関係課と調整しながら、確実かつ有利な運用に努め、積立金の確保に取り組んでいく。

3	事業名	林業管理費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	7,180	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源	7,618
R4	5,254	0	2,386	0	3,634	1,160	執行率
R3	4,992						94.25 %

事業の趣旨・目的

水源涵養や山地災害防止など、山林の持つ公益的機能の発揮を図るための造林事業を実施する。また、青ノ山をはじめとする山林、市内に2路線ある林道の除草や危険木の伐採などを行い、適正な維持管理を図る。

実施事業の内容							
造林保育事業費							672
青ノ山地区造林事業委託料							599
事務費・負担金等							73
保全林管理費							6, 508
青ノ山維持管理委託料、負担金							2, 788
林道維持管理委託料等							2, 586
枯松等伐倒委託料							883
栗熊東生産森林組合運営補助金							140
事務費							111
事業の成果・課題							
青ノ山の林内作業道や林道畦田金剛院線、高見峰線において、除草、側溝清掃及び危険木の撤去等を実施し利用者の安全確保など適正な維持管理に務めた。							
4	事業名	治山林道事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2, 628	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	2, 710
R4	880	0	0	0	2, 628	0	執行率
R3	1, 550						96. 97 %
事業の趣旨・目的							
治山事業は、山地災害を未然に防ぐための治山施設の補修維持管理を、また、林道事業では、林道の改良工事や災害時の復旧工事等を施工する。							
実施事業の内容							
治山林道事業費							2, 628
林道畦田金剛院線転石除去工事費							143
林道畦田金剛院線他修繕工事費							495
青ノ山地区作業道補修工事費							990
林道高見峰線側溝整備工事費							1, 000
事業の成果・課題							
林道畦田金剛院線、高見峰線において、災害を未然に防ぐため側溝の改修等を実施するとともに、青ノ山において、利用者が安全で快適に活用できるよう林内作業道の改修工事を実施した。							

款	6	農林水産業費	項	3	水産業費	目	1	水産業振興費
1	事業名		水産業振興管理費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	10,403	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	13,888	
R4	3,250	0	4,320	0		6,083	執行率	
R3	6,789						74.91%	
事業の趣旨・目的								
水産業の振興を図るため、市内漁協・市町などで構成される漁協関連団体等への補助や、水産業PRイベントの開催及び放流用種苗の購入等を行う。								
実施事業の内容								
水産業振興管理費10,403								
笠島漁港公衆便所維持管理等委託料218								
丸亀地区水産振興対策協議会運営補助金500								
丸亀市淡水漁業組合運営補助金150								
水産業等PR事業委託料132								
瀬戸内海栽培漁業種苗代675								
漁船漁具保全施設設置事業補助金6,670								
漁業用燃油価格高騰対策補助金1,156								
事務費及び負担金等902								
事業の成果・課題								
物価高騰対策として、漁船操業に要するために購入した燃油に対する一部補助を行なうとともに、漁船の保守作業の効率化と安全確保を目指し、老朽化した本島小阪地区内の漁船漁具保全施設整備への補助の実施など、漁業関連団体等への支援を行った。また、水産業PRイベントなどを実施し、水産物の消費拡大に努めた。								
2	事業名		水産業振興事業費				担当課	農林水産課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	5,167	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,274	
R4	5,360	0	321	0		4,846	執行率	
R3	5,090						82.36%	
事業の趣旨・目的								
水産資源の確保及び漁業経営の安定や、所得の向上を図るため、海面ではヒラメやクルマエビ等、内水面ではフナの種苗放流を実施する。漁業経営近代化等の目的で漁業者が資金を借りる際、金融機関に対し利子補給金を交付する。また、海面及び海浜における漂流、漂着堆積物を回収することにより、漁場環境の維持と水産資源の安定を図るとともに漁業操業の安全を確保する。さらに、自然災害や市場価格の低迷などによる漁業収入の減少に対し、漁業経営の安定化を支援するため、漁業共済制度への加入及び更新手続きの際に支払った共済掛金の補助を実施する。								
実施事業の内容								
重要稚仔放流事業費3,836								
区 分				放流種	放流量	事業費	特定財源	
県単重要稚仔放流事業（内水面）				フナ	136.9kg	219	県	100

〔表の続き〕

県単重要稚仔放流事業（海面）補助金 実施主体：丸亀地区水産振興対策協議会	クルマエビ	180,000尾	3,000	県	211
	ヒラメ	12,000尾			
	ガザミ	60,000尾			
	キジハタ	12,000尾			
	マダコ	367kg			
	アサリ	300kg			
	クロアワビ	10,000個			
市単重要稚仔放流事業（海面）補助金 実施主体：丸亀市漁業協同組合	クルマエビ	100,000尾	617	—	
	ヒラメ	1,000尾			
	ガザミ	20,000尾			
	キジハタ	500尾			
	クロメバル	500尾			

漁業環境対策事業費 1,250

丸亀港清掃事業委託料 380
補助金 802

区 分	実施主体	事業費（補助金額）
海面清掃事業補助金	丸亀地区水産振興対策協議会	352
漁場汚染防止事業補助金	中讃海域漁場環境整備協議会	300
	本島漁業協同組合	150

事務費 68

漁業経営強化資金利子補給金 81

漁業近代化資金利子補給金 69

新型コロナウイルス感染症対策漁業経営長期資金利子補給金 12

事業の成果・課題

重要稚仔放流事業は、地元漁協から事業継続の強い要望がある必須な事業であり、漁場にふさわしい魚種の選定など、漁業関係者と協議しながら、計画的に事業を実施することで漁獲量の安定に努めた。

また、漁業操業の阻害要因を軽減するため、海面・海浜ゴミの撤去に要する費用の補助を実施し、漁業操業の安全を図った。

利子補給の実施により、漁船の改造等の漁業経営の近代化や新型コロナウイルス感染症により直接的又は間接的に被害を受けた市内漁業者の経営を支援した。

款	6	農林水産業費	項	3	水産業費	目	2	漁港管理費
---	---	--------	---	---	------	---	---	-------

1	事業名	漁港管理費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）				予算現額	
R5	2,299	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,742
R4	1,132	0	0	0		2,299	執行率
R3	1,148						83.84 %

事業の趣旨・目的

島しょ部に位置する5箇所の市管理漁港施設について、適切に維持管理を行い、施設利用者の安全を図る。

実施事業の内容							
		光熱水費				786	
		修繕料				1,024	
		施設等維持管理委託料				299	
		県漁港協会負担金				190	
事業の成果・課題							
漁港の照明施設4基を水銀灯からLED灯へ交換した。引き続き、照明灯のLED化で消費電力の削減による環境負荷の低減を図るとともに、漁港施設利用者の安全確保のため、施設の適切な維持管理にも努める。							
2	事業名	漁港台帳整備費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	278	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	300
R4	—	0	0	0		278	執行率
R3	—						92.67 %
事業の趣旨・目的							
島しょ部に位置する5箇所の市管理漁港施設について、漁港及び漁場の整備等に関する法律第36条の2で定められた漁港台帳を整備し、漁港施設に関する情報を適正に把握し、管理する。							
実施事業の内容							
		漁港台帳補正業務委託料				278	
事業の成果・課題							
胸壁設置工事が完了した笠島漁港A物揚場について、変更点を漁港台帳に反映することで、漁港施設情報の適正管理に努めた。引き続き、変更点については、漁港台帳を更新し、情報を管理する。							
3	事業名	漁港長寿命化計画策定事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	5,214	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,500
R4	—	0	0	0		5,214	執行率
R3	—						94.80 %
事業の趣旨・目的							
島しょ部に位置する5箇所の市管理漁港施設について、長寿命化に向けた計画を更新することで、適切な維持管理に努める。							
実施事業の内容							
		長寿命化計画策定業務委託料				5,214	
事業の成果・課題							
茂浦漁港について長寿命化計画を更新した。本漁港については、改定された計画に基づき維持管理に努める。他の市管理漁港についても、順次見直しを行っていく。							

款	6	農林水産業費	項	3	水産業費	目	3	漁港建設費
---	---	--------	---	---	------	---	---	-------

1	事業名	漁港建設費（単独事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	8,095	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	10,775
R4	12,947	0	0	0		8,095	執行率
R3	7,737						75.13 %

事業の趣旨・目的

島しょ部5箇所の市管理漁港施設について、維持補修・改良を行うことで、水産基盤施設の機能の保全・向上を図る。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
各漁港維持補修事業費	工事費 3件	1,198
各漁港改良事業費	工事費 3件	2,171
漁港建設事業事務費	職員給与等 事務費等	4,718 8

事業の成果・課題

物揚場や昇降梯子などの付属物の維持補修の他、防波堤などの改良を行った。引き続き、劣化の進行度・緊急性にあわせ、施設の重要度を考慮した維持補修、改良を行い、水産基盤施設の機能保全を図っていく。

2	事業名	漁港建設費（単独県費補助事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	18,000	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	18,000
R4	6,703	0	9,000	9,000		0	執行率
R3	7,000						100.00 %

事業の趣旨・目的

島しょ部5箇所の市管理漁港施設の高潮対策として、県の「津波・高潮対策整備アクションプログラム」に基づき、胸壁や陸こうの改良を行う。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
笠島漁港物揚場改良事業費	建設工事関連委託料 工事費	499 8,501
小手島漁港護岸等改良事業費	建設工事関連委託料 工事費	499 8,501

事業の成果・課題

笠島漁港では、物揚場の胸壁開口部に鋼製陸こう（N=1基）を設置し事業を完了した。また、小手島漁港では、木製陸こうを鋼製（N=1基）へ改良した。
引き続き、財源確保のため単独県費補助制度を活用しながら、陸こうの改良を進める。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	1	商工総務費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	商工管理費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	65,779	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	71,752
R4	76,193	0	17	0		65,762	執行率
R3	67,699						91.68 %

事業の趣旨・目的

商工労政事業を推進するための情報収集や企画を行うことで、本市の商工労政の発展を目指す。

実施事業の内容

職員給与等	65,491
事務費等	288

事業の成果・課題

各種媒体による情報収集を行うなど、本市の商工労政施策をより効果的かつ円滑に実施できるよう努めている。必要に応じて、先進市や関係団体への視察を行うなど、本市商工労政施策を充実させていく。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	2	商工業振興費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	--------

1	事業名	商工業振興管理費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	751	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	775
R4	774	0	0	0		751	執行率
R3	774						96.90 %

事業の趣旨・目的

各種団体に対して会費・負担金を支出することにより商工業振興を図る。

実施事業の内容

商工業振興負担金（10件）	675
事務費等	76

事業の成果・課題

空の駅かがわ運営協議会においては、本市の観光や特産品に係るPRコーナーを設置している高松空港で、パンフレットや動画などによりPRを行った。
また、東京で開催された「ネプコンジャパン」において、香川県企業誘致推進協議会でブースを出展し、県や各市町の企業誘致助成制度の周知や情報提供等を行った。
今後も各種団体と連携し、地域の活性化につなげていく。

2	事業名	産業振興対策事業費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	34,103	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源	44,249
R4	47,439	1,625	0	0	10,818	21,660	執行率
R3	107,828						77.07 %

事業の趣旨・目的

丸亀市産業振興計画に基づく各種事業を実施し、地元中小企業を中心とする地域産業発展を促進する施策の推進を図る。

実施事業の内容

産業振興推進会議委員報酬等 (18人)	242
全体会 2回	
会計年度任用職員報酬等 (1人)	3,056
企業情報提供業務委託料 (企業紹介サイト更新等)	59
首都圏・関西圏大学生インターンシップ事業業務委託料	1,718
参加者数 延べ32人 参加企業数 11社	
創業支援等事業関連業務委託料	500
スタートアップセミナー (創業機運醸成講座)	
開催日 8/2、8/9 参加者 延べ13人	
第3回創業塾	
開催日 10/4、10/11、10/18、10/25 参加者 延べ81人	
創業塾受講生へのフォローアップ事業	
開催日 9/13 参加者 6人	
創業支援事業補助金 7件	2,011
丸亀商工会議所・丸亀市飯綾商工会への創業相談	
相談件数 延べ170件 相談者数 68人 創業者数 21人	
地元企業PR事業費	2,650
9/8:綾歌中学校 73人 24社 9/8:飯山中学校 146人 25社	
10/4:西中学校・本島中学校 244人 32社 10/4:南中学校 229人 32社	
10/5:東中学校 204人 28社	
地元企業PR事業開催業務委託料 (会場設営等)	1,045
会場・バス借上料	1,279
印刷製本費等	326
産業振興支援補助金	17,608
働き方改革 2件:人材確保 18件:奨学金返済支援 1件:人材育成 34件	
新規事業分野進出 4件:展示会・商談会出展 9件:自社PRツール作成 24件	
特産品開発・改良 5件:事業承継 1件:デジタル化 19件	
SDGs 2件:カーボンニュートラル 1件 (合計120件)	
空き店舗・空きオフィス等活用促進補助金 4件	3,250
企業立地促進奨励金 2件	2,455
事務費等	554

事業の成果・課題

令和5年度に新設した「創業支援事業補助金」の交付実績は7件であったほか、各支援機関と連携した「スタートアップセミナー」や「創業塾」、「フォローアップ事業」の創業支援事業を実施した。今後も引き続き関係機関と連携し、創業準備の段階から創業後も切れ目ない支援を行っていく。

また、コロナ禍を脱したこともあり、市内の全ての公立中学校で地元企業PR事業を実施することができた。

さらに、前年度に引き続き、企業紹介サイト・中小企業支援ガイドブックの作成、インターンシップ事業の開催、産業振興支援補助、空き店舗空きオフィス等活用促進補助などの実施のほか、地域経済の発展及び雇用機会の拡大に寄与する企業立地促進奨励金を交付した。

今後も企業訪問専門員による企業訪問等により、事業者の課題やニーズを把握し、必要な施策について検討・実施していく。

3	事業名	商工業振興事業費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	32,916	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	33,539
R4	27,097	0	0	0	2,000	30,916	執行率
R3	23,045						98.14 %

事業の趣旨・目的

商工業の振興、中心市街地の活性化、産学官の連携を図るため、関係団体の事業運営に対し補助するもの。

実施事業の内容

丸亀商工会議所運営補助金	6,000
丸亀市飯綾商工会運営補助金	5,000
丸亀TMO運営等補助金	1,100
産学支援等事業補助金	350
キッズウィーク推進補助金	300
丸亀商工会議所小規模事業者対策補助金	2,000
丸亀市飯綾商工会小規模事業者対策補助金	1,000
FACE21運営協議会負担金	700
丸亀市中央商店街振興組合連合会補助金	700
丸亀うちわパンフレット印刷製本費（5,000部）	448
香川県うちわ協同組合連合会補助金	1,650
青木石材協同組合補助金	220
伝統的工芸品産業産地振興事業補助金	374
丸亀うちわニュー・マイスター認定等事業補助金	300
丸亀うちわミュージアム運営業務委託料	3,200
丸亀うちわミュージアム施設管理費等	1,829
丸亀うちわミュージアム2階照明器具増設工事費	297
丸亀うちわミュージアムイベント事業補助金	1,852
丸亀うちわミュージアム賃貸料	5,400
備品購入費	196

事業の成果・課題

各種関係団体と連携し、商工業の振興、中心市街地の活性化等を図ることに努めた。
丸亀うちわミュージアムが中津万象園に移転したこともあり、中津万象園との連携事業として「丸亀うちわフェスタ」を実施したほか、産学支援等事業では、地元農産物のPRや食品ロスの削減などを目的に、香川短期大学や香川県農業協同組合と連携し、形や大きさが規格外のため、市場に流通できない地元農産物等を用いて、食品レシピの開発に取り組んだ。

各補助団体においては、自主財源の確保に努め、組織として自立化を図るとともに、事業成果を常に検証し、社会・経済情勢、会員ニーズ等を的確に捉えた事業展開を推進できるように、積極的な指導・助言等を行っていく。

4	事業名	産業活性化事業費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,444	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	9,459
R4	—	0	0	0		9,444	執行率
R3	—						99.84 %

事業の趣旨・目的

まるがめ婆娑羅花火ファンタジアinレオマを実施することで、観光振興や経済効果を図る。

実施事業の内容

まるがめ婆娑羅花火ファンタジアinレオマ業務委託料 9,400
会場借上料等 44

開催日当日のレオマリゾート入園者数 8,953人
《開催日：令和5年8月26日（土）》

事業の成果・課題

令和5年度に初めて開催した「まるがめ婆娑羅花火ファンタジアinレオマ」では、音楽や光、オーロラショーの演出がある約3,200発の花火を実施した。

5	事業名	商工業振興融資事業費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	171,612	国支出金	県支出金	地方債	預託金返還金	一般財源	172,550
R4	172,759	0	0	0	165,000	6,612	執行率
R3	172,057						99.46 %

事業の趣旨・目的

中小企業者、団扇業者の事業活動に必要な資金を融資することにより、経営の安定と中小企業・団扇産業の振興を図る。また、新規に事業を開始しようとする者を支援し、事業者の育成と振興を図る。

実施事業の内容

融資等事務業務委託料 2,300
中小企業融資預託金 105,000
" 保証料負担金 189
" 保証料補給金 1,170
" 利子補給金 1,849

〈令和5年度貸付実行状況〉	
件 数	34 件
金 額	137,450 千円
小規模事業者経営改善資金利子補給金	45
団扇工業振興融資預託金	45,000
〃 保証料補給金	472
〃 利子補給金	438
〈令和5年度貸付実行状況〉	
件 数	1 件
金 額	45,000 千円
創業支援融資預託金	15,000
〃 利子補給金	149
〈令和5年度貸付実行状況〉	
件 数	1 件
金 額	4,300 千円

事業の成果・課題

中小企業融資については、令和4年度とほぼ同数の融資件数であった。今後も市民（企業）ニーズを検証し、必要に応じて、制度の見直しを行っていく。

6	事業名	丸亀うちわ産業発展支援事業費				担当課	産業観光課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,556	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,000
R4	1,280						執行率
R3	—	0	778	0		778	77.80 %

事業の趣旨・目的

香川県うちわ協同組合連合会が行う販路開拓、人材育成、技術の伝承等に要する経費等を補助することにより、丸亀うちわ産業の振興に寄与することを目的とする。

実施事業の内容

丸亀うちわ産業発展支援事業補助金	1,556
------------------	-------

事業の成果・課題

香川丸亀国際ハーフマラソン大会などのスポーツ大会において、出場者や関係者等に記念用や応援用うちわを配布したことで、県内外の方へ「丸亀うちわ」をPRすることができた。
また、配布用うちわの製作を研修生にも担ってもらい、将来の後継者としての意欲と技術の向上を図った。

7	事業名	商店街施設整備事業費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	898	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	972
R4	2,488	0	449	0		449	執行率
R3	100						92.39 %

事業の趣旨・目的

商店街のアーケード修繕や放送設備の設置などの商店街施設整備に係る経費を補助することで、中心市街地の商業振興を図るもの。

実施事業の内容

通町商店街アーケード修繕等による安全安心対策事業補助金	544
浜町商店街アーケード看板修繕等による街並み整備・保存事業補助金	354

事業の成果・課題

商店街アーケードの老朽化した柱や看板を修繕することで、景観面、安全面での環境改善を行った。商店街設備の老朽化により修繕の必要性がある箇所も多くみられるため、今後とも安全・安心対策の継続を図る。

款	7	商工費	項	1	商工費	目	3	観光費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-----

1	事業名	観光宣伝費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	39,070	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	39,381
R4	35,126	0	0	0		39,070	執行率
R3	34,105						99.21 %

事業の趣旨・目的

観光案内及び情報発信を行い、また本市の魅力を宣伝し誘客を図るため、観光案内所等のサービス向上に努め、各観光協議会と連携しPRを積極的に行う。

実施事業の内容

※一般財源のうち、入湯税22,874を充当

修繕料（本島パークセンター浄化槽、公用車車検代他）	661
観光案内所管理運営委託料	25,000
観光宣伝事業委託料	4,095
丸亀市本島パークセンター施設管理運営委託料	3,245
自然公園美化清掃事業費	850
さぬき瀬戸大橋広域観光協議会会費	490
わがかがわ観光推進協議会負担金	1,409
日本政府観光局賛助会員負担金	300
自転車活用推進全国市区町村長の会負担金	10
讃岐ジオパーク構想推進準備委員会会費	30
観光協会運営補助金	6,795
事務費等	280

事業の成果・課題

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、インバウンド客がコロナ禍前の状況に戻りつつある。そこで、市観光協会においては、飲食店への支援として、メニューを多言語に翻訳するサービスを開始し、インバウンド客の受入れ環境の整備を図った。また、本市の観光戦略を推進する上で、市と観光協会が重複している観光事業については、観光協会に一本化し、市が観光戦略の企画や立案、市民対応等の部門を担うことにより、それぞれが専門性を生かした運営を進めていく。そちらを進めるにあたり、観光協会の事務局機能強化として、人的・財政的な面での支援を行った。

2	事業名	観光振興事業費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	33,303	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	33,370
R4	32,985	0	0	0	1,320	31,983	執行率
R3	8,756						99.80 %

事業の趣旨・目的

丸亀お城まつりや丸亀城菊花展、あやうたふるさとまつりなどの地域イベントや観光資源等の活用を図り、丸亀市全体の観光振興につなげていく。安心・安全で快適な観光ができるよう、観光資源の安全対策等を行い、本市への観光客の受け入れ態勢を整える。

実施事業の内容

屋釜海水浴場光熱水費	113
観光振興事業委託料	28,450
屋釜海水浴場管理費	455
丸亀お城まつりにかかる仮設テント等設営撤去業務委託料	3,590
丸亀城菊花展開催費	1,419
期 日 令和5年10月21日～11月13日	
入込客数 24,468 人	
丸亀さつき愛好会補助金	200
さつき展 令和5年5月19日～22日	
盆栽展 令和5年12月4日～6日	
丸亀お城まつり開催業務委託料	20,000
期 日 令和5年5月3日～4日	
入込客数 230,000 人	
サメ対策事業費、遊泳区域ブイ設置撤去業務委託料	2,786
あやうたふるさとまつり開催補助金	3,420
期 日 令和5年11月4日～5日	
入込客数 4,500 人	
丸亀にぎわいプロジェクト補助金	1,320
①ワクワク体験 Kids王国in丸亀	
期 日 令和5年10月14日	
入込客数 3,000 人	
②四国家のお宝 丸亀のジオ×まちづくり	
期 日 令和5年6月10日, 17日	
参加者 42 人	
③丸亀大文化祭高校生シンポジウム	
期 日 令和6年2月17日	
参加者 60 人	

事業の成果・課題

本市最大イベントである丸亀お城まつりは、コロナ禍前の規模に戻して開催し、2日間で延べ23万人の入込客数となった。また、あやうたふるさとまつりも開催できたが、本島・広島 of 海水浴場の海開きは中止となった。今後、県内外から誘客できるイベントの開催や観光資源の環境整備に努める。

3	事業名	観光開発事業費				担当課	産業観光課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	28,609	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	28,730
R4	29,050	0	0	0	6,617	21,992	執行率
R3	30,935						99.58 %

事業の趣旨・目的

本市既存の観光資源の有効活用、おもてなし事業の充実を図り、交流人口及び滞在型、回遊型観光の増加につなげる。うちわ、桃、骨付鳥等の地域資源を活用し、知名度向上や販路拡大支援を目的として、各種イベント、物産事業、商談会に参加し、消費拡大による地域経済の活性化を図る。

実施事業の内容		
観光開発事業委託料		28,512
観光ガイドブック等制作事業費	2,948	
丸亀城おもてなし事業費	4,926	
人力車乗車人数 711人		
ご当地キャラ運営事業費	1,503	
インバウンド対策事業費	1,640	
滞在型観光誘致促進事業費	3,177	
丸亀市コンベンション支援事業 2件		
丸亀市団体旅行等誘致促進事業 11件		
丸亀市修学旅行等誘致事業 15件		
丸亀市合宿等誘致事業 13件		
各種物産展開催事業費	3,909	
(旬彩館丸亀ブランドフェア、大阪お城フェス2023など計11回実施)		
丸亀城ライトアップ事業費	6,236	
①令和5年4月1日～4月16日		
②令和5年9月9日～11月5日		
③令和5年12月15日～令和6年2月4日		
DMO推進事業費、着地型商品造成事業費	900	
丸亀ブランド化推進事業業務委託料 他	3,273	
事務費等		97
事業の成果・課題		
観光客誘致のため、丸亀城おもてなしイベント等の開催やキッチンカーを利用したイベント実施団体に対して支援を行った。また、令和5年度に持続可能な観光地TOP100に選出されたことにより、うちの歴史工程を含む「うちわ動画の製作」、「教育冊子制作」、「教育プログラムツアー造成」を行い、持続可能な観光まちづくりに取り組んで行く。		

款	8	土木費	項	1	土木管理費	目	1	土木総務費
---	---	-----	---	---	-------	---	---	-------

1	事業名	土木総務管理費					担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	101,570	国支出金	県支出金	地方債	負担金等	一般財源		106,632
R4	89,688	0	0	0	18	101,552		執行率
R3	92,386							95.25 %

事業の趣旨・目的

土木事業の事務全般に係る職員給与、事務費の他、国道438号整備促進期成同盟会等の負担金を支払う。

実施事業の内容

会計年度任用職員報酬等（1人）	2,513
職員給与等	98,053
公共嘱託登記事務委託料	291
国道438号整備促進期成同盟会負担金等	110
事務費等	603

事業の成果・課題

国道438号整備促進期成同盟会で実施する、国土交通省など関係省庁への要望活動で、本路線の整備促進に努めた。

款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路橋りょう総務費
---	---	-----	---	---	---------	---	---	-----------

1	事業名	道路橋りょう管理費					担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	45,933	国支出金	県支出金	地方債		一般財源		47,337
R4	45,351	0	0	0		45,933		執行率
R3	47,915							97.03 %

事業の趣旨・目的

道路施設の管理に係る職員給与、事務費の他、香川県道路協会等の負担金を支払う。

実施事業の内容

職員給与等	44,262
香川県道路協会負担金等	315
事務費等	1,356

事業の成果・課題

香川県道路協会など各種団体が実施する、国土交通省など関係省庁への要望活動を通じ道路事業に必要な財源の確保に努めるとともに、最新の道路行政の動向など情報収集を行った。

2	事業名	道路台帳整備費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	7,827	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	7,926
R4	—						執行率
R3	—	0	0	0		7,827	98.75 %

事業の趣旨・目的

道路法第28条で定められた道路台帳を整備し、道路施設に関する情報を適正に把握、管理する。

実施事業の内容

道路台帳補正業務委託料 7,827
 新設 9.37km 改良他 13.45km

事業の成果・課題

民間造成に伴う新規認定路線や、道路整備事業に伴う改良・拡幅路線などにあわせ、道路台帳を更新した。引き続き、実状に合わせた道路台帳の整備を行うことで、道路施設に関する情報の適正管理に努める。

3	事業名	道路台帳整備費（繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,300	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	9,300
R4	9,053						執行率
R3	—	0	0	0		9,300	100.00 %

事業の趣旨・目的

道路法第28条で定められた道路台帳を整備し、道路施設に関する情報を適正に把握、管理する。

実施事業の内容

道路台帳補正業務委託料 9,300
 新設 9.37km 改良他 13.45km

事業の成果・課題

民間造成に伴う新規認定路線や、道路整備事業に伴う改良・拡幅路線などにあわせ、道路台帳を更新した。引き続き、実状に合わせた道路台帳の整備を行うことで、道路施設に関する情報の適正管理に努める。

4	事業名	統合型GIS管理運営費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	17,678	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	17,679
R4	—						執行率
R3	—	0	0	0		17,678	99.99 %

事業の趣旨・目的

自治体DXの推進と市民サービスの向上を図るため、統合型GISシステムと庁外配信用GISシステムの管理・運営を行う。

実施事業の内容	
統合型GIS保守点検業務委託料	2,788
統合型GISデータセットアップ業務委託料	4,319
境界確定書データ作成委託料	10,571
事業の成果・課題	
統合型GISシステムに搭載するデータの追加による機能拡充を行うとともに、システムが適正に稼働するための保守を行った。このほか、市が保有する境界確定に関する情報のデジタル化も行った。更なる市民サービスの向上と職員の業務改善のため、システムの運用・管理に取り組む。	

款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	2	道路橋りょう維持費
---	---	-----	---	---	---------	---	---	-----------

1	事業名	自転車駐車場管理費					担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	11,935	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源	12,557	
R4	11,530	0	0	0	4,009	7,926	執行率	
R3	11,771						95.05 %	

事業の趣旨・目的

市内5か所の市営自転車駐車場において、利用者の利便性の向上を図るとともに、適切な維持管理を行う。

実施事業の内容

自転車駐車場指定管理等委託料	10,647
土地借上料	423
事務費等	865

事業の成果・課題

指定管理者制度の運用により、利用者の利便性向上と適切な維持管理に努めている。

2	事業名	道路維持管理費					担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	69,647	国支出金	県支出金	地方債	保険料	一般財源	78,288	
R4	60,487	0	0	0	101	69,546	執行率	
R3	51,230						88.96 %	

事業の趣旨・目的

総延長約810kmの市道を適切に維持管理するとともに、私道についても整備に係る費用を補助することで、市民にとって安全・安心な道路環境となるよう努める。

実施事業の内容							
【予算現額のうち翌年度繰越額】（5,500）							
会計年度任用職員報酬等（7人）						14,698	
直営道路舗装資材費等						5,988	
道路除草、清掃業務委託料等						44,157	
私道整備事業補助金						3件	1,297
事務費等						3,507	
事業の成果・課題							
道路パトロールや市民からの情報提供をもとに道路の現状を把握し、直営作業班や外部委託により市道の側溝清掃や除草などを行うことで適切な道路環境の維持に努めた。引き続き、市民にとって安全・安心な道路環境の提供ため、適切な維持管理に努める。							
3	事業名	道路維持管理費（繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	5,000	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,000
R4	—	0	0	0		5,000	執行率
R3	—						100.00 %
事業の趣旨・目的							
SDGsの取組や脱焼却処分による二酸化炭素（CO2）の排出抑制のため、道路除草で発生した刈草を堆肥化し、資源循環や環境保全に取り組む。							
実施事業の内容							
刈草堆肥化業務委託料						5,000	
事業の成果・課題							
集草量や天候による影響のほか、堆肥内に混入した異物の除去など、刈草の堆肥化に不測の時間を要し予算を繰り越しての事業実施となった。製造した「まるがめ堆肥」をイベント時や出先窓口で配布し、一定の評価をいただいた。							
4	事業名	道路照明維持管理費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	24,708	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	25,957
R4	26,636	0	0	0		24,708	執行率
R3	24,662						95.19 %
事業の趣旨・目的							
夜間の道路利用者の安全性確保のため、市道上の道路照明施設の維持管理を行う。							
実施事業の内容							
道路照明施設の修繕費及び光熱水費等（うち電気料16,962千円）						24,708	
事業の成果・課題							
市道上の道路照明施設の適正管理で、夜間の道路利用者の安全性確保に努めた。道路照明灯のLED照明灯への交換で、消費電力の削減による環境負荷の低減を図った。（令和6年3月31日現在道路照明810基）							

5	事業名	防犯灯LED化事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	8,665	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	9,220
R4	9,041	0	0	0	660	8,005	執行率
R3	8,573						93.98 %

事業の趣旨・目的

夜間の事故や犯罪抑止のため、防犯灯の新設・維持管理を行う。また、防犯灯の新設・球切れ時にLED灯具を利用することで、器具の長寿命化と消費電力の削減による環境負荷の低減を図る。夜間の安全・安心な環境を提供する。

実施事業の内容

修繕料等

旧丸亀

防犯灯LED

新設

72基

全体数

4,087基

取替

51基

LED化済

3,308基

参 考

防犯灯

全体数

1,026 基

うちLED化済数

1,020 基

綾 歌

1,262 基

飯 山

1,259 基

市内全域の状況

全体数

6,375基

うちLED化済数

5,587基

(全体の

87.6%)

8,665

事業の成果・課題

市内全域の防犯灯全数のうちLED照明への整備率は、令和4年度末時点の86.0%に対し、令和5年度末は87.6%と微増となっている。更なる防犯灯のLED化の取組で、コスト削減と消費電力の削減による環境負荷の低減に努める。

6	事業名	道路補修事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	150,621	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	153,500
R4	162,446	0	0	0		150,621	執行率
R3	109,481						98.12 %

事業の趣旨・目的

劣化した市道の路側、側溝、舗装等の損傷を補修することで、道路機能の保全に努める。

実施事業の内容

工事費							150,621
路側・側溝補修工事等	74 件						
舗装補修工事	100 件						
緊急措置工事	19 件	計	193 件				

事業の成果・課題

道路パトロールや市民からの情報提供により道路施設の状況を把握し、適切な対応を行うことで道路の機能保全に努めた。令和6年度から運用を開始した道路損傷情報システムも活用し、引き続き、安全安心な道路環境の維持に努める。

款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	3	道路橋りょう新設改良費
---	---	-----	---	---	---------	---	---	-------------

1	事業名	道路橋りょう改良費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	135,795	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	189,960
R4	287,639	0	0	89,800		45,995	執行率
R3	189,434						71.49 %

事業の趣旨・目的

一般市道（生活道路）の新設・改良、幹線道路の整備と橋梁補修に附帯するものの他、交差点改良や狭あい箇所の拡幅などの局所的な改良を行い、市道の安全性と利便性の向上に努める。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（50,043）

事業名	事業内容	事業費
市道南三浦上分線道路改良事業費 他12路線	工事費 建設工事関連委託料 土地購入費等	121,072
市道交差点等改良事業費	工事費 建設工事関連委託料 土地購入費等	14,723

事業の成果・課題

地権者など地元関係者との交渉や調整に時間を要し、予算を翌年度へ繰り越した路線もあったものの、事業は概ね順調に進捗した。今後も、既存市道の拡幅や危険な交差点の改良等を実施し、安全性と利便性の向上に努める。

2	事業名	道路橋りょう改良費（繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	58,220	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	72,085
R4	63,831	0	0	37,600		20,620	執行率
R3	78,537						80.77 %

事業の趣旨・目的

一般市道（生活道路）の新設・改良、幹線道路の整備と橋梁補修に附帯するものの他、交差点改良や狭あい箇所の拡幅などの局所的な改良を行い、市道の安全性と利便性の向上に努める。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
市道泊小阪線道路改良事業費 他8路線	工事費 建設工事関連委託料	48,294
市道交差点等改良事業費	工事費 建設工事関連委託料等	9,926

事業の成果・課題

各路線とも予定どおりに進捗した。今後も、地元関係者との協議調整を十分に実施しながら事業の進捗を図る。

3	事業名	市道舗装費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	129,005	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	160,000
R4	159,805	0	0	115,500		13,505	執行率
R3	143,545						80.63 %

事業の趣旨・目的

老朽化した市道の舗装を、「道路舗装単独修繕計画」に基づき、事業費の平準化を図りながら計画的に改良することで、安全で快適な市道へ整備する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (30,618)

事業名	事業内容	事業費
市道舗装改良事業費	工事費等 市道梨岡徳部線舗装改良工事 他 9件	129,005

事業の成果・課題

令和4年度に策定した「第3期道路舗装単独修繕計画」に基づきBランクの舗装修繕（改良）を行った。引き続き、舗装修繕（改良）を行い、道路環境の適切な維持管理に努める。

4	事業名	交通安全対策費（単独事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	42,975	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	43,000
R4	27,405	0	0	6,500		36,475	執行率
R3	17,927						99.94 %

事業の趣旨・目的

交通安全施設（道路反射鏡等）の新設・補修にあわせ、主要道路での区画線の再塗装、小学生が利用する通学路でのカラー化の新設・再塗装の他、水路への転落防止対策を実施し、道路利用者の安全性の向上を図る。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
交通安全施設整備事業費	工事費 道路反射鏡、区画線、防護柵等 交通安全施設の新設、補修 臨）主要道路区画線等補修工事 臨）小学校通学路区画線設置工事 臨）清水川右岸堤防2号線防護柵設置工事	42,975

事業の成果・課題

道路反射鏡については、市民からの設置要望に対し、必要性を確認しながら対応するとともに、緊急点検による老朽化対策に着手した。また、主要道路での区画線の再塗装や通学路でのカラー化の新設・再塗装、清水川への転落対策として防護柵の設置を行うことで、道路利用者の安全性の向上に努めた。

5	事業名	単独県費補助事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	26,341	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	34,927
R4	29,000	0	5,380	12,800		8,161	執行率
R3	37,493						75.42 %

事業の趣旨・目的

交通量が多く狭い通学路の拡幅や、整備中の県道に接続する市道の改良に、県の補助制度を活用しながら計画的に道路整備を実施する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (8,583)

事業名	事業内容	事業費
市道五反地沖線道路改良事業費	需用費 消耗品費（文化財発掘調査） 委託料 業務委託料（文化財発掘調査） 建設工事関連委託料 土質調査 N=2件 工事費 道路改良工事 N=1件 使用料及び賃借料 機械借上料（文化財発掘調査） 公有財産購入費 土地購入費 A=59.86m ² （1筆）	6,100
市道市地延命寺線道路改良事業費	建設工事関連委託料 測量・設計 N=1件 補償、補填及び賠償金 補償金 N=2件	10,968
市道馬指北岡線道路改良事業費	建設工事関連委託料 測量・設計 N=1件	9,273

事業の成果・課題

市道市地延命寺線道路改良事業では、支障物件の移転に時間を要し、予算を翌年度へ繰り越したものの、事業は概ね計画どおりに進捗した。今後も、事業の重要度や整備効果を確認しながら、計画的な事業進捗に努める。

6	事業名	道路橋りょう整備事務費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	40,688	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	42,874
R4	42,379						執行率
R3	41,323	0	0	0		40,688	94.90 %

事業の趣旨・目的

道路橋りょうの整備に係る職員給与、事務費の他、橋りょう点検技術講習会への出席負担金の支払いを行う。

実施事業の内容

職員給与等	40,026
e+iMec香川講習会（橋梁点検）出席負担金	44
事務費等	618

事業の成果・課題

適正な事務費の執行による予算の縮減に努めた。今後も、使途の精査を行いながら適正な予算執行を継続する。

7	事業名	県営道路橋りょう整備負担金				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	20,240	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	20,400
R4	22,569						執行率
R3	25,823	0	0	18,200		2,040	99.22 %

事業の趣旨・目的

香川県が市内で実施する道路橋りょう整備事業（県単独事業）について、本市がその費用の一部を負担するもの。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
道路橋りょう整備事業負担金	国道438号バイパス 他	20,240

事業の成果・課題

県道善通寺綾歌線（中方橋）については、事業が完了した。国道438号（飯山バイパス・綾歌工区）については、現在、鋭意整備が進められている。今後も、市民から寄せられる県道整備の要望について、緊急性や事業効果を精査し、的確に県へ事業実施の要望を行う。

8	事業名	道路メンテナンス補助事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	65,004	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	105,363
R4	58,689						執行率
R3	83,458	21,777	0	25,600		17,627	61.70 %

事業の趣旨・目的

橋梁の法定点検を実施し、点検結果から橋梁の長寿命化修繕計画を策定することで、計画的な長寿命化修繕工事の実施により、必要となる費用の平準化と縮減を図る。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (40,359)

事業名	事業内容	事業費
道路橋りょう点検事業費	建設工事関連委託料 点検業務 N=2橋	1,595
市道土器土居線土器川橋 他補修事業費	工事費 橋りょう補修工事 N=7橋	63,409

事業の成果・課題

令和4年度に改定した長寿命化修繕計画に基づき修繕工事を実施した。事業実施に必要な予算財源については、国の補助制度を活用し事業に取り組んでいく。また、橋りょうの適正管理に必要な人材についても、育成に取り組んでいく。

9	事業名	道路メンテナンス補助事業費（繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	28,076	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	28,076
R4	85,984	15,441	0	11,400		1,235	執行率
R3	—						100.00 %

事業の趣旨・目的

橋梁の法定点検を実施し、点検結果から橋梁の長寿命化修繕計画を策定することで、計画的な長寿命化修繕工事の実施により、必要となる費用の平準化と縮減を図る。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
市道土器土居線土器川橋 他補修事業費	建設工事関連委託料 橋りょう補修調査 設計業務委託 N=1橋	3,500
	工事費 橋りょう補修工事 N=2橋	24,576

事業の成果・課題

平成29年度に改定した長寿命化修繕計画に基づき修繕工事を実施した。

10	事業名	防災・安全交付金事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	114,885	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	138,404
R4	126,409	62,151	0	45,700		7,034	執行率
R3	209,325						83.01 %

事業の趣旨・目的

主要な幹線道路整備や、通学路の安全対策としての歩道整備に、国の交付金制度を活用し計画的に取り組む。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (23,519)

事業名	事業内容	事業費
市道原田金倉線 道路整備事業費	工事費 道路改良工事 L=16m 公有財産購入費 土地購入費(公社精算) A=353.16m ² (2筆) (R4繰越予算と併合)	8,188
市道南三浦上分線 道路整備事業費	公有財産購入費 土地購入費(公社精算) A=910.68m ² (10筆) (R4繰越予算と併合) 負担金、補助及び交付金 負担金 N=1件	100,398
市道西土器南北線 整備(2期)事業費	業務委託料 土壌調査業務委託 N=1件 建設工事関連委託料 土質調査等業務委託 N=2件 工事費 道路改良工事 L=145m (R4繰越予算と併合) 補償、補填及び賠償金 補償金 N=1件	6,299

事業の成果・課題

国土交通省が施行する土器川直轄河川改修事業が繰越事業となったことなどで、予算の一部を翌年度に繰り越したものの、3路線の事業は概ね順調に進捗した。事業実施に必要な予算財源の確保のため、国の施策展開を注視し、最適な補助制度を選択することで、継続的に事業を実施する。

11	事業名	防災・安全交付金事業費(繰越明許費)				担当課	建設課
	決算額	事業の財源内訳(基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	54,593	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	54,593
R4	177,075	30,026	0	22,000		2,567	執行率
R3	—						100.00 %

事業の趣旨・目的

主要な幹線道路整備や、通学路の安全対策としての歩道整備に、国の交付金制度を活用し計画的に取り組む。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
市道原田金倉線 道路整備事業費	公有財産購入費 土地購入費（公社精算） A=353.16m ² （2筆） （R5現年予算と併合）	6,608
市道南三浦上分線 道路整備事業費	公有財産購入費 土地購入費（公社精算） A=910.68m ² （10筆） （R5現年予算と併合）	3,221
市道西土器南北線 整備（2期）事業費	工事費 道路改良工事 L=145m （R5現年予算と併合） 公有財産購入費 土地購入費 A=263.21m ² （3筆） 補償、補填及び賠償金 補償金 N=3件	44,764

事業の成果・課題

市道原田金倉線、市道西土器南北線、市道南三浦上分線の3路線については、用地取得（公社精算）や支障物件移転補償、道路改良工事を実施した。

款	8	土木費	項	3	河川費	目	1	河川総務費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	河川管理費					担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	12,855	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	14,214	
R4	12,464	4,291	0	0		8,564	執行率	
R3	11,780						90.44 %	

事業の趣旨・目的

河川管理に係る職員給与、事務費、土器川改修期成同盟会等の負担金の他、国、県及び市が設置している水門の日常管理の委託料を支払う。また、地元関係者、ボランティア団体及び各河川管理者と連携した河川清掃活動などを通じ、環境美化意識の醸成に努める。

実施事業の内容

水門管理委託料等	5,519
土器川改修期成同盟会負担金等	526
事務費等	408
職員給与等	6,402

事業の成果・課題

梅雨や台風による大雨で河川が増水した際、経験豊かな地元関係者による迅速で適切な水門操作により、住宅地などでの浸水被害の軽減に努めた。しかしながら、近年の突発的かつ局所的な大雨は予測が困難なことから、水門操作などの対応の難化が課題となりつつある。

2	事業名	排水施設管理費					担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	15,378	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	15,694	
R4	15,513	0	0	0		15,378	執行率	
R3	12,671						97.99 %	

事業の趣旨・目的

市内17箇所の排水ポンプ施設の維持管理を行い、降雨による水災害の被害軽減を図る。

実施事業の内容

施設管理委託料	市内ポンプ場17箇所（臨時ポンプ場7箇所含む）	8,240
光熱水費		6,830
修繕料		308

事業の成果・課題

排水ポンプ施設の年次・月例点検と、機能保全を目的とした維持管理で、常時や降雨時に問題なく施設が稼働できるよう管理した。また、点検結果から排水ポンプ施設の部品交換や更新時期を判断した。

款	8	土木費	項	3	河川費	目	2	河川改良費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	排水路改修費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	14,485	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	15,182
R4	14,904	0	0	0		14,485	執行率
R3	44,963						95.41 %

事業の趣旨・目的

準用河川、普通河川、営農などの用途を持たない排水路について、地元要望に基づく小規模な改修や清掃等を行う。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
排水路改修事業費	委託料	2,289
	清掃等業務委託 11件	
	工事費 6件	4,407
排水路改修事業事務費	事務費等	7
	職員給与等	7,782

事業の成果・課題

地元要望である排水路清掃などの維持管理と、水路のコンクリート化などの改修を計画的に実施し、水路の流下機能の向上を図った。今後も、要望に基づき、排水を速やかに下流へ流せるよう水路の維持管理と改修を行う。

2	事業名	砂防事業費（単独事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	4,566	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,685
R4	2,914	0	0	0		4,566	執行率
R3	2,117						80.32 %

事業の趣旨・目的

降雨時の丘陵からの出水を、安全かつ円滑に排除するための流路改修を行うことで、土石流など土砂災害の発生を抑制する。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
砂防改修事業費	建設工事関連委託料 1件	1,815
	工事費 4件	2,739
	事務費等	12

事業の成果・課題

綾歌町岡田上地内において急傾斜地崩壊対策事業を予定する箇所の予備設計と、島しょ部において丘陵からの排水対策としての流路改修工事を実施した。近年の突発的かつ局所的な大雨に備え、ハード対策を継続するとともに、まるがめマップを利用したハザードマップによる危険箇所の周知などソフト対策も行っていく。

3	事業名	砂防事業費（単独県費補助事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	34,000	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	34,000
R4	5,335	0	17,000	17,000		0	執行率
R3	8,266						100.00 %

事業の趣旨・目的

土砂災害警戒区域内の急傾斜地において、県の補助制度を活用し崩壊防止対策施設を整備することで、前面民有地などの被災防止を図る。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
綾歌町栗熊東地内 急傾斜地崩壊防止対策事業費	建設工事関連委託料 1件 工事費 1件	499 33,501

事業の成果・課題

令和5年度からは、急傾斜地崩壊対策工事に着手した。引き続き、県の補助制度を活用し予算財源を確保しながら計画的に事業を実施する。

4	事業名	排水路機能強化施設整備事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	11,036	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,500
R4	4,912	0	0	0		11,036	執行率
R3	10,088						95.97 %

事業の趣旨・目的

大雨時に発生する浸水被害を軽減するため、常設・臨時排水ポンプ施設の整備を行い、まちの防災機能の保全を図る。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
排水路機能強化施設整備 事業費	工事費 10件 需用費 消耗品費	10,591 445

事業の成果・課題

排水ポンプ施設の年次点検の結果から、本島町新在家地内、広島町茂浦地内、中津町地内の排水ポンプ施設において、部品交換を行った。引き続き、排水ポンプ施設の設置、点検、改修、更新による、適切なメンテナンスサイクルの確立で、まちの防災機能の保全に取り組む。

5	事業名	排水路機能強化施設整備事業費（繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	19,624	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	19,703
R4	—	0	0	14,700		4,924	執行率
R3	—						99.60 %

事業の趣旨・目的

大雨時に発生する浸水被害を軽減するため、常設・臨時排水ポンプ施設の整備を行い、まちの防災機能の保全を図る。

実施事業の内容

安達三浦排水ポンプ場分電盤更新工事費 19,624

事業の成果・課題

安達三浦排水ポンプ場において、令和4年度に引き続き分電盤の更新工事を実施し完成した。

6	事業名	排水対策事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	10,156	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	24,300
R4	8,368	0	0	5,600		4,556	執行率
R3	—						41.79 %

事業の趣旨・目的

気象変動により頻発する局所的豪雨により市内各所で発生する浸水被害に対し、浸水箇所周辺の調査測量から、水路の容量不足や狭窄・湾曲などの原因を特定し、対策を検討のうえで局所的な改良工事を行う。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (13,500)

事業名	事業内容	事業費
排水対策事業費	建設工事関連委託料 9件	9,282
	工事費 3件	874

事業の成果・課題

原因特定のための調査測量を4箇所、対策工事の実施に向けた測量設計を4箇所を実施した。また、浸水被害軽減に向けた局部改良工事を新田町道上地内の1箇所を実施した。

7	事業名	排水対策事業費（繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	67,021	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	76,680
R4	—	0	0	51,500		15,521	執行率
R3	—						87.40 %

事業の趣旨・目的

気象変動により頻発する局所的豪雨により市内各所で発生する浸水被害に対し、浸水箇所周辺の調査測量から、水路の容量不足や狭窄・湾曲などの原因を特定し、対策を検討のうえで局所的な改良工事を行う。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
排水対策事業費	建設工事関連委託料	1 件 5,280
	工事費	9 件 54,824
	公有財産購入費	
	土地購入費 (A=190m2)	2 筆 4,305
	補償、補填及び賠償金	
	補償金	3 件 2,612

事業の成果・課題

対策工事のための測量設計を1箇所、浸水被害軽減に向けた局部改良工事を飯野町東二鞍畔地内・新田町道上地内・飯山町川原北岸地内・新田町長池道下地内の4箇所で実施した。

款	8	土木費	項	4	港湾費	目	1	港湾管理費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	港湾管理費					担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	8,292	国支出金	県支出金	地方債	使用料	一般財源	10,450	
R4	7,099	0	1,437	0	6,855	0	執行率	
R3	6,949						79.35 %	

事業の趣旨・目的

市が管理する港湾の施設管理を行うとともに、丸亀港などの管理者である県と連携を図り、港湾施設利用者の安全性と利便性を確保する。

実施事業の内容

光熱水費	3,079
港湾施設清掃委託料 丸亀港	146
施設管理委託料 緑地除草等 本島港・丸亀港他	2,235
香川県港湾協会負担金等	314
修繕料	2,320
事務費等	198

事業の成果・課題

港湾施設内の照明灯の修繕や、除草・剪定・清掃を行い、港湾施設を安全で快適に利用できるよう管理した。照明灯の修繕については、7基の照明灯をLED灯に取り替えることで、消費電力の削減による環境負荷の低減を図った。

2	事業名	港務所管理費					担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	10,601	国支出金	県支出金	地方債	使用料	一般財源	10,648	
R4	9,898	0	4,882	0	5,719	0	執行率	
R3	9,270						99.56 %	

事業の趣旨・目的

香川県管理港湾丸亀港を利用する船舶等に対し、港務所業務である係船予約の受付や係船料の徴収事務を通じ適正利用を指導する。

実施事業の内容

会計年度任用職員報酬等（2人）	5,161
光熱水費	848
施設管理委託料	132
合同待合所管理組合負担金等	3,627
事務費等	833

事業の成果・課題

丸亀港を利用する船舶の利用調整、入出港届の受理、係船料及び港湾施設使用料の徴収、船舶給水、および港湾統計に係る事務を適切に処理した。
丸亀港合同待合所（港務所）の老朽化対策には、今後、費用の増大が危惧される。

3	事業名	港湾施設長寿命化計画策定事業費（単独事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,306	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	9,306
R4	8,734	0	0	0		9,306	執行率
R3	6,787						100.00 %
事業の趣旨・目的							
市管理の島しょ部の10港湾施設と、県管理の宇多津港、丸亀港内の市管理施設について、長寿命化計画を策定し、施設の機能保全のための維持管理を行う。							
実施事業の内容							
港湾施設（丸亀港市管理）長寿命化に伴う詳細点検業務委託料							9,306
事業の成果・課題							
令和4年度に引き続き、丸亀港内の市管理施設のうち、重要施設である鋼矢板岸壁の詳細点検を行った。今後も、市管理港湾施設のうち重要施設について、10年毎の定期詳細点検を実施し、予防保全型の維持管理に取り組む。							

款	8	土木費	項	4	港湾費	目	2	港湾建設費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	港湾建設費（単独事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	112,191	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	170,040
R4	54,447	0	0	66,200		45,991	執行率
R3	30,134						65.98 %

事業の趣旨・目的

市管理の島しょ部の10港湾施設と県管理の丸亀港内の市管理施設について、改良・維持補修、高潮対策などを行い、機能の保全や向上を図る。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（55,860）

事業名	事業内容	事業費
各港湾改良事業費	建設工事関連委託料 3件 工事費 7件	1,485 41,399
各港湾維持補修事業費	工事費 19件	15,700
海岸保全事業費（高潮対策）	工事費 2件	1,955
港湾整備事業事務費	事務費等 職員給与等	65 19,648
浮桟橋連絡橋改良事業費	建設工事関連委託料 2件 工事費 1件	13,239 18,700

事業の成果・課題

港湾施設の改良、高潮対策、補修工事を行った。本島港では1号浮桟橋連絡橋の更新設計と4号浮桟橋の更新工事を実施した。また、江の浦港1号浮桟橋連絡橋は製作工事を発注し、予算を次年度に繰り越ししながら施工を継続している。引き続き、事業効果や重要度を確認しながら、施設の老朽化対策に取り組んでいく。

2	事業名	港湾建設費（単独事業・繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	218	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	218
R4	238	0	0	0		218	執行率
R3	—						100.00 %

事業の趣旨・目的

市管理の島しょ部の10港湾施設と県管理の丸亀港内の市管理施設について、改良・維持補修、高潮対策などを行い、機能の保全や向上を図る。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
各港湾維持補修事業費	工事費 1件	218

事業の成果・課題

江の浦港立石地区で照明灯の修繕工事を実施した。

3	事業名	臨海港湾施設整備事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	14,466	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	14,467
R4	13,739	0	0	10,800		3,666	執行率
R3	14,316						99.99 %

事業の趣旨・目的

企業活動を支える臨海工業地帯において、市管理丸亀港専用岸壁の老朽化対策に取り組み、港湾施設機能の保全による物流の円滑化を図る。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
丸亀港専用岸壁改修事業費	工事費 2件	14,466

事業の成果・課題

縁金物の取替など、丸亀港専用岸壁の老朽化対策を行った。引き続き、岸壁使用者からの要望や施設点検結果をもとに、計画的に対策することで機能の保全を努める。

4	事業名	港湾建設費（単独県費補助事業）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	18,699	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	18,700
R4	27,282	0	4,608	13,400		691	執行率
R3	32,878						99.99 %

事業の趣旨・目的

県の補助制度を活用し、鋼製門扉（陸こう）を設置することで、高潮対策による防災力の向上を図る。また、長寿命化計画に基づく改良工事を実施することで、老朽化対策による施設の長寿命化を図る。

実施事業の内容

高潮対策事業

事業名	事業内容	事業費
手島港	建設工事関連委託料	500
高潮対策事業費	工事費	3,135
江の浦港(江の浦地区)	建設工事関連委託料	499
高潮対策事業費	工事費	4,565

長寿命化事業

事業名	事業内容	事業費
本島港（泊）物揚場	建設工事関連委託料	480
改良事業費	工事費	9,520

事業の成果・課題							
高潮対策事業では、手島港と江の浦港で木製陸こうを鋼製（N=2基）へ改良した。長寿命化事業では、本島港で物揚場の改良を実施した。引き続き、県の補助制度を活用し予算財源を確保しながら、継続して事業に取り組む。							
5	事業名	県営港湾整備負担金				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	49,632	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	49,632
R4	21,721	0	0	41,800		7,832	執行率
R3	31,627						100.00 %
事業の趣旨・目的							
香川県が市内で実施する港湾整備事業について、その事業費の一部を負担するもの。							
実施事業の内容							
事業名		事業内容			事業費		
港湾整備事業負担金		丸亀港			49,632		
事業の成果・課題							
丸亀港の新浜地区、蓬萊地区については、地震・津波対策事業が、中津豊浜海岸、福島町、富士見町五丁目については、護岸や物揚場施設の老朽化対策事業が実施されている。							

款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	1	都市計画総務費
---	---	-----	---	---	-------	---	---	---------

1	事業名	都市計画管理費					担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	76,770	国支出金	県支出金	地方債	手数料等	一般財源	81,896	
R4	76,208	4,500	532	0	6,608	65,130	執行率	
R3	66,107						93.74 %	

事業の趣旨・目的

都市計画に関する事務を遂行する。

実施事業の内容

職員給与等	63,110
都市計画審議会委員報酬（1回）	91
景観審査会委員報酬（1回）	35
業務委託料（5件）	11,386
丸亀市官民連携まちなか再生エリアプラットフォーム構築業務委託料 他	
香川県都市計画協会負担金他	745
事務費等	1,403

事業の成果・課題

中心市街地の再生に向け、官民連携まちなか再生エリアプラットフォームの構築を行った。今後、まちなかの目指すべき将来像を示す未来ビジョンを策定し、ビジョン実現に向けた活動を官民連携により継続していく。

2	事業名	耐震改修促進事業費					担当課	建築住宅課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	6,439	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,630	
R4	9,475	3,094	1,181	0		2,164	執行率	
R3	13,648						97.12 %	

事業の趣旨・目的

市内にある新耐震基準を満たしていない住宅や建築物の耐震対策をする者に対し、補助金を交付することにより、耐震化を促進し、大規模地震等から市民生活の安全を確保する。また、民間所有のブロック塀等の倒壊を防止するため、撤去について補助を行う。

実施事業の内容

民間住宅耐震対策支援事業費補助金	4,490
耐震診断	11件 990
簡易耐震改修工事	1件 500
耐震改修工事	3件 3,000
民間ブロック塀撤去支援事業費補助金	17件 1,949

事業の成果・課題

耐震診断、耐震改修工事等への補助を行い、民間住宅の耐震化を促進した。民間ブロック塀の撤去支援では、所有者へポスティングを行うなど、補助制度の積極的な周知に努め、通学路の安全確保に取り組んだ。引き続き各補助制度の周知啓発を工夫しながら、耐震対策を推進していく。

款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	3	街路事業費									
1	事業名	街路事業費（単独事業）				担当課	建設課										
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額										
R5	11,016	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,394										
R4	11,708	0	0	0		11,016	執行率										
R3	13,172						96.68 %										
事業の趣旨・目的																	
街路事業を実施するための旅費、使用料、備品購入、職員給与等の支払いを行う。																	
実施事業の内容																	
<table><tr><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>事業費</td></tr><tr><td>街路事業事務費</td><td>事務費等</td><td>18</td></tr><tr><td></td><td>職員給与等</td><td>10,998</td></tr></table>									事業名	事業内容	事業費	街路事業事務費	事務費等	18		職員給与等	10,998
事業名	事業内容	事業費															
街路事業事務費	事務費等	18															
	職員給与等	10,998															
事業の成果・課題																	
適正な事務費の執行による予算の縮減に努めた。今後も、使途の精査を行いながら適正な予算執行を継続する。																	
2	事業名	県営街路整備負担金				担当課	建設課										
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額										
R5	11,627	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,627										
R4	4,850	0	0	9,700		1,927	執行率										
R3	17,744						100.00 %										
事業の趣旨・目的																	
香川県が市内で実施する街路事業について、その費用の一部を負担するもの。																	
実施事業の内容																	
<table><tr><td>事業名</td><td>事業内容</td><td>事業費</td></tr><tr><td>街路整備事業負担金</td><td>街路丸亀駅原田線（城西工区） （県道丸亀停車場線） 街路南条町土器線（土器東工区） （県道高松善通寺線）</td><td>11,627</td></tr></table>									事業名	事業内容	事業費	街路整備事業負担金	街路丸亀駅原田線（城西工区） （県道丸亀停車場線） 街路南条町土器線（土器東工区） （県道高松善通寺線）	11,627			
事業名	事業内容	事業費															
街路整備事業負担金	街路丸亀駅原田線（城西工区） （県道丸亀停車場線） 街路南条町土器線（土器東工区） （県道高松善通寺線）	11,627															
事業の成果・課題																	
街路丸亀駅原田線（城西工区）については、無電柱化に向けた測量設計が、街路南条町土器線（土器東工区）については、4車線化に向けた測量設計等が実施されている。今後も、香川県と連携することで、円滑な事業進捗に努める。																	

3	事業名	防災・安全交付金事業費				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	18,954	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	152,943
R4	—						執行率
R3	—	4,537	0	7,600		6,817	12.39 %

事業の趣旨・目的

歩道が未整備の都市計画道路において、国の交付金制度を活用しながら、通学路の安全対策としての歩道の整備を計画的に取り組む。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（133,989）

事業名	事業内容	事業費
都市計画道路土器線 道路整備事業費	補償、補填及び賠償金 補償金 N=3件	10,704
都市計画道路 土居城東土器線 道路整備事業費	建設工事関連委託料 測量・設計 N=1件	8,250

事業の成果・課題

土器線については、地権者との支障物件の移転補償交渉に時間を要し、予算を翌年度に繰り越しながらの事業となった。土居城東土器線については、地元説明会を実施し、地元関係者との協議調整を進めた。2路線とも、概ね問題なく事業の進捗が図れた。事業実施に必要な予算財源の確保のため、国の施策展開を注視し、最適な補助制度を選択することで、継続的に事業を実施する。

4	事業名	社会資本整備総合交付金事業（繰越明許費）				担当課	建設課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	14,451	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	14,451
R4	—						執行率
R3	—	7,949	0	5,800		702	100.00 %

事業の趣旨・目的

歩道が未整備の都市計画道路において、国の交付金制度を活用しながら、通学路の安全対策としての歩道の整備を計画的に取り組む。

実施事業の内容

事業名	事業内容	事業費
都市計画道路土器線 道路整備事業費 (市道土器線)	委託料 用地調査等 N=1件	14,451

事業の成果・課題

都市計画道路土器線については、予算を繰り越して用地調査等を実施し、事業の進捗を図った。

款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	4	公共下水道費
---	---	-----	---	---	-------	---	---	--------

1	事業名	下水道事業会計負担金				担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	756,716	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	756,716
R4	669,954	0	0	0		756,716	執行率
R3	693,603						100.00 %

事業の趣旨・目的

国が定める繰出基準に基づき、下水道事業へ繰出を行う。

実施事業の内容

下水道事業会計負担金 756,716

事業の成果・課題

雨水処理に係る経費等国の定める繰出基準に基づき支出を行った。今後も関係課と協議しながら、適正に繰出を実施していく。

2	事業名	下水道事業会計補助金				担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	135,000	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	140,000
R4	90,000	0	0	0		135,000	執行率
R3	180,000						96.43 %

事業の趣旨・目的

下水道事業の継続的な実施や安定化を図るための繰出を行う。

実施事業の内容

下水道事業会計補助金 135,000

事業の成果・課題

減価償却費や施設運転管理業務委託料等に係る繰出を行った。今後も、関係課と十分に協議し、丸亀市下水道事業経営戦略の動向等も確認しながら適正に繰出を実施していく。

款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	12	公園緑地事業費
---	---	-----	---	---	-------	---	----	---------

1	事業名	公園緑地管理費					担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	116,319	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	123,062	
R4	113,415	0	2,112	0	216	113,991	執行率	
R3	102,812						94.52 %	

事業の趣旨・目的

都市計画課所管の都市公園、子供の遊び場、市道街路樹等について、適切に維持管理を行い、安全で快適な生活環境づくりに寄与する。

実施事業の内容

公園緑地等施設維持管理委託料	83件	98,455
街路樹等維持管理設計委託料	1件	297
公園緑地等施設修繕料	31件	2,015
光熱水費		5,747
職員給与等		9,462
事務費等		343

事業の成果・課題

市民が都市公園等を快適に利用できるよう除草清掃や街路樹の剪定など通常の維持管理を行うとともに、施設修繕などの応急対応も適切に行った。

2	事業名	緑化推進事業費					担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	654	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	740	
R4	1,250	0	0	0		654	執行率	
R3	660						88.38 %	

事業の趣旨・目的

全市的な緑のまちづくりを推進するため、行政だけではなく市民や事業者等と協力・連携しながら、緑化意識の啓発や緑化活動に取り組む。

実施事業の内容

緑のまちづくり協議会補助金	640
事務費等	14

事業の成果・課題

緑のまちづくり協議会の活動に対して補助を行い、協議会が主催する緑化啓発イベントへの参加や地域の緑化活動への支援など、市民レベルでの緑化活動の推進に努めた。

3	事業名	公園緑地整備費				担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	72,695	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	119,772
R4	123,027	1,677	0	38,800		32,218	執行率
R3	78,669						60.69 %

事業の趣旨・目的

都市計画課所管の都市公園、子供の遊び場等について、老朽施設の改修や利用者ニーズ、周辺状況の変化に伴う再整備を行うなど、公園本来の機能の回復を図り、安全で快適な生活環境づくりに寄与するとともに、緑の基本計画で定められた公園整備重点ゾーンに新たな公園整備を行う。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (47,000)

公園緑地整備事業費

72,695

事業内容	事業費	特定財源
工事請負費 27件 飯山南地区公園フリースペース花崗土整地工事 飯山南地区公園セーフティマット設置他工事 他	15,619	国補助金 1,677 市債 38,800
業務委託料 5件 郡家地区公園 (仮称) 事業用地鑑定評価業務委託料 城南地区公園 (仮称) 事業用地鑑定評価業務委託料 城南地区公園 (仮称) 用地測量、現地境界立会業務委託 他	1,682	
建設工事関連委託料 5件 郡家地区公園整備測量業務委託 金山児童遊園整備測量設計業務委託 他	5,298	
使用料及び賃借料 くす玉リース料 (飯山南地区公園開園式)	35	
公有財産購入費 2件 (仮称) 郡家地区公園用地購入費	47,814	
負担金 川西町北竜王子供の遊び場水道管敷設工事に係る工事負担金	2,227	
事務費	20	
計	72,695	40,477

事業の成果・課題

都市公園や子供の遊び場などの既存施設の補修・更新を行い安全対策に取り組むとともに、飯山南地区で新規の公園整備工事が完成し、開園した。また、新しい身近な公園整備のため、郡家地区にて地域との協議を進め、用地取得を行い、市域全体でのバランスの取れた公園整備に取り組んだ。

4	事業名	亀山公園管理費					担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	52,677	国支出金	県支出金	地方債	天守入場料等	一般財源		53,460
R4	50,364	0	0	0	15,178	37,499		執行率
R3	45,417							98.54 %

事業の趣旨・目的

市民にとって安全で快適な憩いの場である亀山公園を適正に維持管理する。

実施事業の内容

亀山公園管理費							
委託料							44,676
施設管理委託料							
草花等植え付け委託料					1件	3,050	
維持管理委託料					32件	41,472	
業務委託料					1件	154	
需用費							7,998
光熱水費						6,487	
修繕料					14件	1,499	
飼料費						12	
役務費							3
手数料						3	

事業の成果・課題

亀山公園内の除草や清掃、草花の植付けなど、適正な維持管理を行い、安全で快適な憩いの場の提供に努めた。

5	事業名	亀山公園整備事業費					担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	18,522	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源		18,800
R4	9,922	0	0	6,000	1,003	11,519		執行率
R3	3,573							98.52 %

事業の趣旨・目的

亀山公園利用者の利便性向上のため、施設の整備を行う。

実施事業の内容

亀山公園施設整備事業費							
委託料							8,232
業務委託料					4件	1,003	
建設工事関連委託料					3件	7,229	
工事費					15件		10,207
消耗品費							83

事業の成果・課題

お濠流入水迂回水路設置工事に向けての実施設計や大手門入口の舗装改修を行うなど城内の環境整備に努めた。

款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	13	総合運動公園費
---	---	-----	---	---	-------	---	----	---------

1	事業名	総合運動公園整備事業費				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	266,114	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	349,994
R4	177,256	0	0	187,800		78,314	執行率
R3	31,641						76.03 %

事業の趣旨・目的

丸亀市総合運動公園においては、大規模イベント時に公園利用者向け駐車場が不足しており、利用者の利便性を高めるため、臨時駐車場として利用できる第2多目的広場並びにアクセス道路を整備する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（75,000）

丸亀市総合運動公園多目的広場並びにアクセス道路整備事業費	266,114
屋根付き広場オープニングセレモニーイベント等開催業務委託料	288
グラウンドホームベース他設置業務委託料	179
建設工事関連委託料	4,153
第2多目的広場防球ネット工事設計及び防災倉庫新築設計ほか	
工事請負費	253,681
第2多目的広場防球ネット設備工事及びアクセス道路橋梁上部工事ほか	
グラウンド用花崗土	241
ソフトボール及びサッカー関連備品一式ほか用具購入費	7,420
事務費等	152

事業の成果・課題

先代池北側の第2多目的広場に防球ネットや看板の設置等を進め第2多目的広場が完成した。アクセス道路は西汐入川橋梁上部工事が完了した。引き続きアクセス道路の整備を翌年度に繰り越して実施する。

2	事業名	総合運動公園整備事業費（繰越明許費）				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	136,152	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	142,233
R4	397,160	62,418	0	65,300		8,434	執行率
R3	282,718						95.72 %

事業の趣旨・目的

丸亀市総合運動公園においては、大規模イベント時に公園利用者向け駐車場が不足しており、利用者の利便性を高めるため、臨時駐車場として利用できる第2多目的広場並びにアクセス道路を整備する。

実施事業の内容

丸亀市総合運動公園多目的広場並びにアクセス道路整備事業費	136,152
建設工事関連委託料	3,260
第2多目的広場監視カメラシステム設置工事設計書作成業務ほか	
工事請負費	132,892
第2多目的広場駐車場舗装工事ほか	

事業の成果・課題

令和4年度の繰越しについては、第2多目的広場駐車場の舗装工事や防災倉庫の設置及び監視カメラ設置等を行い第2多目的広場が完成した。

款	8	土木費	項	5	都市計画費	目	14	市庁舎等整備費
---	---	-----	---	---	-------	---	----	---------

1	事業名	大手町地区公共施設再編整備基金積立金（運用利子）					担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	6,669	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源		6,669
R4	5,796	0	0	0	6,669	0		執行率
R3	5,778							100.00 %

事業の趣旨・目的

基金条例に基づき、基金運用利子を基金に積み立てる。

実施事業の内容

大手町地区公共施設再編整備基金積立金（運用利子） 6,669

事業の成果・課題

令和5年度は、基金運用利子6,669千円を積み立てた一方、大手町地区4街区再編整備事業費等の財源として248,533千円を活用し、基金残高は8,697,242千円となった。引き続き、基金の設置目的に沿い、大手町地区4街区再編整備事業等の財源として活用を進めていく。

2	事業名	大手町再編整備事業費					担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	40	国支出金	県支出金	地方債		一般財源		330
R4	130	0	0	0		40		執行率
R3	—							12.12 %

事業の趣旨・目的

大手町地区4街区再編整備事業に係る事務を行う。

実施事業の内容

報償金 40
丸亀市まちづくりアドバイザー報償費

事業の成果・課題

大手町地区4街区の再編整備を進めるにあたり、委嘱している丸亀市まちづくりアドバイザーに意見を伺い今後の事業の推進の参考とした。

3	事業名	大手町地区4街区再編整備事業費					担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	114,261	国支出金	県支出金	地方債		一般財源		123,300
R4	96,796	27,320	0	66,900		20,041		執行率
R3	104,671							92.67 %

事業の趣旨・目的

大手町地区4街区の再編整備を進め、将来にわたる本市の拠点地域として、まちの発展、新たな魅力向上につなげる。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (6,000)

事業内容	事業費
業務委託料 丸亀市大手町4街区南街区再編整備AR作成業務委託	770
建設工事関連業務委託料 4件 緑化駐車場アクセス方法検討業務委託 緑化駐車場整備に伴う県道部検討業務委託 市民ひろば横断測量業務委託 他	1,612
工事請負費 12件 市営大手町第二駐車場解体工事 市民ひろば駐車場整備工事 他	111,879

事業の成果・課題

新市民会館の建設に伴い、隣接する市営大手町第二駐車場の解体工事を実施した。また、南街区の再編整備基本計画策定に先行して緑化駐車場への南側県道からのアクセス方法等について検討を行った。

4	事業名	大手町地区4街区再編整備事業費（繰越明許費）				担当課	都市計画課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	25,450	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	25,450
R4	—	0	0	0		25,450	執行率
R3	1,000						100.00 %

事業の趣旨・目的

市民ひろば内の仮設駐車場整備工事を行う。

実施事業の内容

工事請負費	25,450
市民ひろば駐車場整備工事	
市役所構内仮設駐車場整備工事	

事業の成果・課題

4街区再編整備に係る各種工事に伴い、一時的に区域内の駐車場が減少する懸念があったが、今回市民ひろば内に仮設駐車場を設置することにより、4街区周辺の公共施設利用者の駐車場を確保することができた。

5	事業名	市庁舎等複合施設整備事業費				担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,729	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,020
R4	201,235	0	0	1,900		1,829	執行率
R3	603,148						74.28 %

事業の趣旨・目的

市庁舎等複合施設（市庁舎・市民交流活動センター複合施設）及びその周辺の整備を行う。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (1,000)

事業内容	事業費
業務委託料 丸亀市大手町二丁目境界確定業務委託 仮設駐輪場案内看板等作成業務委託	519
建設工事関連委託料 庁舎北側街区仮設駐車場整備工事に伴う変更設計業務委託	216
工事請負費 3件 大手町北街区仮舗装設置工事 市役所北用地平板ブロック設置工事 他	2,994

事業の成果・課題

市庁舎北側の用地について、県道の歩道拡幅用地とするため整備工事を実施し、通行者の安全性の向上を図ることができた。

6	事業名	市庁舎等複合施設整備事業費（繰越明許費）				担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	19,300	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	19,300
R4	—	0	0	0		19,300	執行率
R3	1,469						100.00 %

事業の趣旨・目的

市庁舎内の駐車場整備工事を行う。

実施事業の内容

工事請負費 市役所構内仮設駐車場整備工事 庁舎敷地北側フェンス取付工事 庁舎北側駐車場整備工事	19,300
--	--------

事業の成果・課題

市庁舎構内の駐車場整備工事が完了し、市庁舎等複合施設利用者の利便性の向上を図ることができた。

款	8	土木費	項	6	住宅費	目	1	住宅管理費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	市営住宅管理費					担当課	建築住宅課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	70,052	国支出金	県支出金	地方債	使用料	一般財源	73,574	
R4	63,014	0	0	0	70,052	0	執行率	
R3	60,593						95.21 %	

事業の趣旨・目的

住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で住宅を提供する市営住宅の管理費であり、入退居の管理、徴収に係る事務費、施設設備等の保守点検の事業費である。

実施事業の内容

職員給与等	41,849
中讃広域行政事務組合負担金（住宅管理情報）	3,064
住宅管理保守点検業務委託料	19,781
住宅管理人等手当	697
事務費等	4,661

事業の成果・課題

市営住宅の入退居の管理、徴収に係る事務、施設設備等の保守点検業務であり、適正な市営住宅の管理に努めている。

家賃等の長期滞納者となる事案を未然に防ぐため、督促状の送付や電話での納付指導を実施したほか、家賃回収のため一歩進んだ取組として給与差押えを行った。また、債権管理の一環として不納欠損処理にも取り組んだ。引き続き滞納者への滞納整理を強化していくことが課題である。

2	事業名	市営住宅維持補修費					担当課	建築住宅課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	65,760	国支出金	県支出金	地方債	使用料	一般財源	65,800	
R4	60,557	0	0	0	65,760	0	執行率	
R3	64,589						99.94 %	

事業の趣旨・目的

市営住宅の経常修繕及び公募のための空き家修繕、その他維持補修工事費である。

実施事業の内容

住宅修繕料（160件）	62,790
維持補修工事費（3件）	2,970

事業の成果・課題

快適な住環境を目指し、入居者及び入居希望者のニーズに適切に対応するよう努めており、一定の事業成果をあげられている。なお、今後も経年劣化による老朽住宅の増加が見込まれることから、修繕・維持補修等に計画的に取り組む必要がある。

3	事業名	市営住宅整備費				担当課	建築住宅課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	667,184	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	687,321
R4	486,151	398,837	0	249,800		18,547	執行率
R3	571,498						97.07 %

事業の趣旨・目的

市営住宅の経年劣化の進行を抑制するための予防保全的な修繕や改修、安全及び機能性を確保するための整備事業費である。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（10,037）

事務費等		477
本島団地第1期建替に伴う製本費	35	
本島団地建設住宅性能評価手数料 他2件	442	
建設工事関連委託料		35,472
川西団地第2期改築他に伴う設備設計業務委託料 他8件	11,935	
十番丁団地個別住戸改善に伴う設計業務委託料 他1件	715	
本島団地第1期改築に伴う主体監理業務委託料 他3件	9,113	
城東団地2、3棟外壁他改修に伴う主体設計業務委託料 他2件	4,805	
二軒茶屋団地第2期改築に伴う解体設計業務委託料 他3件	8,904	
工事請負費		625,061
本島団地第1期改築工事費 他15件	476,828	
二軒茶屋団地解体工事費 他1件	40,232	
十番丁団地個別住戸改善工事費	7,354	
城東団地1棟ルーフドレインストレーナー取付他工事費	47	
川西団地第2期改築に伴う解体他工事費 他10件	98,959	
平山ハイツ外灯LED化工事費 他1件	1,641	
補償金		6,174
二軒茶屋団地第1期建替に伴う移転補償金 15件	2,685	
富士見町住宅住替に係る移転補償金 2件	829	
川西団地改築工事に伴う支障電線路移設補償金 他1件	2,660	

事業の成果・課題

丸亀市市営住宅長寿命化計画に基づき、川西・二軒茶屋・本島団地の建替事業について入居者との合意形成に努めながら着実な進捗を図るとともに、十番丁団地個別住戸改善工事や平山ハイツ外灯LED化工事等を実施した。今後も計画的な市営住宅の整備と予防保全に取り組んでいく。

4	事業名	市営住宅整備費（繰越明許費）				担当課	建築住宅課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	291,220	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	291,220
R4	—	95,723	0	195,400		97	執行率
R3	—						100.00 %

事業の趣旨・目的

市営住宅の経年劣化の進行を抑制するための予防保全的な修繕や改修、安全及び機能性を確保するための整備事業費である。

実施事業の内容

建設工事関連委託料		9,119
二軒茶屋団地第1期改築に伴う主体監理業務委託料 他1件	8,624	
城東団地1棟外壁他改修に伴う設備監理業務委託料	495	
工事請負費		282,101
二軒茶屋団地第1期改築工事費 他3件	235,525	
城東団地1棟外壁他改修工事費 他1件	46,576	

事業の成果・課題

丸亀市市営住宅長寿命化計画に基づき、二軒茶屋団地第1期改築工事と城東団地1棟外壁他改修工事が完了した。

款	9	消防費	項	1	消防費	目	1	常備消防費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	常備消防管理費					担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	931,202	国支出金	県支出金	地方債	負担金等	一般財源	941,242	
R4	888,339	0	6,344	0	3,806	921,052	執行率	
R3	891,310						98.93 %	

事業の趣旨・目的

職員の研修委託費や旅費、被服費、通信運搬費などの事務経費。大規模化・複雑多様化する災害、救急業務の高度化などに職員が適切に対応するため、救急救命士の養成及び消防大学校、香川県消防学校での教育訓練を本事業で行っている。

実施事業の内容

会計年度任用職員報酬等（1人）	2,511
職員研修費	5,032
事務費等	32,905
職員給与等	890,754

（1）職員研修の実施状況

【 香 川 県 消 防 学 校 】	人 員	【 消 防 大 学 校 】	人 員
初任科	2	女性活躍推進コース	1
救助科	3	査察業務マネジメントコース	1
危険物科	3	【 香 川 労 災 病 院 】	人 員
予防査察科	4	気管挿管実習	1
初級幹部科	3	ビデオ喉頭鏡挿管実習	4
救急科	1	再教育病院実習	1
特殊災害科	3	就業前実習	1
小型移動式クレーン・玉掛け・ 巻上げ機技能講習	3	【 救 急 救 命 九 州 研 修 所 】	人 員
水難救助講習	2	救急救命士養成研修	1
機関員運転講習	3	指導救急救命士養成研修	1
通信指令講習	3	【 香 川 労 働 基 準 協 会 他 】	人 員
応急手当指導員講習	3	フルハーネス型墜落制止器具特 別教育	2
		特定化学物質取扱作業主任者	6

（2）消防訓練演習の実施状況

訓 練 演 習 等	人 員
文化財火災防ぎょ訓練	25
署・団合同火災防ぎょ訓練	20
島しょ部火災防ぎょ訓練	26

（3）離島救急搬送状況

発 生 場 所	件 数	搬 送 費
広島 地区	21	2,069
本島 地区	19	1,590
手島 地区	7	792
小手島 地区	2	182

事業の成果・課題

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、消防大学校、香川県消防学校等の研修、香川労災病院における救急救命士の実習については、予定どおりの人数を受講させることができた。
島しょ部の離島救急搬送については、主な搬送業務委託先が限られているので、今後を見据えて他の対応策も検討していく。

2	事業名	消防本部施設管理費				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	66,882	国支出金	県支出金	地方債	負担金等	一般財源	68,981
R4	70,199	0	0	0	22,896	43,986	執行率
R3	67,513						96.96 %

事業の趣旨・目的

通信指令システム及び消防救急デジタル無線の保守、庁舎清掃業務等の施設管理委託料や光熱水費の支払いのための事業である。

実施事業の内容

施設管理委託料・電気・水道料金等

66,882

事業の成果・課題

化石燃料の価格高騰に伴い、今後も燃料費及び光熱費の高騰が予想されていることから、職員に対し積極的に節電を呼びかけていく。通信指令システム及び消防救急デジタル無線は、情報伝達の要となる施設であり、現在まで問題なく運用できているが、常時問題なく運用するためにも定期的な保守点検が必要である。

3	事業名	常備消防活動費				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	16,333	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	16,708
R4	18,242	0	0	0		16,333	執行率
R3	11,101						97.76 %

事業の趣旨・目的

消防活動に必要な軽油、ガソリン等の燃料費、消火活動で使用する高圧ガス容器の定期点検料や高圧ガス容器、ホースなどの業務用備品の購入のために措置された事業である。

実施事業の内容

常備消防活動費

16,333

(1) 火災発生状況

区 分		令和4年中			令和5年中			
		合計	北署	南署	合計	北署	南署	
全火災	件数 (件)	38	18	20	50	24	26	
	損害額 (千円)	75,041	53,800	21,241	244,102	212,501	31,601	
内 訳	建物	件数 (件)	25	13	12	21	13	8
		焼損面積 (㎡)	1,145	762	383	3,135	1,040	2,095
		損害額 (千円)	70,248	49,073	21,175	242,294	211,926	30,368
	林野	件数 (件)	1	0	1	1	0	1
		焼損面積 (a)	0	0	0	24	0	24
		損害額 (千円)	0	0	0	0	0	0
	車両	件数 (件)	1	1	0	2	2	0
		損害額 (千円)	51	1	50	1,014	569	445
	船舶	件数 (件)	0	0	0	0	0	0
		損害額 (千円)	0	0	0	0	0	0
	その他	件数 (件)	11	4	7	26	9	17
		損害額 (千円)	4,742	4,726	16	794	6	788

〔表の続き〕

焼損棟数 (棟)	34	15	19	23	14	9
り災世帯数 (世帯)	20	10	10	10	6	4
り災人員 (人)	48	21	27	22	11	11
死 者 (人)	4	3	1	3	2	1
負傷者 (人)	9	4	5	5	1	4

(2) 火災の特別警戒

区 分	日 数	人 員
お城まつり	2	42
まるがめ婆娑羅 (花火)	1	6

事業の成果・課題

救急搬送や火災現場に出動する消防車両の燃料の他に、火災用手袋、防塵用ゴーグル、フルボディハーネスなどの消防・救助業務用品の購入、各種資機材の定期点検を行った。

4	事業名	救急活動費				担当課	消防本部総務課
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	7,392	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	7,416
R4	6,779	0	0	0		7,392	執行率
R3	10,657						99.68 %

事業の趣旨・目的

救急活動に必要な資器材等を整備し、また応急手当の普及啓発・救急車の適正利用推進に努めることで、市民の意識向上や救命率を高めることを目的とする。

実施事業の内容

救急活動費

7,392

(1) 救急指導の状況 (普通救命講習含む)

区 分	回数	受講者数
AED+心肺蘇生法の指導	108	2,752

(2) 救急意識の普及啓発パンフレット等作成状況

区 分	数 量
応急手当テキスト	1,000

(3) 救急出場状況

区 分	令和4年中		令和5年中	
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
火 災 事 故	9	7	7	5
自 然 災 害	1	1	0	0
水 難 事 故	2	2	8	2
交 通 事 故	430	430	425	395
労 働 災 害	41	37	35	34
運 動 競 技	24	24	36	34
一 般 負 傷	815	764	911	842
加 害	20	17	22	15
自 損 行 為	47	36	32	21
急 病	3,638	3,291	3,858	3,453
その他の事故	510	505	505	504
合 計	5,537	5,114	5,839	5,305

事業の成果・課題

新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、講習会の制限を解除したことで、講習会・受講者数ともにコロナ禍前の水準に戻りつつある。救急車の適正利用については、講習会で周知することに加え、広報紙やケーブルテレビ等を活用した啓発活動を行っているが、救急件数は大幅に増加しており、今後も救急車の適正利用について、市民に呼び掛けていく。

5	事業名	予防事業費				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,033	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,034
R4	625	0	0	0		1,033	執行率
R3	1,107						99.90 %

事業の趣旨・目的

市民の生命、身体、財産を火災から守るため、防火安全対策の推進に取り組んで行くことを目的とする。

実施事業の内容

予防事業費 1,033

防火思想の啓発活動実施状況

区 分	回数	受講者数	区 分	回数
防火講話	18	173	防火宣伝	2
			防火ビデオ貸出	11
			訓練用消火器貸出	114

住宅用火災警報器給付状況

設置世帯数	140件
-------	------

事業の成果・課題

本市は、住宅用火災警報器の設置率が低く、高齢者の火災による死者数が近年高水準で推移しているため、高齢者世帯の訪問による防火診断を行い、防火指導と住宅用火災警報器の給付、設置事業を開始するとともに、普及啓発に努めた。

令和6年度も引き続き住宅用火災警報器の給付事業を行うとともに、高齢者防火対策を推進する予定としている。

款	9	消防費	項	1	消防費	目	2	非常備消防費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	--------

1	事業名	非常備消防活動費					担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	59,496	国支出金	県支出金	地方債	補償金等	一般財源	62,706	
R4	57,178	0	0	0	3,054	56,442	執行率	
R3	58,643						94.88 %	

事業の趣旨・目的

消防団員の報酬、被服費、研修委託費や消防団車両の燃料費、消防屯所の電灯料、水道料などを支払う事業で、消防団活動を支えるための基本的な事業である。

実施事業の内容

団員報酬等	33,858
災害補償費	1,546
被服費（長靴含む）	6,933
消防団運営交付金等補助金	8,104
その他消防団に係る費用	9,055

(1) 団員研修の実施状況

県消防学校	指導員研修	3	人
	初級幹部科	3	人
	指揮幹部科（現場指揮課程）	3	人
消防本部	消防団幹部教養研修	35	人

(2) 消防訓練演習の実施状況

ア	消防団訓練大会	410	人
イ	香川県消防操法大会	21	人
ウ	署・団合同火災防ぎょ訓練	83	人
エ	島しょ部火災防ぎょ訓練	50	人
オ	丸亀市地震対処訓練	7	人

(3) 火災の警戒実施状況

ア	お城まつり特別警戒	(1日)	18	人
イ	年末特別警戒	(5日)	671	人

(4) 消防出初式

		458	人
--	--	-----	---

事業の成果・課題

消防学校教育の研修は予定どおりの人数が受講でき、消防訓練演習等についても、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に戻りつつある。また、令和4年度に続いて、丸亀市地震対処訓練に消防団が参加し、災害発生時の情報収集・伝達訓練を行った。消防団の災害対応能力を向上させるため、訓練内容の見直しを含め、いつ発生するか分からない災害に備えていきたい。

また、令和2年度から整備を進めている防火服、防火ヘルメットを32着購入した。今後も消防団員の安全確保のため、個人装備や資機材を計画的に購入し、消防団機能を充実させていくとともに、消防団の普及啓発活動に取り組み消防団員の確保に努めていきたい。

2	事業名	消防団員退職報償金				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	14,903	国支出金	県支出金	地方債	報償金	一般財源	15,103
R4	19,358	0	0	0	14,903	0	執行率
R3	10,266						98.68 %

事業の趣旨・目的

退職した消防団員に対して、退職報償金を支払う目的で設置している事業で、消防組織法において、消防団員が退職した場合に、その者に対して、その勤務年数と階級に応じて退職報償金を支払うこととされている。

実施事業の内容

消防団員退職報償金 14,903

事業の成果・課題

本年度は37名の消防団員が退団し、14,903千円の退職報償金を支払った。

3	事業名	消防団員等公務災害対策費				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	15,111	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	15,112
R4	15,111	0	0	0		15,111	執行率
R3	15,113						99.99 %

事業の趣旨・目的

公務災害補償や退職報償金の支払事務は、非常備消防活動費や消防団員退職報償金の事業で行われているが、本事業は、その支払を的確に実施するため、消防基金に対して掛金を支払うための事業。

実施事業の内容

消防団員等公務災害補償等共済基金掛金 15,111

事業の成果・課題

掛金の算定は消防団員の条例定数及び消防作業従事者等の人口（国勢調査の確定人口）により積算されるが、消防団員の条例定数と実員数に隔たりがあり、消防団への加入を促進することが必要である。

款	9	消防費	項	1	消防費	目	3	消防施設費
---	---	-----	---	---	-----	---	---	-------

1	事業名	消防施設等修繕費				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	20,203	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	20,309
R4	12,022	0	0	0		20,203	執行率
R3	12,917						99.48 %

事業の趣旨・目的

消防車両の車検や修繕、消防庁舎等の施設修繕に対応するための事業。

実施事業の内容

消防車等設備修繕費	9,351
消防施設修繕費	10,852

事業の成果・課題

消防車等設備修繕費では、消防署・消防団の消防ポンプ自動車等の車検や12ヶ月点検を実施した。また、消防施設修繕費では、北消防署及び南消防署オーバードアの修繕、第3分団屯所シャッターの交換修繕等を行った。

2	事業名	消防施設等整備費（単独事業）				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	743,156	国支出金	県支出金	地方債	不動産売払収入	一般財源	768,593
R4	289,687	10,052	6,398	552,400	417	173,889	執行率
R3	147,595						96.69 %

事業の趣旨・目的

消防屯所の整備や消防車両の更新、消防水利施設の修繕等を行うための事業。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（16,375）
消防施設等整備費 743,156

事業名	内 容	事業費	特定財源
消防屯所整備事業費	第5分団消防屯所新築工事等	51,965	地方債 75,000 不動産売払収入 417
	第11分団機械器具置場改築工事等	2,508	
	第12分団機械器具置場改築工事等	18,451	
	第13分団消防屯所解体工事等	3,617	
消防ポンプ自動車等整備事業費（消防団）	小型動力ポンプ付積載車軽自動車 2台	17,380	地方債 54,100
	小型動力ポンプ付積載車普通自動車 3台	36,891	
消防ポンプ自動車等整備事業費（消防本部）	消防ポンプ自動車CD-1型 1台	55,110	地方債 42,200 緊要補助金 10,052 石油補助金 6,398
	南消防署資機材搬送車 1台	8,355	
消防水利施設等整備費	耐震性貯水槽設置工事ほか	30,378	地方債 30,000
北消防署新訓練塔兼資機材保管倉庫整備事業費	北消防署新訓練塔新築工事等	448,210	地方債 335,000
消防自動車等整備事業費	北消防署梯子付消防自動車特別保守点検に伴う修繕等	47,382	
消防本部施設改修事業費	南消防署倉庫他増築工事等	22,909	地方債 16,100

事業の成果・課題

主な整備事業として、北消防署新訓練塔新築工事をはじめ、消防屯所では、第5分団屯所の新築工事、第12分団機械器具置場改築工事を行った。消防車両は、消防団の小型動力ポンプ付積載車、消防本部の消防ポンプ自動車CD-1型等を更新配備した。今後も、補助金等を有効活用しながら、計画的に車両更新を実施していく。消防水利施設等整備事業では、耐震性貯水槽を2基整備した。

3	事業名	消防施設等整備費（単独・繰越明許費）				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	37,707	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	39,049
R4	12,548	0	0	37,600		107	執行率
R3	15,638						96.56 %

事業の趣旨・目的

消防屯所の整備や消防車両の更新、消防水利施設の修繕等を行うための事業。

実施事業の内容

消防施設等整備費 37,707

事業名	内 容	事業費	特定財源
消防屯所整備事業費	第5分団（金倉）屯所新築に伴う外構整備工事	12,108	地方債 12,100
消防水利施設等整備費	第5分団（金倉）屯所整備に伴う造成等工事	25,599	地方債 25,500

事業の成果・課題

消防施設等整備費については、第5分団屯所新築に伴う外構整備、整備に伴う造成工事を行った。今後は老朽化した防火水槽の改修及び撤去が課題である。

4	事業名	消防施設整備負担金				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	26,916	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	33,700
R4	32,102	0	0	0		26,916	執行率
R3	35,473						79.87 %

事業の趣旨・目的

消防活動に必要な消防水利の整備及び改修を行う。

実施事業の内容

水道配水管拡張・改良工事等に伴う消火栓設置負担金	消火栓11基	17,756
消火栓修繕費負担金	修繕11箇所	9,160

事業の成果・課題

消防災害活動や地水利状況を考慮しながら継続的な消防水利の整備を進めており、配水管拡張・改良工事や道路修繕舗装に合わせて消火栓の整備及び改修を行った。今後については、引き続き消防水利の充足率を維持することが課題である。

5	事業名	消防救急デジタル無線整備事業費				担当課	消防本部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	19,250	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	19,300
R4	—	0	0	17,300		1,950	執行率
R3	—						99.74 %

事業の趣旨・目的

消防救急デジタル無線システムのネットワーク機器の更新を行う。

実施事業の内容

事業名	内 容	事業費	特定財源
消防救急デジタル無線整備事業費	消防救急デジタル無線システムネットワーク装置更新業務委託料	19,250	地方債 17,300

事業の成果・課題

デジタル無線システムネットワーク装置は、概ね10年で更新が必要となり、丸亀市だけでなく共同運用をしている善通寺市及び多度津町も同時に更新しなければならず、各市町が個別で契約する場合に比べ、2市1町での一括契約することで、費用が減額されるため、連携・協力の一環として一括契約を行った。指令システムやデジタル無線の更新には多額の費用を要するため、今後も消防の広域化を含めた連携・協力の強化を図る必要がある。

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	1	教育委員会費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	--------

1	事業名	教育委員会費					担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	4,827	国支出金	県支出金	地方債		一般財源		4,892
R4	4,107							執行率
R3	3,861	0	0	0		4,827		98.67 %

事業の趣旨・目的

合議制の執行機関である教育委員会を円滑に運営するための経費である。

実施事業の内容

委員報酬	3,648
委員会諸費	679
P C 購入費	500

教育委員会開催状況

会議名	開催回数	議案等件数
委員会	18回	118件

事業の成果・課題

定例・臨時教育委員会を開催し、教育委員会が担任する事務を審議し、教育行政を適切に管理・執行している。令和5年度ではノートP Cを導入し、教育委員会のペーパーレス化を図った。また、総合教育会議においても、教育委員会と首長との意見交換や情報共有を図り、健全な教育行政運営に努めている。

教育委員会表彰式は、生涯学習センターホールを会場に実施し、賞状と記念品を贈呈した。

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	2	事務局費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	------

1	事業名	事務局管理費				担当課	教育部総務課 学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	169,499	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	171,869
R4	163,074	0	58	0		169,441	執行率
R3	176,488						98.62 %

事業の趣旨・目的

教育委員会の指揮監督のもと、教育委員会が担う事務を円滑に執行するためにかかる経費である。【総務課】
教育委員会の適正な管理運営を行う。【学校教育課】

実施事業の内容

職員給与等	149,199
会計年度任用職員報酬等（6人）	11,298
就学相談業務委託料	800
よい歯の審査会業務委託料	140
教育文化祭等行事委託料	1,777
中讃広域行政事務組合負担金	2,156
県学校保健会負担金	106
校長会・教頭会補助金	150
学校保健会補助金	160
授業目的公衆送信利用料	1,336
事務費等	2,377

事業の成果・課題

教育委員会を円滑に運営できるよう適切に事務を行っている。【総務課】
適宜、業務内容を見直しながら円滑な管理運営を行っている。【学校教育課】

2	事業名	私学等振興費				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	600	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	600
R4	600	0	0	0		600	執行率
R3	600						100.00 %

事業の趣旨・目的

学校教育の発展を図るため、私立学校等の運営を支援する経費である。

実施事業の内容

私学振興補助金	460
勤労青年教育振興補助金	120
勤労青年教育振興事業負担金	20

事業の成果・課題

学校図書や教材・器具等学習に要する経費に対して助成を行い、私学や勤労青年教育の充実を図った。

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育振興費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-------

1	事業名	片岡給付型奨学金基金積立金					担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	4,000	国支出金	県支出金	地方債	配当収入	一般財源		4,000
R4	3,000							執行率
R3	—	0	0	0	4,000	0		100.00 %

事業の趣旨・目的

基金条例に基づき、基金の設置目的に沿って配当金を積み立て、後年度の事業に活用する。

実施事業の内容

片岡給付型奨学金基金積立金 4,000

事業の成果・課題

令和3年度に片岡政隆氏より寄贈を受けたアルプスアルパイン株式会社の株式の配当金を本基金に積み立て、令和5年度から本市で実施する給付型奨学金事業の財源として活用した。

2	事業名	片岡給付型奨学金基金積立金（運用利子）					担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	2	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源		2
R4	—							執行率
R3	—	0	0	0	2	0		100.00 %

事業の趣旨・目的

基金条例に基づき、基金の設置目的に沿って配当金を積み立て、後年度の事業に活用する。

実施事業の内容

片岡給付型奨学金基金積立金（運用利子） 2

事業の成果・課題

マイナス金利政策は解除されたものの、即座に基金運用利子を確保することは難しい状況であるため、関係課と調整しながら、確実かつ有利な運用に努め、積立金の確保に取り組んでいく。

3	事業名	奨学金給付事業費					担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	840	国支出金	県支出金	地方債		一般財源		840
R4	—							執行率
R3	—	0	0	0		840		100.00 %

事業の趣旨・目的

片岡政隆氏よりアルプスアルパイン株式会社の株式の寄附を受け、その配当金をもとに経済的に進学が困難である者に対し給付型の奨学金を支給し、将来社会に貢献し得る人材の育成に努める。

実施事業の内容							
片岡給付型奨学金（7名分）						840	
事業の成果・課題							
片岡氏から株式の寄附を受け、その配当金を原資に、令和5年度から奨学金の給付を開始した。令和5年度は17人から応募があり、選考の結果、7名を奨学生として選定し、奨学金を支給した。今後も寄附者の意向に沿って継続的に奨学金を支給し、将来を担う人材の育成に努める。							
4	事業名	教育研究所管理費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,993	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	4,185
R4	3,556	0	0	0		3,993	執行率
R3	3,470						95.41 %
事業の趣旨・目的							
丸亀市教育研究所条例に基づき、丸亀市の教育実態に即した研究を行う。また、視聴覚教育の振興を図る。							
実施事業の内容							
会計年度任用職員（教育研究所）報酬等(1人)						3,385	
視聴覚ライブラリー運営委託料						130	
教材備品購入費						197	
香川県教育研究所視聴覚ライブラリー負担金						20	
事務費等						261	
・学校教育の実践的研究							
所員研究 3部門 集合研修27回							
・視聴覚教材・機材の利用状況							
フィルム教材						0本	
DVD・ビデオ教材						28本	
16mm映写機						0回	
その他(VHSビデオデッキ)						1回	
事業の成果・課題							
研修員研修会では、幼児教育部会（幼稚園・保育所・こども園）と教科部会（小学校・中学校）を開催した。幼児教育部会では、子どもが主体的に人・もの・ことに関わり、心いっぱい、体いっぱい遊びこむことにつながる環境づくりについて研修を行った。教科部会では、道徳とICT活用部会に分かれて、確かな学力をめざす授業改善について研修を行った。また、視聴覚教材の貸出しにより、教員研修や安全・防災教育、歴史・ふるさと教育・平和学習に関する学習支援を行っている。							

5	事業名	教育情報化推進費				担当課	学校教育課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	169,950	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	174,363
R4	164,176						執行率
R3	162,433	0	69	0		169,881	97.47 %

事業の趣旨・目的

学校のＩＣＴ環境を整備更新し、校務支援システム等の活用による教員の業務の効率化を進めるとともに、教職員と児童生徒の情報活用能力を育成する。

実施事業の内容

会計年度任用職員（教育情報化推進員）報酬等（1人）	3,138
インク代購入費等	6,665
回線料	5,226
教育用ネットワークセンター構成機器等保守業務委託料	9,429
常駐サポート委託料	1,307
教員用服務管理システム保守業務委託料	1,716
印刷機保守業務委託料	1,283
ＩＣＴ支援員派遣業務委託料	3,501
教育用パソコン等借上料	87,500
小学校用コンピュータ等保守業務委託料	26,689
中学校用コンピュータ等保守業務委託料	15,312
セキュリティソフト使用料	2,109
タブレットドリル使用料	3,965
ネットワーク構築用備品購入費	199
事務費	1,911

事業の成果・課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、1人1台端末や大型モニターなどのＩＣＴ機器を有効活用した効果的な実践を行っている。令和5年度は、校務用ＰＣのリプレースのほか、ＩＣＴ支援員については、各校のニーズに応じた派遣を行うことができ児童生徒だけでなく、教職員のＩＣＴ活用指導力の向上が見られている。回線強化の取組としては、大規模校を中心にローカルブレイクアウト方式※による工事を実施した。

※ 安全が確保されているクラウドサービスに直接インターネットをアクセスさせる仕組み

6	事業名	日本語適応支援教室事業費				担当課	学校教育課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	6,101	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,666
R4	6,198						執行率
R3	5,893	0	1,665	0		4,436	91.52 %

事業の趣旨・目的

海外から帰国した児童生徒や外国籍児童生徒、その他主たる家庭内言語が外国語であるなど日本語以外を使用する生活歴がある児童生徒のうち、教科等の学習活動に取り組むために必要な日本語の能力が十分でない者に対して、初歩的な日本語学習や学校への適応支援を一定期間集中して行う。

実施事業の内容							
会計年度任用職員（にほんご教室講師）報酬等（1人）501 外国人児童生徒等教育推進講師謝金（11人）1,774 日本語指導員謝金（10人）3,304 事務費522 ・にほんご教室修了者数 8人（小学生6人・中学生2人）							
事業の成果・課題							
にほんご教室は、年度を通して入級・修了があるが、年度で区切ると12名が入級し8名が修了した。また、11人の外国人児童生徒等教育推進講師を、こくさい教室を含めた10校に派遣して、58名の児童・生徒に日本語指導や教科指導を行うなど、学習活動を支援してきた。複数の中学校へも派遣でき、小学校卒業後の継続的な指導にも対応できた。							
7	事業名	学校教育サポート事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	30,983	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	32,656
R4	29,509	0	2,815	0		28,168	執行率
R3	30,558						94.88 %
事業の趣旨・目的							
学校だけでは解決が困難な問題に対して指導・助言を行い早期解決に努める。いじめ防止等の対策を含む生徒指導の充実を図る。							
実施事業の内容							
会計年度任用職員報酬等30,714 指導主事（3人）・学校問題解決支援員（1人）・学校生活指導員（7人）・スクールソーシャルワーカー（3人） 相談謝金153 事務費116 ・サポート室への相談および苦情の対応件数266件							
事業の成果・課題							
保護者からの要求、いじめ、児童虐待、不登校など、学校だけでは解決が困難な事案が年々複雑化しており、各校には、早期発見や未然防止、いじめの積極的認知の取組を呼びかけている。令和5年度もサポート室には多くの相談が寄せられているが、長期化する事案は少なかったため、令和4年度に比べ対応件数は減っている。しかし、依然として各校において対応に苦慮している場面が見られるため、関係機関との連携や専門家への相談も行いながら、早期の解決を目指し取り組んでいきたい。							

8	事業名	小中・地域連携教育推進事業費				担当課	学校教育課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	14,393	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	19,732
R4	17,946	0	0	0	5,000	9,393	執行率
R3	17,377						72.94 %

事業の趣旨・目的

小中学校が連携を深め、各学校群の実情に応じた交流事業を行うとともに、地域との連携を深め、地域とともにある学校づくりに資する。

実施事業の内容

会計年度任用職員（講師）報酬等(8人)	11,160
推進協議会委員謝金	124
連携協議会運営事業委託料	1,971
学校運営協議会業務委託料	1,030
事務費等	108

事業の成果・課題

「小中連携」については、中学校教員による小学校での交流授業、中学生による学校紹介や部活動見学などの交流活動を通して、中1ギャップの解消や9年間を見通した児童・生徒理解が可能となっている。

「地域連携」については、各学校群の特色を生かし、コミュニティや学校支援ボランティアなどの地域人材と連携し、環境整備や登下校の見守り、本の読み聞かせ、授業支援など、多くの活動が各校で実施されている。今後も、「学校運営協議会」における協議内容などを反映させ、学校の状況や課題を共有した上で地域の実情に応じた取組の精選を図っていく。

9	事業名	就学奨励事業費（高校、大学）				担当課	学校教育課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,011	国支出金	県支出金	地方債	預託金返還金	一般財源	2,173
R4	2,010	0	0	0	2,000	11	執行率
R3	2,303						92.54 %

事業の趣旨・目的

高校・大学等への入学金の支払いが、経済的な理由で困難な人に対し入学金を貸し付け、支援を行う。

実施事業の内容

高・大学等入学金貸付金預託金	2,000
利子補給金	11
＜令和5年度貸付実行状況＞	
申請件数	3 件
貸付実行件数	1 件
貸付実行金額	110 千円

事業の成果・課題

学校や市のホームページ等を通して、これまで以上に本制度の周知に努め、誰もが夢や目標に向かって意欲的に学ぶ機会が保障されるよう支援していきたい。

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	4	教育文化体育基金費
1	事業名	教育文化体育基金積立金				担当課	財務課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	2,650,000	国支出金	県支出金	地方債	競走事業収入	一般財源	2,650,000	
R4	—	0	0	0	2,650,000	0	執行率	
R3	—						100.00%	
事業の趣旨・目的								
教育文化施設の建設・管理や文化体育の振興を図るため、教育文化体育基金への積立てを行う。								
実施事業の内容								
教育文化体育基金積立金						2,650,000		
事業の成果・課題								
モーターボート競走競走事業収入のうち約26億円、また次事業に記載する運用利子やふるさと丸亀応援寄附金を約0.4億円積み立てた一方、施設等の整備財源として429,446千円を取り崩したことから、令和5年度末基金残高は2,620,583千円となった。引き続き、基金の設置目的に沿って積立や計画的な活用を行っていく。								
2	事業名	教育文化体育基金積立金（運用利子・寄附）				担当課	財務課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	41,274	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源	41,274	
R4	22,241	0	0	0	41,274	0	執行率	
R3	10,235						100.00%	
事業の趣旨・目的								
基金条例に基づき、基金運用利子を積み立てるほか、基金の設置目的に沿った寄附金を積み立て、後年度の事業に活用する。								
実施事業の内容								
教育文化体育基金積立金 運用利子 寄附金						41,274 274 41,000		
事業の成果・課題								
マイナス金利政策は解除されたものの、即座に基金運用利子を確保することは難しい状況であるため、関係課と調整しながら、確実かつ有利な運用に努め、積立金の確保に取り組んでいく。								

款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	5	次世代育成基金費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	----------

1	事業名	次世代育成基金積立金				担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,300,000	国支出金	県支出金	地方債	競走事業収入	一般財源	1,300,000
R4	5,000,000	0	0	0	1,300,000	0	執行率
R3	—						100.00 %

事業の趣旨・目的

次代を担う人材の誕生、成長及び活躍を支援するため、次世代育成基金への積立を行う。

実施事業の内容

次世代育成基金積立金 1,300,000

事業の成果・課題

モーターボート競走事業収入のうち13億円を本基金に積み立てた一方、小中学校の給食費無償化等の財源として475,138千円を取り崩したため、令和5年度末基金残高は5,828,556千円となった。引き続き、基金の設置目的に沿って積立や計画的な活用を行っていく。

2	事業名	次世代育成基金積立金（運用利子）				担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,694	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	3,694
R4	—	0	0	0	3,694	0	執行率
R3	—						100.00 %

事業の趣旨・目的

基金条例に基づき、基金運用利子を基金に積み立てる。

実施事業の内容

次世代育成基金積立金（運用利子） 3,694

事業の成果・課題

マイナス金利政策は解除されたものの、即座に基金運用利子を確保することは難しい状況であるため、関係課と調整しながら、確実かつ有利な運用に努め、積立金の確保に取り組んでいく。

款	10	教育費	項	2	小学校費	目	1	学校管理費
---	----	-----	---	---	------	---	---	-------

1	事業名	小学校管理運営費					担当課	教育部総務課 学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	375,141	国支出金	県支出金	地方債	負担金	一般財源		404,333
R4	375,091	44	1,137	0	2,396	371,564		執行率
R3	367,516							92.78 %

事業の趣旨・目的

小学校の適正な運営にあたり、施設の維持管理にかかる経費である。【総務課】
 小学校の適正な運営にあたり、必要な環境整備を行うとともに、児童の健全な発達・成長に寄与するための取組や施策を行う。【学校教育課】

実施事業の内容

(1) 小学校施設費	209,040
会計年度任用職員（学校用務員）報酬等（7人）	19,015
施設管理委託料（警備委託ほか15件）	36,028
学校施設工事費	8,347
学校用地借上料（城北小ほか4校 5,936.51㎡）	1,337
学校施設修繕料	14,414
光熱水費	123,439
その他学校施設維持管理経費	6,460
(2) 小学校運営費	151,675
職員給与等	57,620
学校医（内科、耳鼻科、眼科等）及び薬剤師報酬	22,762
児童心臓検診委託料	1,046
教職員成人病検診委託料	2,202
小児生活習慣病予防健診委託料	2,632
庁用器具等備品購入費	2,254
教師用教科書・指導書購入費	880
校長会、教頭会等団体負担金	2,025
日本スポーツ振興センター災害共済負担金	5,506
事務費（消耗品）	39,706
事務費その他	15,042
(3) 小学校給食費	14,426
会計年度任用職員（給食パート）報酬等（14人）	10,287
給食配膳業務委託料	1,887
検便手数料	953
その他経費	1,299

児童数等の状況

年 度	学 校 数	学 級 数	児 童 数
令和4年度	18校	265学級	6,040人
令和5年度	18校	276学級	5,926人
増 減	—	11学級	△114人

事業の成果・課題

各小学校の安全・安心な施設の維持管理に努めている。【総務課】
 小学校の適正な運営を図るため、必要な環境整備を行うとともに、児童の健全な発達・成長に寄与する取組や施策を行った。【学校教育課】

2	事業名	児童指導推進費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	5,354	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,453
R4	5,205	0	0	0		5,354	執行率
R3	5,076						98.18 %

事業の趣旨・目的

教育支援センター友遊の充実と学校内の緊急的な諸問題に対応する。

実施事業の内容

会計年度任用職員（教育支援センター指導講師）報酬等（2人）	5,014
教育相談員謝金	240
児童緊急指導事業委託料	100

事業の成果・課題

学校内で起こる生徒指導上の緊急的な諸問題に、学校や保護者、関係機関との連携を図りながら対応することができた。教育支援センター友遊では、講師が家庭や学校と連携しながら、きめ細やかな支援を行い、心の居場所づくりと、学習支援や社会的自立に向けた活動を行った。

3	事業名	いじめ等対策事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,187	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,347
R4	1,084	0	0	0		1,187	執行率
R3	878						88.12 %

事業の趣旨・目的

児童の臨床心理に高度かつ専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、問題行動等の早期発見・未然防止に努めるとともに、教育相談体制の充実を図る。

実施事業の内容

スクールカウンセラー配置事業費負担金	1,187
--------------------	-------

事業の成果・課題							
12学級以上の公立小学校12校にスクールカウンセラーを年間40時間配置し、児童の友人関係や発達障害、不登校に対する助言・援助を行った。カウンセラーの存在が、児童・保護者・教員の心の支えや学校との仲立ち的な役割になっている場合もあり、今後も学校の教育相談体制の充実を図りたい。							
4	事業名	児童指導充実費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	74,962	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	77,899
R4	65,917	0	542	0	4,000	70,420	執行率
R3	65,637						96.23 %
事業の趣旨・目的							
障がいのある児童や授業に集中できない児童等、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるとともに、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、指導及び支援を行う。							
実施事業の内容							
会計年度任用職員報酬等73,549 講師（1人）・特別支援教育支援員（43人）・スクールサポートスタッフ（1人） 発達障害児巡回カウンセラー謝金1,370 備品購入費14 事務費29							
事業の成果・課題							
島しょ部を除く小学校に、特別支援教育支援員を43名配置し障がいのある児童に対し支援を行った。専門相談員による巡回カウンセリングでは、教員や保護者に今後の支援についてアドバイスをを行い、適切な指導が行えるよう支援を進めた。また、スクールサポートスタッフを1校に配置し、教職員が児童に向き合う時間の確保に努めた。個別の支援が必要な児童の増加に対応するため、今後も、個別の教育的ニーズに合わせた特別支援教育支援員の効果的な配置を検討していきたい。							
5	事業名	教職員等研修費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	600	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	600
R4	600	0	0	0		600	執行率
R3	600						100.00 %
事業の趣旨・目的							
学校教育を取り巻く様々な課題に対応できる実践的な教育研究を進める。							
実施事業の内容							
丸亀市小学校教育研究会（23部会）委託料600							

事業の成果・課題							
教科部会13部会、教科外部会8部会、学校事務部会、へき地教育部会による研修を進めた。部会ごとに授業研究を行うとともに、事務職員で構成する事務部会を年間2回開催し、実務能力の向上にも努めた。							
6	事業名	英会話推進事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,923	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,924
R4	2,801	0	0	0		2,923	執行率
R3	2,750						99.97 %
事業の趣旨・目的							
市内学校における外国語教育の充実を図るために、英語講師を派遣する。							
実施事業の内容							
会計年度任用職員（外国語活動指導講師）報酬等（1人）							2,923
事業の成果・課題							
小学校外国語の授業に講師1名を派遣し、ICT教材や絵カード、動画等も活用し、児童が楽しく外国語を学ぶことができるように努めている。また、他の教員と協力して歌やゲーム、リスニング等を通じて外国語が身近に感じられるよう取り組んでいる。							
7	事業名	人権教育フィールドワーク事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	100	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	101
R4	100	0	100	0		0	執行率
R3	100						99.01 %
事業の趣旨・目的							
人権に関する知的理解を深めたり、学力向上の推進を図ったりすることで、人権擁護の意識・意欲を実践行動にまで高めていくことのできる人権感覚を育成する。							
実施事業の内容							
地域学力向上・キャリア教育総合推進事業費							100
事業の成果・課題							
本事業の支援を受け教材・図書等を購入し、本の読み聞かせや紹介、また、基礎学力の定着を図った。事業を通して、自尊感情や自己有用感が向上するとともに、ふるさと本島を知り、大切にしようとする態度が育っている。							

8	事業名	学校図書館教育推進事業費				担当課	学校教育課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	32,109	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	32,285
R4	29,992						執行率
R3	29,817	0	0	0		32,109	99.45 %

事業の趣旨・目的

学校司書による小学校図書館の環境整備・蔵書の補充・読書活動の推進を図り、小学校における図書館教育の充実を図る。

実施事業の内容

会計年度任用職員（学校司書）報酬等（16人）

32,109

事業の成果・課題

学校司書の尽力により、学校図書館の機能である読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能を充実させるための環境整備が進められた。小学校では、子ども新聞が2紙配置された。また、ほとんどの小学校で国が定める学校図書標準の蔵書率を満たすことができている。今後は児童の主体的・意欲的な学習活動が展開できるよう、ICTの導入や更なる蔵書の充実を図るとともに、新しい教科書に合わせた資料提供を積極的に行うなど読書活動の充実を図っていく。

款	10	教育費	項	2	小学校費	目	2	教育振興費								
1	事業名		教育振興費				担当課	教育部総務課 学校教育課								
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額								
R5	75,731	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	78,858									
R4	77,870	2,332	0	0	1,100	72,299	執行率									
R3	79,104						96.03%									
事業の趣旨・目的																
児童就学奨励援助費については、経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する事業である。【総務課】 小学校における図書・教材を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図っていく。【学校教育課】																
実施事業の内容																
(1) 教材備品費16,353 図書費等7,458 教具費6,464 理科教育等備品購入費2,431 (2) 児童就学奨励援助費（給食費、学用品費等）59,378 児童就学奨励援助費 <table><tr><td>区 分</td><td>金 額</td></tr><tr><td>給 食 費</td><td>32,769</td></tr><tr><td>学 用 品 費 等</td><td>26,609</td></tr><tr><td>合 計</td><td>59,378</td></tr></table>									区 分	金 額	給 食 費	32,769	学 用 品 費 等	26,609	合 計	59,378
区 分	金 額															
給 食 費	32,769															
学 用 品 費 等	26,609															
合 計	59,378															
事業の成果・課題																
経済的理由により就学が困難にならないよう、援助を必要とする児童の保護者に必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に努めた。【総務課】 図書・教材を充実させることで、児童の自主的、自発的な教育活動や読書活動を展開することができた。また、令和5年度から、理科や算数に関する教育を実施するための設備の整備等を支援する事業を利用し、理科教育等の充実を図った。【学校教育課】																

款	10	教育費	項	2	小学校費	目	3	学校建設費
1	事業名	小学校建設費（単独事業）				担当課	教育部総務課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	351,019	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源	509,186	
R4	341,538	0	0	164,200	521	186,298	執行率	
R3	29,563						68.94 %	
事業の趣旨・目的								
小学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。								
実施事業の内容								
【予算現額のうち翌年度繰越額】（44,016）								
小学校建設費						326,297		
事業名					事業費	特定財源		
城南小学校長寿命化改修事業					31,612	地方債	9,600	
城坤小学校長寿命化改修事業					46,581	地方債	18,400	
城東小学校校舎等改築事業					46,816	地方債	24,700	
富熊小学校長寿命化改修事業					36,665	その他 地方債	3 23,600	
垂水小学校プール改築等事業					54,291	地方債	31,500	
城南小学校第2運動場整備事業					1,569			
城乾小学校受変電設備改修他事業					49,590	地方債	36,200	
城辰小学校電話交換機改修事業					2,179	地方債	1,300	
本島小中学校フェンス改修他事業					6,983	地方債	3,900	
飯山北小学校長寿命化改修事業					12,675			
飯山南小学校長寿命化改修事業					5,366			
広島小中学校整備事業					6,203	地方債	4,600	
飯野小学校特別支援学級整備事業					6,200	地方債	3,900	
小学校危険体育器具改善事業					11,476	寄附金	500	
小学校屋内運動場内照明LED化整備事業					8,091	地方債	6,500	
職員給与等						24,722		

事業の成果・課題

富熊小学校は校舎の長寿命化工事が完了したことから、運動場や中庭の整備を実施し、学校環境の改善を図った。垂水小学校ではプール改築工事に先行して、受変電設備や夜間照明設備等の移設を行ったが、資材不足により工期が延長となったことから、工事を繰り越した。城乾小学校については受水槽設備の更新を実施し、飯山北小学校については、長寿命化工事に先立ち、健全度測定調査や地質調査などを実施した。広島小中学校整備事業については、学校再開に向け、必要な改修のための設計を行った。

また、老朽化により安全性の低下がみられる体育器具の撤去・更新を行い、環境整備を進めた。そのほか、水銀ランプの製造中止に伴い、小学校屋内運動場内の照明LED化を実施し、施設改善を図った。今後も計画的に小学校屋内運動場内の照明LED化を進めていく。

2	事業名	小学校建設費（公共事業）				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	143,559	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	294,323
R4	40,779	47,853	0	86,100		9,606	執行率
R3	—						48.78 %

事業の趣旨・目的

小学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（150,764）

小学校建設費（公共事業）

143,559

事業名	事業費	特定財源
城坤小学校長寿命化改修事業	143,559	国 47,853 地方債 86,100

事業の成果・課題

「丸亀市学校施設長寿命化計画」に基づき、城坤小学校で施設の老朽化に対応するため、国の補助金を活用して、長寿命化改修工事に着手した。

また、城東小学校の改築工事に向けて、主体設計及び設備設計を実施したが、近年の物価高騰や工事の週休二日制導入による工期延長により、必要な工事費を翌年度に繰り越した。

款	10	教育費	項	3	中学校費	目	1	学校管理費
---	----	-----	---	---	------	---	---	-------

1	事業名	中学校管理運営費					担当課	教育部総務課 学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	202,994	国支出金	県支出金	地方債	負担金	一般財源		218,984
R4	196,298							執行率
R3	199,613	33	873	0	1,160	200,928		92.70 %

事業の趣旨・目的

中学校の適正な運営にあたり、施設の維持管理にかかる経費である。【総務課】
 中学校の適正な運営にあたり、必要な環境整備を行うとともに、生徒の健全な発達・成長に寄与するための取組や施策を行う。【学校教育課】

実施事業の内容

(1) 中学校施設費	109,738
会計年度任用職員（学校用務員）報酬等（3人）	7,129
施設管理委託料（警備委託ほか13件）	17,236
学校施設工事費	7,737
学校施設修繕料	8,443
光熱水費	62,898
土地借上料（綾歌中学校 1,985㎡）	327
その他学校施設維持管理経費	5,968
(2) 中学校運営費	86,654
職員給与等	23,487
学校医（内科、耳鼻科等）、薬剤師及び産業医等報酬	9,496
教職員成人病検診委託料	866
生徒心臓検診委託料	1,066
小児生活習慣病予防健診委託料	2,489
各種競技大会生徒派遣事業委託料	3,600
庁用器具等備品購入費	1,572
教師用教科書・指導書購入費	137
日本スポーツ振興センター災害共済負担金	2,714
校長会、教頭会等負担金	1,361
全国中学校体育大会負担金	2,500
各種競技大会生徒派遣補助金	5,454
事務費（消耗品）	19,906
事務費その他	12,006
(3) 中学校給食費	6,602
会計年度任用職員（給食パート）報酬等（6人）	4,162
給食配膳業務派遣委託料	1,757
検便手数料	415
その他経費	268

生徒数等の状況

年 度	学 校 数	学 級 数	生 徒 数
令和4年度	8校	107学級	2,925人
令和5年度	8校	109学級	2,932人
増 減	—	2学級	7人

事業の成果・課題

各中学校の安全・安心な施設の維持管理に努めている。【総務課】
 中学校の適正な運営を図るため、必要な環境整備を行うとともに、生徒の健全な発達・成長に寄与する取組や施策を行った。【学校教育課】

2	事業名	生徒指導推進費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	15,524	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	16,226
R4	11,564	0	352	0		15,172	執行率
R3	11,028						95.67 %

事業の趣旨・目的

教育支援センターを運営するとともに、部活動の強化やいじめ・不登校等様々な課題に対応する取組を行い、生徒の健全な育成を支援する。

実施事業の内容

会計年度任用職員報酬等	教育支援センター講師（3人）・部活動指導員（5人）・部活動コーディネーター（1人）	10,920
教育相談等講師謝金		450
生徒緊急指導事業委託料		650
いじめ対策事業委託料		150
不登校対策事業委託料		200
教育支援センター設置事業等委託料		1,000
会場借上料等		989
部活動強化推進補助金		1,000
事務費等		165

事業の成果・課題

教育支援センター友遊については、在籍生徒が充実した活動を行うことができおり、安定した生活や進路保障につながっている。保護者を対象とした専門家を招いての教育相談活動も成果をあげている。また、いじめ・虐待・不登校等、様々な課題の解決に関係機関等と連携して取り組み、生徒の健全な育成を支援することができた。部活動の地域移行については、部活動地域移行等検討委員会を設置し、地域移行に向けた取組を協議するほか、必要な部活動に部活動指導員を配置するなど、拠点校方式や合同部活動方式による取組を進めている。

3	事業名	生徒指導充実費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	43,100	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	47,687
R4	41,729	0	0	0		43,100	執行率
R3	41,098						90.38 %

事業の趣旨・目的

障がいのある生徒や授業に集中できない生徒等、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持つ力を高め生活や学習上の困難を改善又は克服するため、指導及び支援を行う。

実施事業の内容

会計年度任用職員報酬等	42,560
講師（14人）・特別支援教育支援員（5人） 発達障害児巡回カウンセラー謝金	540

事業の成果・課題

島しょ部を除く中学校に、特別支援教育支援員5名を配置し、障がいのある生徒に対し支援を行った。専門相談員による巡回カウンセリングでは、教員や保護者に今後の支援についてアドバイスを行い、適切な指導が行えるよう支援を進めた。また、市費講師14名を配置し、教職員が生徒に向き合う時間の確保に努めた。個別の支援が必要な生徒の増加に対応するため、今後も、個別の教育的ニーズに合わせた特別支援教育支援員の効果的な配置を検討していきたい。

4	事業名	教職員等研修費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	380	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	380
R4	380	0	0	0		380	執行率
R3	380						100.00 %

事業の趣旨・目的

学校教育を取り巻く様々な課題に対応できる実践的な教育研究を進める。

実施事業の内容

丸亀市中学校教育研究会（23部会）委託料等	380
-----------------------	-----

事業の成果・課題

教科部会11部会、教科外部会10部会、学校事務部会、へき地教育部会による研修を進めた。丸亀市中学校総合教育研究会を開催し、各教科ごとに充実した研修を行うことができた。

5	事業名	人権教育フィールドワーク事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	100	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	102
R4	100	0	100	0		0	執行率
R3	100						98.04 %

事業の趣旨・目的

人権に関する知的理解を深めたり、学力向上の推進を図ったりすることで、人権擁護の意識・意欲を実践行動にまで高めていくことのできる人権感覚を育成する。

実施事業の内容							
地域学力向上・キャリア教育総合推進事業費						100	
事業の成果・課題							
本事業の支援を受けた教材を活用することで基礎学力の向上がみられる。また、令和5年度では、渋染め一揆資料館を訪問し、同和問題の歴史について認識を深めた。事業を通して、自尊心や自己有用感が向上し、将来の夢や希望に向かって自分の進路を切り開こうとする態度が育っている。							
6	事業名	学校図書館教育推進事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,948	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	10,266
R4	9,273	0	0	0		9,948	執行率
R3	9,376						96.90 %
事業の趣旨・目的							
学校司書による中学校図書館の環境整備・蔵書の補充・読書活動の推進を図り、中学校における図書館教育の充実を図る。							
実施事業の内容							
会計年度任用職員（学校司書）報酬等（5人）						9,948	
事業の成果・課題							
学校司書の尽力により、学校図書館の機能である読書センター機能、学習センター機能、情報センター機能を充実させるための環境整備が進められた。中学校では、一般紙と学生新聞を合わせて、新聞が3紙配置された。また、蔵書率も年々増加しているが、まだ国が定める学校図書標準の蔵書率を満たしていないため、更なる充実を図るとともに、図書館のICT化を図り、教員への資料提供等の支援や、各教科を横断的に捉えた情報活用能力の育成を目指していく。							
7	事業名	外国語指導助手招致事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	25,037	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	25,568
R4	22,765	0	0	0	240	24,797	執行率
R3	22,145						97.92 %
事業の趣旨・目的							
小学校5、6年生及び中学生の外国語（英語）教育及び国際理解教育の向上を目指す。							
実施事業の内容							
会計年度任用職員（外国語指導助手(ALT)）報酬等(2人)						4,835	
外国語指導助手(ALT)家屋賃貸料						723	
国際交流関係負担金						113	
その他事務経費						148	
外国語指導助手(ALT)業務派遣委託料						19,218	
事業の成果・課題							
小中学校の外国語の授業において、ALTのネイティブ・スピーカーによる外国語表現に触れることができ、児童・生徒の外国語教育の充実を図ることができた。今後も、言語活動の充実を目指してALTを効果的に活用できるよう、研修やサポート体制の整備を引き続き行いたい。							

款	10	教育費	項	3	中学校費	目	2	教育振興費
---	----	-----	---	---	------	---	---	-------

1	事業名	教育振興費					担当課	教育部総務課 学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	73,623	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源		86,560
R4	78,873	1,972	0	0	1,100	70,551	執行率	85.05 %
R3	73,185							

事業の趣旨・目的

生徒就学奨励援助費については、経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して学用品費等の援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する事業である。【総務課】

中学校における図書・教材を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図っていく。【学校教育課】

実施事業の内容

- | | |
|--------------------------|--------|
| (1) 教材備品費 | 10,698 |
| 図書費等 | 3,585 |
| 教具費 | 5,674 |
| 理科教育等備品購入費 | 1,439 |
| (2) 生徒就学奨励援助費（給食費、学用品費等） | 62,925 |

生徒就学奨励援助費

区 分	金 額
給 食 費	21,564
学 用 品 費 等	41,361
合 計	62,925

事業の成果・課題

経済的理由により就学が困難にならないよう、援助を必要とする生徒の保護者に必要な支援を行い、義務教育の円滑な実施に努めた。【総務課】

GIGAスクール構想の推進に必要な物品など、図書・教材を購入し、生徒の自主的、自発的な教育活動や読書活動の充実につなげることができた。また、令和5年度から、理科や数学に関する教育を実施するための設備の整備等を支援する事業を利用し、理科教育等の充実を図った。【学校教育課】

款	10	教育費	項	3	中学校費	目	3	学校建設費
1	事業名		中学校建設費（単独事業）				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	168,543	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	293,894	
R4	91,872	0	0	89,100	500	78,943	執行率	
R3	15,382						57.35 %	
事業の趣旨・目的								
中学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。								
実施事業の内容								
【予算現額のうち翌年度繰越額】（121,002）								
中学校建設費							151,714	
事業名				事業費	特定財源			
綾歌中学校屋内運動場等改築事業				121,816	地方債	69,100		
南中学校電話交換機改修事業				2,781	地方債	2,000		
南中学校トイレ改修事業				3,905	地方債	2,900		
中学校危険体育器具改善事業				6,431	寄附金	500		
中学校屋内運動場内照明LED化整備事業				16,781	地方債	15,100		
職員給与等							16,829	
事業の成果・課題								
長寿命化改修の先行工事として、南中学校の老朽化したトイレの洋式化やバリアフリー化などの設計を行った。 また、老朽化により安全性の低下がみられる体育器具の撤去・更新を行い、環境整備を進めるとともに、水銀ランプの製造中止に伴う、中学校屋内運動場内の照明LED化を実施し、施設改善を図った。今後も計画的に中学校屋内運動場内の照明LED化を進めていく。 南中学校トイレ改修工事については、公共事業の繰り越しに伴い、単独分も繰り越した。								
2	事業名		中学校建設費（公共事業）				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	136,896	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	207,594	
R4	—	45,632	0	82,100	359	8,805	執行率	
R3	—						65.94 %	
事業の趣旨・目的								
中学校施設の老朽化対策等を実施し、教育環境の整備・改善を図る。								

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (70,698)

中学校建設費 (公共事業)

136,896

事業名	事業費	特定財源
綾歌中学校屋内運動場等改築事業	136,896	国 45,632 地方債 82,100 諸収入 359

事業の成果・課題

老朽化した綾歌中学校屋内運動場の改築工事に着手し、武道場と合築することで今後の維持管理費の縮減と安心安全な施設整備に努める。

また、南中学校のトイレ改修工事については、国の補正予算による補助金を捕捉し、翌年度に繰り越した。

款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	1	幼稚園費
1	事業名		幼稚園管理運営費				担当課	教育部総務課 幼保運営課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	263,387	国支出金	県支出金	地方債	保育料等	一般財源	281,857	
R4	257,796	33	829	0	902	261,623	執行率	
R3	253,538						93.45 %	
事業の趣旨・目的								
安全かつ快適な保育環境の維持のための管理運営を行う。								
実施事業の内容								
※一般財源のうち、地方消費税交付金25,000を幼稚園運営費に充当								
(1) 幼稚園施設費								4,890
施設管理委託料（警備委託ほか11件）								3,328
学校用地等借上料（城東幼稚園ほか3園 4,863㎡）								1,257
その他幼稚園施設維持管理経費								305
(2) 幼稚園運営費								258,497
職員給与等								170,013
会計年度任用職員報酬等（講師：2人、担任補助：4人、特別支援員：15人、用務員等：10人）								65,229
園医（内科、耳鼻科、眼科、歯科）・薬剤師報酬								4,376
光熱水費								7,118
幼稚園施設修繕料								373
幼稚園業務派遣委託料								1,121
保育業務支援システム使用料								1,557
使用料・賃借料（AED・車船等）								693
備品購入費（庁用器具・図書等）								1,649
実費徴収に係る補足給付費(3人)								99
その他事務費等								6,269
幼稚園別園児数等の状況（単位：学級・人）								
幼稚園名		学級数	園児数(令和5年5月1日現在)					
			3歳	4歳	5歳	合計		
西幼稚園		3	7	10	12	29		
城坤幼稚園		3	8	17	25	50		
城東幼稚園		3	18	11	15	44		
城辰幼稚園		3	11	14	10	35		
本島幼稚園		1	0	1	0	1		
合計		13	44	53	62	159		
※前年度比較（幼稚園数）±0（学級数）±0（園児数）-15人								
公立幼稚園等一時預かり利用者数 延べ4,433人								

事業の成果・課題							
通常保育後や長期休業中に一時預かりを実施したほか、医療的ケア児の受け入れにより、保護者の多様なニーズに応えることができた。 幼児教育・保育の無償化及び女性の就業率向上等の影響などにより、幼稚園児の減少傾向が続いており、今後は社会情勢や子育て家庭のニーズ等を踏まえ、施設の改修時期にあわせ、施設の統廃合や認定こども園への移行等の検討を進める。							
2	事業名	幼稚園教育研究事業費				担当課	幼保運営課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	836	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	858
R4	543	0	0	0		836	執行率
R3	503						97.44 %
事業の趣旨・目的							
幼児の成長発達に寄与するための教職員の研修を行うとともに、より質の高い教育を提供するための研究事業に取り組む。							
実施事業の内容							
幼稚園教育研究事業費							836
事業の成果・課題							
研究会や研修会は集合形式による開催に戻りつつあり、オンラインでの研修を含め、積極的に参加することで教職員の資質向上を図ることができた。 園の研究事業においては、各園の実態や課題に即した研究実践に取り組み、指定園では、事前の準備作業を通して研究成果を発表し、教職員の能力向上に努めた。							
3	事業名	私立幼稚園等運営費				担当課	幼保運営課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	136,854	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	149,205
R4	140,366	58,654	38,442	0		39,758	執行率
R3	125,498						91.72 %
事業の趣旨・目的							
子ども・子育て支援法に基づき、子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園に対し施設型給付を行う。また、国の幼児教育保育の無償化に伴い、国立幼稚園や新制度に移行していない幼稚園の利用者に対し、施設等利用給付を行う。							
実施事業の内容							
私立幼稚園等運営費							136,854
私立幼稚園施設型給付費							69,390
市外公立幼稚園施設型給付費							52
私立幼稚園（新制度未移行）保育料給付費							67,412
事業の成果・課題							
新制度に移行した私立幼稚園に対して施設型給付を行うことで、保育環境を維持するとともに、未移行の私立幼稚園についても、保育料給付を行うことで子育て世帯における負担軽減に寄与している。							

4	事業名	私学等振興費				担当課	幼保運営課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	59,561	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	64,176
R4	56,430	13,326	8,894	0		37,341	執行率
R3	53,413						92.81 %

事業の趣旨・目的

私立幼稚園の園児の処遇向上や当該施設を利用する子どもの給食費の免除を目的として助成する市単独の補助金のほか、様々なライフスタイルに合わせて児童の保育形態を提供するため、私立幼稚園が実施する一時預かり事業に要する経費を助成する。また、国の幼児教育保育の無償化に伴い、幼稚園の預かり保育利用者に対し、施設等利用給付を行う。

実施事業の内容

私立幼稚園運営補助金	28,807
私学振興補助金 (私立幼稚園2園)	3,207
障がい児保育事業費補助金 (1園)	2,539
補足給付費補助金 (私立給食費)	22,929
芸術家派遣事業費補助金 (2園)	132
特別保育事業費	30,754
一時預かり事業費 (一般型) 委託料 (私立幼稚園1園)	3,146
一時預かり事業費 (幼稚園型) 委託料 (私立幼稚園3園)	10,037
私立幼稚園預かり保育利用料給付費	17,571

事業の成果・課題

私立幼稚園への運営費補助や障がい児保育における特別教育支援員の配置支援により保育環境の向上に寄与したほか、芸術家派遣への補助金を支給し、子どもの感性を育む取組を支援することができた。また、給食費の無償化を継続して実施することにより、子育て世帯における負担軽減に寄与できた。その他、一時預かり事業についてもコロナ禍の収束による影響もあったが、利用者の増加に対応している。

款	10	教育費	項	4	幼稚園費	目	2	幼稚園建設費
1	事業名	各幼稚園施設補修費					担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	4,620	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	5,134	
R4	4,937	0	0	0	500	4,120	執行率	
R3	4,914						89.99 %	
事業の趣旨・目的								
安全かつ快適な保育環境のための施設補修等を行う。								
実施事業の内容								
各幼稚園施設補修費							4,620	
事業の成果・課題								
幼稚園については、既に耐震化率が100%となっており、施設の修繕については、緊急性の高いものから随時実施している。令和5年度は、本島幼稚園のエアコン設備工事や危険遊具の撤去・改修工事などを行い、保育環境の改善・向上を図った。								
2	事業名	幼稚園建設費（単独事業）				担当課	教育部総務課	
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	9,433	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	10,100	
R4	—	0	0	6,600		2,833	執行率	
R3	—						93.40 %	
事業の趣旨・目的								
幼稚園施設の老朽化対策等を実施し、保育環境の整備・改善を図る。								
実施事業の内容								
本島幼稚園施設整備事業 工事費							9,433	
事業の成果・課題								
本島保育所・幼稚園の屋根改修工事と周辺の枯死した樹木の撤去を行い、保育環境の改善・向上を図った。								

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
1	事業名		人権啓発促進事業費				担当課	人権課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	6,498	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	7,123	
R4	7,221	0	0	0		6,498	執行率	
R3	6,874						91.23 %	
事業の趣旨・目的								
多様性条例や人権教育・啓発に関する基本指針に基づき、市民の人権意識の普及と高揚を図る。								
実施事業の内容								
丸亀市人権・同和教育研究協議会補助金 900								
丸同教だより「はぐくみ」作成配布補助金 483								
啓発資料等 製作・配布・掲出・保管 1,176								
小学生・中学生の人権作品集「なかま」2023年度版 作成							474	
小学生・中学生の人権作品集「なかま」2023年度版 配布							188	
インターネットと人権啓発チラシ 作成							182	
丸亀市人権教育・啓発に関する基本指針（改訂版） 増刷							38	
人権・同和教育指導員の派遣先募集チラシ 配布							6	
「憲法週間」看板 掲出・保管							22	
「ハンセン病を正しく理解する週間」看板 掲出・保管							22	
同和問題週間 庁舎看板・のぼり 掲出・保管							74	
人権週間庁舎看板・のぼり							170	
人権啓発用DVD購入費（2本） 145								
性的少数者支援・啓発事業費 276								
意見交換会・相談窓口 謝金							164	
相談窓口周知・啓発チラシ、ポスター製作							112	
パートナーシップ宣誓制度周知啓発事業費 28								
周知チラシ印刷代							28	
人権フェスティバル等交流事業業務委託料 3,300								
事務費等 190								
【人権啓発資料 作成・配布状況】								
資 料 名							発行部数	
丸同教だより「はぐくみ」作成配布 12月1日 第85号							50,000部	
小学生・中学生の人権作品集「なかま」 1月1日 2023年度版							50,000部	
【人権啓発看板、のぼりの設置状況】								
事 業 名							設置期間	
「憲法週間」看板（2か所）							4/17 ～ 5/9	
「ハンセン病を正しく理解する週間」看板（2か所）							6/10 ～ 6/30	
「わたしたちの同和問題週間」看板（19か所）							7/22 ～ 8/13	
〃 のぼり（2本）								
「人権週間」看板（2か所）							11/11 ～ 12/13	
〃 のぼり（207本）								

【講演会等の実施状況】

名 称	開催日	参加人数
丸亀市人権・同和教育研究協議会総会講演会 講師：あしたプロジェクト代表 谷 昂頼氏 他2名 「L G B Tから誰もが生きやすい社会を考える」	5/18	143 人
人権セミナー (3か所) 二軒茶屋総合センター、金山文化センター、富士見館	9/14、15、 20、25、26	114 人
性的少数者との意見交換会 飯山中学校、城西高等学校	7/11、2/6	348 人
性の多様性に関する研修会 金倉保育所、城辰小学校、南中学校、本島小・中学校	9/5、9/22、 10/12、2/5	149 人
人権交流研修会 国立療養所大島青松園施設見学	10/31	24 人

視聴覚教材保有状況

人権・同和教育教材ビデオ・DVD 248本

事業の成果・課題

令和5年1月に制定した「パートナーシップ宣誓制度」の周知啓発に関係団体と協力し、講演会を開催した。また、性的少数者に対する人権課題の理解促進について、相談窓口の設置や意見交換会を継続して実施し、今年度新たに当事者による研修会を行った。様々な人権課題の解消のため、チラシ・パンフレットの作成・配布、庁舎への啓発看板の掲出、研修会など、幅広く市民への啓発に努め、市民がお互いに多様性を認め合いながら暮らせる社会を目指す。

2	事業名	人権教育促進事業費				担当課	人権課 学校教育課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	5,641	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,086
R4	3,999	0	0	0		5,641	執行率
R3	3,643						92.69 %

事業の趣旨・目的

研修や啓発、実践的取組を通して、市職員、小中学校、各企業やコミュニティ等で人権・同和教育及び平和教育を推進する。

実施事業の内容

人権・同和教育指導員報酬等 (1人)	3,074
香同教・丸同教等団体負担金	550
小中学校人権・同和問題研修会運営費	240
事務費等	1,777

事業の成果・課題

人権・同和教育指導員により、コミュニティなど各種団体、事業者などへの人権研修を実施するほか、会計年度任用職員を含めた本市職員や市関係団体への研修も毎年実施しており、人権意識の向上に努めている。また、市広報紙等へ掲載するコラムを執筆し、様々な人権課題についても広く啓発を実施している。これからも、同和問題を中心に他の人権課題についても広く学べるよう研修内容を充実し、市民や事業者、市職員等の人権意識の向上に寄与できるよう引き続き啓発を実施していく。【人権課】

本市独自の研修会である「小中人権・同和教育研修会」では、人権感覚の素地を養う教育が行われるよう、それぞれの発達段階に応じた教材開発等を行っている。令和5年度は、全ての学校群において同和問題を扱った授業や男女共同参画に関する講師を招聘し講演を行うなど、現代の主な人権課題についての理解を深めることができた。【学校教育課】

3	事業名	社会教育管理費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	180,462	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	195,646
R4	196,013	0	0	0		180,462	執行率
R3	186,471						92.24 %

事業の趣旨・目的

社会教育法に基づき、市が実施することとされている社会教育の事務全般に係る管理費である。

実施事業の内容

職員給与等	177,631
社会教育委員報酬（10人・開催回数4回）	238
社会教育委員費用弁償	57
会計年度任用職員報酬等（1人）	2,411
事務費等	125

事業の成果・課題

第4次丸亀市生涯学習推進計画（令和4年度～7年度）の基本理念の実現に向け、具体的施策の取組状況の進捗を図った。また、「学習成果を社会で活用することを見据えた学びのあり方」というテーマで社会教育委員の会を開催し、学習を通して地域と関わるきっかけ作りにコミュニティを活用するなどの意見が出された。引き続き、計画に定められた施策の取組を進めるとともに、委員の意見を参考に次期計画に向けた準備を行っていく。

4	事業名	社会教育支援事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	5,658	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,778
R4	4,720	0	2,842	0		2,816	執行率
R3	4,832						83.48 %

事業の趣旨・目的

社会教育の推進に関わる団体に対する支援を行うとともに、子どもの育ちや学びを地域ぐるみで支える体制を整える。

実施事業の内容

家庭教育支援講座等講師謝金	452
地域学校協働活動推進事業委託料等(中学校区1箇所、小学校区8箇所)	4,497
事務費等	596
補助金	113
青年団体連絡協議会育成補助	113

家庭教育事業状況

事業名	回数 (回)	場 所	参加者数 (人)	テーマ、講師
丸亀市子育て学習会	15	各小学校	921	「学校教育と家庭教育」 元教育委員 馬場 慶子氏ほか
	26	各幼・保・こ	516	「望ましい生活習慣づくり」 香川県教育委員会生涯学習・文化財課 有馬 弘之氏ほか
丸亀市家庭教育セミナー	1	生涯学習センター	88	「子どもが育つ環境を作るには～今、 大人たちができること～」 スマホ依存防止学会認定アドバイザー 平松 良基 氏
丸亀市家庭教育講座	15	各幼・保・ こ・小学校	474	「親子で楽しくリトミック」 リトミック講師 北條 郁美氏ほか

事業の成果・課題

家庭教育事業のうち「子育て学習会」は、入学・入園時健診に併せて保護者に実施しており、親子のコミュニケーションや望ましい生活習慣づくりなどのテーマで、家庭教育の学習機会を提供した。

また、丸亀市PTA連絡協議会と合同で開催した「家庭教育セミナー」では、会場での開催に併せてオンライン録画の配信を行い、忙しい子育て世代のニーズに対応して学習機会の拡充に努めた。

地域学校協働活動については、学校と地域が連携し、子どもたちの見守りや学習支援、体験活動を通して、地域全体で子どもたちの成長を支える環境づくりを進めている。活動を発展・継続させるために新たな地域コーディネーターの発掘や育成のための講座を提供していきたい。

5	事業名	少年教育事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,574	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,348
R4	5,481						執行率
R3	2,528	0	0	0		3,574	66.83 %

事業の趣旨・目的

異年齢間での体験活動や地域活動への参加促進により、青少年の自立性や社会性を向上させる。

実施事業の内容

少年団体連絡協議会開催	少年団体指導者研修会謝金	50
少年体験活動業務委託料		886
補助金		2,631
少年団体育成補助		2,281
(少年団体加入数の状況)		
子ども会	7 団体	
ボーイスカウト	1 団体	
ガールスカウト	1 団体	
京極町交歓研修会補助		350
事務費		7

事業の成果・課題

少年団体連絡協議会においては、「子どものために知っておきたい多様性とジェンダー平等」というテーマで研修会を開催し、男女平等や多様性への理解が深まった。

親子都市である京極町との交歓研修では、京極町から10名の子どもたちを受け入れ、京極高朗公の墓所を訪れるなど、両市町の歴史を学ぶ機会を通して、子ども同士の親交を深めることができた。

また、少年体験活動事業は、様々な年齢層や立場の人たちと関わりながらキャンプやクラフト制作などの活動を通し、子どもたちのコミュニケーション能力や責任感、協調性などを育む機会を提供できた。

今後は体験活動の充実を図るとともに、市民活動団体や文化芸術活動団体等と連携し、活動の担い手育成にも積極的に取り組む。

6	事業名	二十歳の成人式開催事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,633	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,639
R4	1,707	0	0	0		2,633	執行率
R3	1,464						99.77 %

事業の趣旨・目的

二十歳に達した者を祝い励ますとともに、大人としての権利と義務、責任を自覚させることを目的に、二十歳の成人式を開催する。

実施事業の内容

印刷製本費	1,188
式典委託料	1,007
会場借上料	367
事務費等	71

事業名	開催日	場 所	該当者数(人)	参加者数(人)
令和6年丸亀市二十歳の成人式	令和6.1.7	アイレックス	1,099	876

事業の成果・課題

新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、コロナ禍前に行っていたアトラクションや集合写真の撮影を再開することができた。会場の様子は家族などにも共有できるよう動画で配信した。

また、参加者に配布した恩師からのメッセージ集には香川県が作成した若手社員のインタビュー記事や地元企業の情報を掲載し、地元へのUターン就職を促した。

7	事業名	生涯学習推進事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	647	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	780
R4	23	0	0	0		647	執行率
R3	60						82.95 %

事業の趣旨・目的

市民講座や地域いきいき講座を実施し、学習機会の提供を行う。

実施事業の内容

市民講座等講師謝金 (15件)	132
印刷製本費	312
市民学級パンフレット配布等業務委託料	130
事務費等	73

市民講座の実施状況

事業名		(参考) R4 講座数	R5 講座数	R5 延開催数(回)	R5 受講者数(人)
市民学級	一般講座	13	14	156	346
	特別教養講座	8	10	37	264
	子ども講座	4	4	28	66
	提案型講座	7	6	14	74
指定管理者自主事業		66	60	713	10,575
合計		98	94	948	11,325

開催場所：生涯学習センター、飯山総合学習センター他

各コミュニティで実施する地域いきいき講座の状況

施設名	回数 (回)	延受講者数 (人)
城北コミュニティセンター	5	160
城西コミュニティセンター	18	1,004
城乾コミュニティセンター	5	80
城坤コミュニティセンター	13	451
城南コミュニティセンター	0	0
土器コミュニティセンター	21	558
飯野コミュニティセンター	33	661
川西コミュニティセンター	13	577
郡家コミュニティセンター	7	227
垂水コミュニティセンター	105	1,050
本島コミュニティセンター	10	127
広島コミュニティセンター	17	271
栗熊コミュニティセンター	22	542
岡田コミュニティセンター	21	1,312
富熊コミュニティセンター	9	577
飯山南コミュニティセンター	35	724
飯山北コミュニティセンター	45	1,514
合計	379	9,835

地域いきいき講座：379講座中15講座の講師謝金を予算より支出

事業の成果・課題

市民学級や地域いきいき講座の受講者数は、コロナ禍前の水準まで回復した。また市民学級では、子育て世代を対象としたオンライン講座を実施したが、様々な年代にも提供できるよう講座内容や周知方法等を検討したい。また、地域の生涯学習推進員と連携し、市民のニーズや講師の情報などを新たに収集・提供し、講座内容の充実を図りたい。

8	事業名	放課後子どもプラン事業費				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)					予算現額
R5	214,216	国支出金	県支出金	地方債	保育料	一般財源	216,593
R4	182,131	47,143	49,903	0	66,503	50,667	執行率
R3	166,380						98.90 %

事業の趣旨・目的

放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な居場所を設けて、子どもたちが多様な体験・活動を行うことができるよう、環境づくりを推進する事業である。

実施事業の内容

(1)	放課後留守家庭児童会事業費	206,030
	放課後留守家庭児童会運営業務委託料	187,478
	備品購入費	1,352
	光熱水費	3,262
	過年度補助金返還金	3,142
	防災頭巾購入	4,554
	その他経費	6,242
(2)	放課後子供教室事業費	8,186
	放課後子どもプラン運営委員等報償費	6,614
	運営委託料	1,562
	その他経費	10

留守家庭児童会入会児童数 (33教室)

(R6.3.31 在籍数)

城乾第1 青い鳥教室	35 人	郡家第1 青い鳥教室	50 人
城乾第2 青い鳥教室	18 人	郡家第2 青い鳥教室	54 人
城坤第1 青い鳥教室	50 人	郡家第3 青い鳥教室	43 人
城坤第2 青い鳥教室	79 人	飯野第1 青い鳥教室	51 人
城坤第3 青い鳥教室	51 人	飯野第2 青い鳥教室	33 人
城北青い鳥教室	63 人	垂水第1 青い鳥教室	24 人
城西第1 青い鳥教室	50 人	垂水第2 青い鳥教室	25 人
城西第2 青い鳥教室	65 人	垂水第3 青い鳥教室	30 人
城南第1 青い鳥教室	51 人	岡田第1 青い鳥教室	43 人
城南第2 青い鳥教室	49 人	岡田第2 青い鳥教室	20 人
城南第3 青い鳥教室	48 人	栗熊青い鳥教室	25 人
城南第4 青い鳥教室	49 人	富熊青い鳥教室	45 人
城東第1 青い鳥教室	52 人	飯山南第1 青い鳥教室	55 人
城東第2 青い鳥教室	31 人	飯山南第2 青い鳥教室	23 人
城東第3 青い鳥教室	55 人	飯山北第1 青い鳥教室	68 人
城辰第1 青い鳥教室	37 人	飯山北第2 青い鳥教室	56 人
城辰第2 青い鳥教室	28 人	児童数計	1,456 人

放課後子供教室開室数 8小学校区 9教室

教室名	小学校区	開室場所
どっきん☆くらぶ	城東小学校区	認定NPO法人 さぬきっずコムシアター
ろくごう夢クラブ	城坤小学校区	城坤コミュニティセンター
わんぱくクラブ	飯山北小学校区	飯山北コミュニティセンター
おじょもんクラブ	飯野小学校区	飯野コミュニティセンター
みんなのみなみ みなみのみんな	城南小学校区	城南小学校、城南コミュニティセンター
富っ子クラブ	富熊小学校区	富熊コミュニティセンター
川西辰の子教室	城辰小学校区	川西コミュニティセンター
coco育	城辰小学校区	b&gまるがめ
ひまわりエルダークラブ	城西小学校区	丸亀ひまわりこども園

事業の成果・課題

放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）は、全学年受入れに対応できるよう施設整備を行っており、令和5年度末においても待機児童は発生していないが、利用児童数は増加傾向にあるため、引き続き受入環境の改善・充実を図るとともに、処遇改善を行うなど支援員確保に努めていく。また、放課後留守家庭児童会参加児童の安全確保のため、防災頭巾を購入し、青い鳥教室に設置した。

放課後子供教室は、コロナ禍で活動を見合わせていた教室が再開するなど活動の拡充が図れた。放課後留守家庭児童会との連携事業を実施する教室もあり、今後も連携事業を推進するとともに、各教室の活動を支援し、子どもたちの居場所の確保に努めていく。

9	事業名	留守家庭児童会施設整備事業費（公共事業）				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	65,922	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	65,922
R4	19,169	43,490	11,214	8,300		2,918	執行率
R3	117,743						100.00 %

事業の趣旨・目的

施設の老朽化や利用児童数の増加に対応し、安全・安心な放課後等の居場所を確保するため、国庫補助金等を活用して青い鳥教室の施設整備を行う。

実施事業の内容

留守家庭児童会施設整備事業費			65,922
教室名	事業名	事業費	特定財源
城東青い鳥教室	城東青い鳥教室施設整備事業	1,957	国 1,304 県 326
城坤青い鳥教室	城坤青い鳥教室施設整備事業	63,965	国 42,186 県 10,888 地方債 8,300

事業の成果・課題

城坤第1・第3青い鳥教室は、利用児童数の増加及び城坤小学校の長寿命化改修に伴い、校舎内の青い鳥教室を学校施設用途で使用することから、校舎外に移転整備した。

10	事業名	留守家庭児童会施設整備事業費（単独事業）				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	55,925	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	63,008
R4	9,168	0	0	29,600		26,325	執行率
R3	17,099						88.76 %

事業の趣旨・目的

施設の老朽化や利用児童数の増加に対応し、安全・安心な放課後等の居場所を確保するため、青い鳥教室の施設整備を行う。

実施事業の内容

留守家庭児童会施設整備事業費				55,925
教室名	事業名	事業費	特定財源	
城東青い鳥教室	城東青い鳥教室施設整備事業	17,260		
城坤青い鳥教室	城坤青い鳥教室施設整備事業	38,665	地方債	29,600

事業の成果・課題

城東青い鳥教室は、利用児童数の増加及び城東小学校の長寿命化改修に伴い、既存教室を解体し、現校舎内に仮設教室を整備した。また、新校舎内に新規教室を移転するための整備に着手した。

11	事業名	P T A活動推進費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,500	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,500
R4	2,500	0	0	0		2,500	執行率
R3	2,500						100.00 %

事業の趣旨・目的

丸亀市内における単位PTAの相互連絡を緊密にし、かつその共同事業の推進を図り、活力あるPTA活動を行うことで、子どもの健全育成と教育環境の改善を行う。

実施事業の内容

PTA連絡協議会育成補助金	2,500
---------------	-------

事業の成果・課題

「安心スマホ宣言」作品コンクールや「スマホ時代の子どもたちにForever」というテーマで合同研修会を開催することで、子どもの健全育成に対する保護者の意識向上に努めた。今後もスマートフォン等のインターネット利用に関して保護者への周知啓発を継続するとともに、望ましい基本的生活習慣の確立に向けて家庭の教育力の向上を図る。

12	事業名	放課後留守家庭児童会 I C T化推進事業費（繰越明許費）				担当課	教育部総務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	406	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	500
R4	—	135	135	0		136	執行率
R3	—						81.20 %

事業の趣旨・目的

放課後留守家庭児童会（青い鳥教室）の無線通信環境を整備し、I C T化を推進する。

実施事業の内容

放課後留守家庭児童会 I C T化推進事業費 406

教室名	事業名	事業費	特定財源
城辰・飯山北青い鳥教室	放課後留守家庭児童会 I C T化推進事業	406	国 135 県 135

事業の成果・課題

出席管理や利用人数の集計などの業務負担軽減と効率化を図るため、青い鳥教室に無線通信環境を令和4年度より整備している。半導体不足の影響で繰り越しとなっていたが、令和5年度において整備を完了した。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	2	公民館費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	------

1	事業名	公民館管理運営費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	6,523	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,563
R4	6,202	0	0	0		6,523	執行率
R3	5,756						99.39 %

事業の趣旨・目的

公民館の管理運営を行うとともに、生涯学習団体の活動を支援し、生涯学習を推進する。

実施事業の内容

公民館運営費	6,523
東小川公民館指定管理委託料	5,755
東小川公民館長寿命化計画策定業務委託料	543
生涯学習まつり補助金	180
県公民館連絡協議会負担金	15
事務費等	30

各コミュニティ等で実施する生涯学習クラブ活動の状況

施設名	生涯学習クラブ			
	クラブ数	会 員 数 (人)	活 動 回 数 (回)	前年度活動 回数(回)
生涯学習センター	53	800	1,057	1,178
東 小 川 公 民 館	8	105	319	302
飯山総合学習センター	15	237	408	418
小 計	76	1,142	1,784	1,898
城北コミュニティセンター	14	157	562	551
城西コミュニティセンター	15	199	723	747
城 乾 コミュニティセンター	9	107	247	211
城 坤 コミュニティセンター	21	367	720	760
城南コミュニティセンター	22	342	762	722
土器コミュニティセンター	25	344	696	649
飯野コミュニティセンター	7	114	282	259
川西コミュニティセンター	10	113	316	368
郡家コミュニティセンター	25	345	710	716
垂水コミュニティセンター	18	278	659	598
本島コミュニティセンター	0	0	0	0
広島コミュニティセンター	0	0	0	0
栗熊コミュニティセンター	10	131	224	221
岡田コミュニティセンター	24	366	894	924
富熊コミュニティセンター	16	267	517	525
飯山南コミュニティセンター	10	128	323	334
飯山北コミュニティセンター	17	284	439	399
コミュニティセンター小計	243	3,542	8,074	7,984
合 計	319	4,684	9,858	9,882

事業の成果・課題

生涯学習施設として重要な役割を担う東小川公民館の長寿命化を図るため、長寿命化計画を策定した。今後は、計画で定める ①利用者の安全確保②コストの縮減③効率的な維持管理の実施④施設の性能向上⑤多様なニーズへの対応 の5つの方針のもと、計画内容を着実に実施し、安全で市民ニーズに沿った行政サービスの提供に努めていく。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	少年育成センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-----------

1	事業名	少年育成センター運営事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	19,667	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	20,073
R4	18,706	0	0	0		19,667	執行率
R3	18,482						97.98 %

事業の趣旨・目的

補導・相談・育成の各業務に専門指導員を配置し、各業務の中心的役割を担いながら、関係機関や関係団体、及び学校と連携して少年の健全育成に取り組む。

実施事業の内容

職員給与等	7,552
少年育成センター運営協議会委員報酬（1回）	63
会計年度任用職員（少年育成センター所長及び専門指導員）報酬等（4人）	11,288
少年育成活動団体補助金	243
その他運営事業費	521

事業の成果・課題

少年育成センター運営協議会委員から意見をいただきながら、関係機関や団体、学校等と連携し業務に取り組むことで、青少年の健全育成を図ることができた。

2	事業名	少年育成センター活動事業費				担当課	学校教育課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,525	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	3,919
R4	2,041	0	48	0		3,477	執行率
R3	1,922						89.95 %

事業の趣旨・目的

学校・地域・関係機関及び関係団体と連携しながら補導活動・相談活動・健全育成活動を行い、少年の非行や不良行為の防止に取り組むとともに、健全育成のための啓発や地域環境浄化に努める。

実施事業の内容

補導員等活動旅費	1,734
補導員等災害補償保険料	163
育成だより「かめっこ」印刷製本費(3回)	436
通学路危険表示旗作成委託料	277
その他活動事業費	915

街頭補導活動状況

月	実施回数	補導員 延人数	愛の一声 実施人数	補導した 少年数	備 考
4	44回	73人	367人	11人	(補導員数) 職員 5人 補導指導員 13人 補導員 149人 合計 167人
5	45	80	267	23	
6	46	82	200	9	
7	45	94	341	16	
8	42	89	240	2	
9	51	96	463	28	
10	50	92	386	20	
11	40	82	305	5	
12	43	92	225	13	
1	46	94	461	21	
2	39	88	258	19	
3	36	70	244	8	
計	527	1,032	3,757	175	

通報受理状況 (単位 件数)

種別	内 容	計
不審者通報	痴 漢	0
	身体接触	3
	露 出	5
	つきまとい	5
	声かけ	1
	盗撮	0
	無断撮影	1
	不審行動	0
	その他	0
	計	15

(単位 件数)

種別	内 容	計
一般通報	器物損壊	0
	学校侵入	0
	喫煙関係	0
	飲酒関係	0
	暴走行為	0
	迷惑行為	2
	危険玩具関係	0
	家出関係	0
	落書き	0
	たまり場情報	7
	その他	18
	計	27

相談受理状況

学識別	小学生	中学生	高校生	その他	合 計
来所相談	3	1	0	2	6
電話相談	4	14	0	9	27
合 計	7	15	0	11	33
(うち、いじめ相談)	0	3	0	0	3

各会議開催状況

会 議 名	開催数 (回)
運営協議会	1
補導員研修会	1
青少年健全育成推進協議会 (講演会を含む)	3
非行防止定例情報交換会	11
少年を守る会 (研修会を含む)	3
万引き防止対策推進協議会	1

啓発活動の状況

- ・「STOP! いじめ。ピンクのシャツ運動」普及事業 (シャツ貸出) 15件
- ・万引き防止キャンペーン 1回
- ・カード及びチラシによる相談窓口周知 各1回
- ・メール等による相談窓口周知 7回

善行少年表彰

	小学校	中学校	高 校		合 計
個人(団体)	1(5)	10(2)	3		14人 (7団体)

白ポスト(悪書)回収

- ・市内20箇所
書籍1,115冊(有害914冊・無害201冊) DVD等1,551本(有害1,541本, 無害10本)

事業の成果・課題

令和5年度から補導員を伴った定期的な補導活動を再開した。補導活動では引き続き、出会った少年に積極的に声をかけることで(3,757名)少年の非行防止に努めた。また、定期的に情報交換を行い、学校、警察、西部こども相談センターなどの関係機関と連携を図った。

相談業務においては相談者の話を傾聴し、事案に応じて専門機関を紹介するなど、解決への見通しをもってもらうことができた。

育成業務においては特に啓発活動に力を入れ、お城まつりパレードでは市内の中学校と連携してピンクTシャツ着用によるいじめ防止キャンペーンに取り組んだ。また、白ポスト回収を定期的に行い、環境浄化を図ることができた。

育成だより「かめっこ」には、スマホやゲーム依存に関する啓発や、子育てについての話題を掲載するなど、継続して内容の充実に努めている。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	7	図書館費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	------

1	事業名	図書館管理運営費				担当課	図書館
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	180,497	国支出金	県支出金	地方債	負担金	一般財源	189,132
R4	166,256	0	0	0	181	180,316	執行率
R3	170,143						95.43 %

事業の趣旨・目的

3図書館の施設維持管理に係る経費及び窓口サービス等奉仕運営に係る経費で、施設の安全保持と環境整備及び、より充実した図書館サービスを提供するための施策を行う。

実施事業の内容

図書館施設費							46,197
委託料						13,271	
飯山図書館施設総合維持管理委託料等	9,771						
長寿命化計画策定業務委託料	3,500						
負担金、補助及び交付金						31,446	
施設維持管理一部負担金等							
工事請負費						979	
その他諸経費						501	
図書館運営費							134,300
図書館協議会委員報酬（委員8人・開催回数2回）						63	
職員給与等						51,697	
会計年度任用職員報酬等（10人）						20,558	
委託料						57,407	
統合図書館システム保守点検委託料外4件	6,697						
綾歌・飯山図書館窓口等運営業務及び							
移動図書館車運行業務委託料	50,710						
使用料及び賃借料						1,549	
移動図書館車フェリー代	469						
図書館コンピュータシステムリース料外5件	1,080						
負担金、補助及び交付金						148	
日本図書館協会会費外2件	148						
備品購入費（施設用ベビーカー2台）						97	
その他諸経費（電話料、移動図書館車法定点検料等）						2,781	

中央図書館開館時間延長結果（令和5年4月1日から令和6年3月31日までの平日204日間）
延長時間中（午後6時～午後8時）の利用状況

午後6時から午後8時の利用人数	3,595人	（1日平均利用人数	17.6人）
午後6時から午後8時の貸出冊数	14,472冊	（1日平均貸出冊数	70.9冊）

夏休み開館実績

	日数	入館者数	利用人数	貸出冊数
中央館	6	2,648	871	4,177
綾歌館	7	396	224	1,266
飯山館	5	2,293	729	3,705
合計	8	5,337	1,824	9,148

事業の成果・課題

昨年度に引き続き市内全館において夏休み期間中（7月21日から8月31日）全日開館を実施し、3館で延べ5,337名の入館者があった。また今後も継続して、市民の学習機会の拡大提供や図書館サービスの維持に努めていく。

2	事業名	子ども読書活動推進事業費				担当課	図書館
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	12,072	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	12,500
R4	12,446	0	0	0		12,072	執行率
R3	12,381						96.58 %

事業の趣旨・目的

「子どもが本を好きになり、読書によって育まれる力が一人ひとりの子どもの生きる糧となること」を願い、丸亀市子ども読書活動推進計画に基づき、子どもが読書に親しむ事業の実施や環境づくりに努める。

実施事業の内容

子ども読書活動推進事業費	12,072
子ども読書活動推進協議会委員報酬（委員10人・開催回数1回）	42
報償費	1,771
読書感想文入賞賞品代	21
ブックスタート事業費	644
セカンドブック事業費	1,106
需用費（紙芝居購入費等）	260
備品購入費（児童図書費）	9,999

読書通帳利用状況

	小学4年生	中央	移動	綾歌	飯山	配布合計
配布冊数	1,089	61	3	6	38	1,197

事業の成果・課題

赤ちゃんに絵本を手渡しするブックスタート事業については、健康課の協力を得て実施している。小学校入学前の幼児に絵本をプレゼントするセカンドブック事業については、市内保育所（園）・幼稚園・こども園の協力を得て配布に努めている。その配布率は82.5%であった。対象者からも好評を得ており、今後も家庭における読書活動の支援として継続する。

3	事業名	図書館サービス推進事業費				担当課	図書館
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	24,939	国支出金	県支出金	地方債	寄附金等	一般財源	25,535
R4	24,809	0	0	0	441	24,498	執行率
R3	24,822						97.67 %

事業の趣旨・目的

広く市民の利用に供するための図書や新聞・雑誌などの購入経費及び各種講座や講演会の開催、企画展示等の開催経費である。市民に生涯学習の場と機会を提供するとともに、課題解決や地域支援にも貢献できるよう、資料の充実を図り、情報提供に努める。

実施事業の内容

図書館サービス推進事業費	126
報償費（歴史講座等講師謝金）	63
印刷製本費	63
図書館資料費	24,813
需用費等（新聞・雑誌購入費等）	4,558
委託料（図書等資料データ入力委託料）	2,530
備品購入費	17,725
図書費（一般）	17,330
CD・DVD購入費等	395

図書館奉仕活動状況

区分		登録者数		入館者数	利用人数	貸出冊数	
		新規	累計				
中央館	一般	715	37,686	128,240	52,910	一般書	155,764
	児童	228	1,533			児童書	98,882
移動	一般	20	4,151		4,669	一般書	17,868
	児童	4	71			児童書	40,243
綾歌館	一般	59	2,951	16,999	10,722	一般書	24,900
	児童	48	387			児童書	35,794
飯山館	一般	335	22,525	143,927	52,653	一般書	157,966
	児童	192	1,829			児童書	117,706
合計		1,601	71,133	289,166	120,954		649,123

	中央館	綾歌館	飯山館
開館日数	302	296	302

市民1人当たり貸出冊数
649,123冊／107,845人≒6.0冊

図書資料整備状況(紙芝居含む)

(単位:冊)

配置 区分	中央図書館		移動図書館		計
	一般	児童	一般	児童	
令和4年度末	213,510	59,025	22,235	22,772	317,542
購入	3,707	1,882	860	704	7,153
寄贈	556	180	5	2	743
除籍	-3,598	-606	-226	-249	-4,679
令和5年度末	214,175	60,481	22,874	23,229	320,759
館合計	274,656		46,103		320,759

配置 区分	綾歌図書館		飯山図書館		計	合計
	一般	児童	一般	児童		
令和4年度末	21,683	22,396	92,488	46,849	183,416	500,958
購入	1,075	1,134	3,284	1,806	7,299	14,452
寄贈	162	148	833	174	1,317	2,060
除籍	-605	-569	-2,306	-1,845	-5,325	-10,004
令和5年度末	22,315	23,109	94,299	46,984	186,707	507,466
館合計	45,424		141,283		186,707	507,466

区分		新聞(部)	雑誌(冊)
中央図書館	購入	12	104
	寄贈	4	11
合計		16	115
綾歌図書館	購入	4	21
	寄贈	0	5
合計		4	26
飯山図書館	購入	11	75
	寄贈	2	5
合計		13	80

不明図書

(単位:冊)

	中央図書館	移動図書館	綾歌図書館	飯山図書館	計
新規不明図書	58	25	2	6	91
累計不明図書	388	82	5	109	584

講座・講演会・行事・展示等開催状況

中央図書館

行事等名		開催期間等	
講座等	絵本の読み聞かせ「はじめの一步 ～絵本の世界を誰かと一緒に楽しみましょう～」	1. 28	30名参加
	出前講座	8. 7	13名参加
	郷土にまつわる歴史講座	6回	338名参加
行事	中央図書館おはなし会	12回	292名参加
	おはなし会 (人権課と連携)	2回	29名参加
	クリスマスおはなし会	2回	52名参加
	お楽しみクリスマスブックス	12. 23～12. 24	
	司書コレ	3. 16～4. 7	
主な展示	こどもの読書週間「小学生が選ぶ こどもの本総選挙」	4. 22～5. 14	
	お父さんのための読み聞かせおすすめ絵本	6. 1～6. 29	
	環境月間展示 カーボンニュートラル (生活環境課と連携)	6. 3～6. 29	
	男女共同参画週間展示 (人権課と連携)	6. 10～6. 29	
	殿様を支えた家臣たち (資料館コラボ展示)	7. 15～9. 10	
	男女共同参画 絵手紙コンテスト (人権課と連携)	8. 1～9. 29	
	ハーフマラソン展示 (スポーツ課と連携)	9. 20～10. 29	
	NHK連続テレビ小説「ブギウギ」本島撮影 笠置シズ子さん関連展示 (生活環境課と連携)	10. 13～10. 29	
	愛でるいきものたち (資料館コラボ展示)	10. 13～11. 22	
	#つながる図書館『おなかのすいた「おいしい本」』 (香川県内公共図書館連携企画)	10. 13～11. 12	
	食品ロス展示 (クリーン課と連携)	10. 14～10. 29	
	「丸亀市平和祈念式」関連展示 (福祉課と連携)	11. 1～11. 19	
	糖尿病・COPD展示 (健康課と連携)	11. 6～11. 24	
	パープル&オレンジリボン展示 (人権課・子育て支援課と連携)	11. 10～11. 25	
	市内小中学校読書感想文入選作品展	11. 16～11. 29	
	障がい者週間展示 (福祉課と連携)	12. 1～12. 10	
	子宮がん検診啓発展示 (健康課と連携)	1. 10～2. 22	
	日本遺産展示 (生活環境課と連携)	2. 1～2. 22	

〔表の続き〕

	女性の健康づくり・自殺予防展示（健康課と連携）	3.1～3.31
--	-------------------------	----------

綾歌図書館

行事名		開催期間等	
講座等	たなかひかるさん読み聞かせライブ	12.3	29名参加
	絵本の読み聞かせ「はじめの一步 ～絵本の世界を誰かと一緒に楽しみましょう～」	11.19	15名参加
行事	お楽しみクリスマスブックス	12.23～12.24	
	司書コレ	3.16～4.6	
主な展示	こどもの読書週間「としょかん いかがですか」	4.23～5.12	
	男女共同参画週間展示（人権課と連携）	6.1～6.29	
	動物愛護週間展示	9.20～9.26	
	#つながる図書館『おなかがすいた「おいしい本」』（香川県内公共図書館連携企画）	10.13～11.12	
	市内小中学校読書感想文入選作品展	11.8～11.14	
	「丸亀市平和祈念式」関連展示（福祉課と連携）	11.1～11.19	

飯山図書館

行事名		開催期間等	
講座等	たなかひかるさん読み聞かせライブ	12.3	77名参加
	絵本の読み聞かせ「はじめの一步 ～絵本の世界を誰かと一緒に楽しみましょう～」	3.3	28名参加
行事	手作り教室	7.29	16名参加
	夜の図書室LIVE絵本の本の街と音と歌（自主事業）	8.27	42名参加
	大人のための秋の朗読会	11.12	20名参加
	お楽しみクリスマスブックス	12.23～12.24	
	司書コレ	3.16～4.6	
主な展示	こどもの読書週間「だあいすき」閉架書庫からこんにちは	4.1～6.29	
	男女共同参画週間展示（人権課と連携）	6.10～6.29	
	#つながる図書館『おなかがすいた「おいしい本」』（香川県内公共図書館連携企画）	10.13～11.12	
	市内小中学校読書感想文入選作品展	10.23～11.5	
	「丸亀市平和祈念式」関連展示（福祉課と連携）	11.1～11.13	

ボランティア団体等による活動

	団体名	行事名	実施回数	参加人員
中央	丸亀おはなしの会くれよん	おはなし会	11	218
綾歌	マロンベアおはなしの会	おはなし会	11	105
飯山	ももちゃんくらぶ	おはなし会	1	13
	図書館うさぎ	おはなし会	9	112

職場体験学習・図書館見学等

中央図書館	職場体験学習	中学校	3校	14名
	インターンシップ	短期大学	1校	1名
	図書館見学	短期大学	1校	8名
	図書館見学	小学校	4校	217名
	ボランティア	短期大学	1校	1名
綾歌図書館	職場体験学習	中学校	1校	2名
	図書館見学	小学校	1校	23名
	図書館見学	保育所	1校	24名
飯山図書館	職場体験学習	中学校	3校	8名
	図書館見学	小学校	1校	52名
	図書館見学	保育所	1所	30名
	図書館見学	こども園	1園	50名

事業の成果・課題

広く市民の利用に供する資料の収集・整備に努め、市の政策課題や利用者ニーズに対応した情報提供及び関連資料の展示を実施するなどサービスの拡充に取り組み、図書館の入館者数は増加している。学校の職場体験や施設見学も積極的に受け入れ、マルタスを利用した「おはなし会」や「郷土の歴史講座」を開催することで、幅広い年代の生涯学習等の支援に資することができたと考えている。また3館連携事業として例年開催している絵本専門士による読み聞かせ研修会は、多数の申込があり参加者からも好評を得ており、子どもたちへの読書の普及につながることを期待できる。今後も様々な展示や講座の開催等により情報提供を行っていく。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	資料館費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	------

1	事業名	資料館管理運営費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	45,177	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	49,226
R4	46,136						
R3	43,183	0	0	0		45,177	91.77 %

事業の趣旨・目的

郷土の歴史・文化に関する調査・研究の成果を広く市民に公開し、歴史遺産の普及・啓発に努める。

実施事業の内容

職員給与等		22,334
資料館学芸委員報酬等（5人）		40
会計年度任用職員報酬等（2人）		5,395
光熱水費		3,586
印刷製本費		1,138
委託料		9,016
施設管理業務（消防用設備点検業務委託料ほか 16件）	5,910	
運営業務（害虫駆除業務委託料ほか 3件）	208	
企画展示業務（企画展示用運搬等業務委託料ほか 19件）	2,898	
備品費		653
図書費	12	
郷土資料等購入費	550	
その他	91	
負担金補助金		26
日本博物館協会会費ほか 2件	26	
事務費等		2,989

1階企画展示室 展示状況

展 示 名 称	出品点数 (点)	開催日数 (日)	入場者 (人)	
			総数	1日平均
市民展（書道）	57	2	636	318
大西きくゑ遺墨展	58	8	1,243	155
殿様を支えた家臣たち	115	50	4,696	94
愛でる生きものたち	128	42	3,778	90
合 計	358	102	10,353	102

2階常設展示室 展示状況

展 示 名 称	出品点数 (点)	開催日数 (日)	入場者 (人)	
			総数	1日平均
生駒・山崎・京極の歴史と文化展（常設展示）	57	230	12,350	54
コーナー展示				
表装の美 第二部	18	20	—	—
新収蔵資料展				
過去5年間に寄贈された資料をご紹介します！	51	106	—	—
京極家と相撲	11	78	—	—
だるまさんが、ならんだ	63	26	—	—
合 計	200	230	12,350	54

1階ロビー展 展示状況

展 示 名 称	出品点数(点)	開催日数(日)
変り兜	8	235
令和4年度 城西小4年生校外学習成果の展示	11	29
逢坂貴良さんの切り絵作品 「京極のお殿様と家臣／変身！あなたもお殿様」	2	50

屋外民具展示室 展示状況

展 示 名 称	出品点数(点)	開催日数(日)
団扇・食・住・運搬用具関係民俗資料	203	209
団扇・衣・食・住関係民俗資料	163	26

資料館資料整備状況（令和5年度末現在）

区分	歴 史 資 料				
	古文書 書籍	絵図・地図	絵画・版画	書・短冊	城関係
本年度増加数	45点	1点	30点	62点	4点
現在数	19,804点	895点	2,303点	1,771点	827点

民 俗 資 料		その他の資料			合 計
民俗資料	写真資料	考古資料	建 造 物	工芸品	
27点	13点	0点	0点	0点	182点
10,528点	2,650点	238点	159点	179点	39,354点

資料の特別利用及びレファレンス件数

特別利用 (閲覧・撮影・複写・貸出)	レファレンス等による調査・回答	合 計
52件	109件	161件

事業の成果・課題

令和5年度は、京極家を支えた家臣たちを取り上げた展示や、絵画や工芸で表現された動物たちを紹介し、歴史と美術の2つの分野の企画展に取り組んだ。照明改修工事のため12月から2月末まで休館したが、その間に資料整理や、民具展示室の展示替えを行うなど収蔵資料の保存と活用を図った。

2	事業名	京極家資料調査・修復等事業費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,072	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,209
R4	1,884	0	0	0		2,072	執行率
R3	2,486						93.80 %

事業の趣旨・目的

京極家ゆかりの資料を調査及び修復し広く公開することで、郷土丸亀の歴史教育の一端を担う。

実施事業の内容

印刷製本費	282
委託料 (京極家絵図の表装業務委託料ほか 1 件)	1,790
	1,790

事業の成果・課題

これまでに修復を終えた京極家の大型絵図の内、利用頻度の高いものからレプリカを作成することで、閲覧による原資料の劣化を防ぎ、郷土資料の調査・研究の利便性を高めた。

3	事業名	資料館施設整備費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	27,485	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	30,000
R4	—	0	0	23,700		3,785	執行率
R3	—						91.62 %

事業の趣旨・目的

資料館施設の照明器具をLEDに改修し、省エネ及び温室効果ガスの削減を図り、ゼロカーボン化に取り組む。

実施事業の内容

委託料	2,175
業務委託料（民具移動業務委託料ほか 3件）	250
建設工事関連委託料（設備設計業務委託料ほか 1件）	1,925
工事請負費	25,310
工事費（照明設備改修工事ほか 7件）	25,310

事業の成果・課題

資料館施設の照明を全館LED化することにより、光熱水費の高騰に対応するほか、省エネルギー及び温室効果ガスの排出軽減を推進することができた。また、展示室の全ての照明に調光機能を付けることで展示資料にあわせた適切な照明を行えるようになり展示環境が向上した。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	9	美術館費
1	事業名	美術館管理運営費					担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	240,233	国支出金	県支出金	地方債	助成金等	一般財源	240,716	
R4	234,698	0	0	0	6,034	234,199	執行率	
R3	224,124						99.80 %	
事業の趣旨・目的								
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営に関する基本方針及び丸亀市猪熊弦一郎現代美術館運営ビジョンに基づき、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の管理運営を適正かつ効果的に実施する。								
実施事業の内容								
修繕料1,450								
業務委託料233,783								
美術館指定管理委託料						219,000		
美術館指定管理委託料（光熱水費追加分）						11,384		
美術館カフェ用備品補修業務委託料						3,399		
補助金5,000								
地域の芸術環境づくり補助金						5,000		
事業の成果・課題								
国内初公開となるテキスタイルの展覧会など話題性のある企画展を開催したことに加え、新型コロナウイルス感染症対策も緩和されたことから、来館者数は75,226人となり、昨年度と比較すると約18,000人増加した。また、造形スタジオでのワークショップ、芸術鑑賞支援事業や「親子でMIMOCAの日」など、子どもたちの来館を促すプログラムを実施し、文化芸術に触れる機会を提供できた。								
引き続き、優れた文化芸術を市民に提供できるよう、質の高い展覧会や多彩なプログラムを提供していく一方、市民に愛され、親しまれる美術館を目指し、市民の来館促進策も検討していく。								
2	事業名	美術館施設整備費					担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額	
R5	4,620	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	4,979	
R4	993	0	0	3,300		1,320	執行率	
R3	—						92.79 %	
事業の趣旨・目的								
施設等の経年劣化については、適正な維持管理を実施する。								
実施事業の内容								
工事費4,620								
地下電気室直流電源装置改修工事								
シャッター改修工事								
空調機器ファンモーター整備工事								

事業の成果・課題

令和5年度は、経年劣化により定期点検等で指摘を受けた箇所の改修工事を行った。長寿命化計画に基づき、大規模改修は実施しているが、大規模改修の対象外とした部分の経年劣化が進んでいるため、ミモカ美術振興財団が策定した「ミモカ中期改修計画」に基づき、順次計画的に対応していく。

3	事業名	美術館施設整備費（繰越明許費）				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	6,369	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,400
R4	—	0	0	4,700		1,669	執行率
R3	—						99.52 %

事業の趣旨・目的

施設等の経年劣化については、適正な維持管理を実施する。

実施事業の内容

工事費	6,369
受配電設備高圧遮断器他改修工事	

事業の成果・課題

経年劣化により停電時の維持管理に支障をきたすおそれがあった施設の改修工事については、令和4年度は一部の資材が不足していたため工期が延長となったが完了した。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	12	史跡等整備費
---	----	-----	---	---	-------	---	----	--------

1	事業名	史跡等整備基金積立金					担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	79,123	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源		79,123
R4	49,872	0	0	0	79,000	123	執行率	
R3	31,700						100.00 %	

事業の趣旨・目的

基金条例に基づき、基金の設置目的に沿った寄附金等を積み立て、後年度の事業に活用する。

実施事業の内容

史跡等整備基金積立金 79,123

事業の成果・課題

丸亀城応援募金・支援金やふるさと丸亀応援寄附金により集まった寄附金を丸亀城の復旧・整備に活用するため史跡等整備基金に積み立てており、令和5年度は、丸亀城の石垣修復や笠島伝統的建造物群保存修理などの財源として41,988千円を活用し、基金残高は1,546,127千円となった。

引き続き、寄附金を本基金に積み立て、丸亀城の石垣修復事業等の財源として計画的に活用を進める。

2	事業名	文化財保護事業費					担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	17,910	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源		18,161
R4	21,228	0	0	0	100	17,810	執行率	
R3	19,403						98.62 %	

事業の趣旨・目的

市内に所在する文化財の適切な保護に努めるとともに、文化財を研究・学習の教材や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民意識の高揚を図る。

実施事業の内容

文化財保護審議会委員報酬等 （文化財保護審議会委員5人、指定管理者選定委員3人）	49
会計年度任用職員報酬等（2人）	4,882
印刷製本費	634
修繕料	585
委託料	5,271
史跡塩飽勤番所跡指定管理委託料	3,400
文化財草刈清掃業務委託料（青ノ山古墳群、本島等）	1,256
指定文化財道標案内板等設置委託料	231
その他	384
AED借上料（丸亀城天守・塩飽勤番所跡・まち並保存センター）	107
負担金	75

補助金	5,754
文化財保護協会補助金	400
岡田おどり保存会補助金	51
坂本念仏踊保存会補助金	303
公益財団法人中津万象園保勝会補助金	5,000
事務費等	553

文化財保護事業の状況

事業名	回数等	場所	参加者数(人)
文化財保護審議会	1回	丸亀市立資料館会議室	委員5/回
文化財防火デー防火演習・防火査察	1回	丸亀城天守	36

事業の成果・課題

天守、大手一の門、延寿閣別館の城内3施設の施設管理及び活用を担う指定管理者の選定ほか、塩飽勤番所施設の適切な管理、石切丁場の草刈りなどを行った。

3	事業名	埋蔵文化財調査事業費（公共）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,036	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	3,039
R4	5,440	1,470	0	0		1,566	執行率
R3	1,454						99.90 %

事業の趣旨・目的

文化財保護法に基づき、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為や史跡内の保存整備などを行う際に、あらかじめ範囲内の遺跡の有無を含めた確認調査等を実施し、市内遺跡の適切な保存、活用に努める。

実施事業の内容

印刷製本費	495
発掘作業業務派遣委託料	508
発掘用重機等借上料	1,733
工事請負費	66
事務費等	234

事業の成果・課題

市内の史跡や開発行為地内などの遺跡における確認調査10件と試掘調査1件を実施し、市内の遺跡の適切な保護に努め、それら発掘調査の成果を報告書として刊行した。

4	事業名	埋蔵文化財調査事業費（単独）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	11,059	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,196
R4	10,876	0	31	0		11,028	執行率
R3	21,764						98.78 %

事業の趣旨・目的

市内遺跡の適切な保護を図るため、調査により得られたデータを報告書として保存し、その公開や説明会などに活用することで埋蔵文化財への理解と保護の意識の高揚に努める。

実施事業の内容							
		埋蔵文化財調査員報酬等（4人）					10,078
		労災保険料					36
		委託料					287
		発掘作業業務派遣委託料				221	
		資料等運搬業務委託料				66	
		デジタルトレース機器借上料					197
		印刷製本費					34
		事務費等					427
事業の成果・課題							
丸亀市総合運動公園多目的広場照明設備設置工事に伴う発掘調査により検出された遺構や遺物の整理を行い、これらの成果をまとめた調査報告書を作成し、発刊した。							
5	事業名	埋蔵文化財整理事務所施設費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,099	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,108
R4	1,000	0	0	0		2,099	執行率
R3	1,090						99.57%
事業の趣旨・目的							
埋蔵文化財整理事務所において、市内遺跡の出土遺物を収集・整理し、報告書の作成を行うとともに、適切な遺物の保管・展示を通して、埋蔵文化財の理解と啓発を図る。							
実施事業の内容							
		工事請負費					997
		光熱水費					491
		修繕料					127
		警備業務委託料					213
		事務費等					271
事業の成果・課題							
埋蔵文化財整理事務所の適切な運営や維持管理に努め、出土遺物の整理・保管を行い、報告書の作成作業につなげることができた。							
6	事業名	城泊事業準備事業費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	38,938	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	56,775
R4	7,101	0	0	2,900	35,000	1,038	執行率
R3	—						68.58%
事業の趣旨・目的							
丸亀城三の丸にある延寿閣別館を歴史や文化を体験できる施設として整備し活用する。							

実施事業の内容							
【予算現額のうち翌年度繰越額】（17,837）							
委託料						351	
業務委託料		2件		351			
工事請負費		5件				26,032	
城泊事業準備補助金						12,555	
歴史観光まちづくり調査事業補助金				7,040			
城泊事業実証実験等（観光庁補助金活用）事業補助金				5,515			
事業の成果・課題							
城泊実施に必要な天守のWi-Fi環境や延寿閣別館の門扉などの城内整備を行うとともに、丸亀市観光協会と連携し専門家による城泊実証実験を行い問題点を洗い出すなど、令和6年度の城泊開始に備えた。また城泊事業の次の展開を目指し、城下や島しょ部における歴史観光街づくり調査を行った。							
7	事業名	史跡丸亀城跡整備推進費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	25,472	国支出金	県支出金	地方債	天守入場料	一般財源	25,697
R4	21,700	0	0	0	6,808	18,664	執行率
R3	18,110						99.12 %
事業の趣旨・目的							
史跡丸亀城跡の維持管理を行い、文化財として適切に維持・公開するとともに、観光資源としても活用できるよう整備する。							
実施事業の内容							
印刷製本費						2,710	
修繕料		7件				572	
委託料						17,153	
施設管理委託料		3件		370			
業務委託料		8件		16,783			
令和5年度天守入場者数		124,978人					
使用料及び賃借料						4,158	
PR館借上料等（年間来館者数 14,167人）				4,158			
事務費等						879	
事業の成果・課題							
天守入場者数は増加傾向を維持しており年度別の集計では過去最高となった。今後は、天守を含めた城内3施設（天守、大手一の門、延寿閣別館）の管理運営について丸亀市観光協会を指定管理者とし、更なる誘客を目指す。また、石垣復旧事業は令和6年度から積上げに着手することから、PR館での新たな情報発信を行うなど観光や教育の場としての活用に努める。							
8	事業名	まち並保存推進費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	5,677	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	5,811
R4	4,246	0	0	0		5,677	執行率
R3	5,227						97.69 %
事業の趣旨・目的							
丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区の適切な保存を行うとともに、研究・学習の場や観光資源等として広く活用することにより、文化財保護に対する住民意識の高揚を図る。							

実施事業の内容	
委員報酬等	56
伝統的建造物群保存地区保存審議会（8人）	
修繕料	800
笠島まち並保存センター等指定管理委託料	3,900
笠島まち並保存センター等借上料	251
事務費等	670

事業の成果・課題

笠島まち並保存センターを含む保存地区3施設については、指定管理者制度により公開施設の適正な維持管理に努めた。本保存地区内では、住民の高齢化や過疎化に伴い、空き家など老朽家屋の修繕・管理が課題となっていることから、関係機関やNPO法人等と連携して課題解決に努め、本島笠島のまち並み保存と観光資源としての活用に努める。

9	事業名	丸亀城石垣保全調査事業費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	19,981	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	20,190
R4	17,215	7,400	0	0		12,581	執行率
R3	32,066						98.96 %

事業の趣旨・目的

丸亀城石垣のうち最も高さのある三の丸北側において、石垣下部の地盤変位量、地下水位の観測調査を行い、安全性を確認するとともに各石垣のレーザー測量を行い、はらみや変形などの確認ならびにデジタル化を図る。

実施事業の内容

業務委託料	19,981
史跡丸亀城跡三の丸北水位・地盤変位観測業務委託料	3,217
史跡丸亀城跡三の丸北石垣変位量計測業務委託料	1,881
史跡丸亀城跡二の丸北側他石垣測量業務委託料	12,243
史跡丸亀城跡二の丸東側石垣測量業務委託料	2,640

事業の成果・課題

継続的に実施している三の丸北側石垣下部の地盤変位や地下水位の計測ならびに当該石垣の変位量計測を行い、大きな変状が無いことを確認した。引き続きこれらモニタリング調査を行いながら、現状を確認していく。また、二の丸北側と東側の石垣においてレーザー測量を行い、はらみや変形などを確認するとともにデジタル化を図った。こちらについても引き続き未測量の石垣を対象に計画的に測量を行い、石垣の安全性の確認ならびにデジタル化を推進していく。

10	事業名	古墳等整備推進費				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,509	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,924
R4	1,673	0	0	0		1,509	執行率
R3	2,329						78.43 %

事業の趣旨・目的

国指定史跡である快天山古墳の適切な維持管理を行うとともに周知啓発を行う。

実施事業の内容							
		業務委託料		4件		813	
		仮設トイレ借上料				90	
		工事請負費		1件		506	
		事務費等				100	
事業の成果・課題							
樹木の剪定伐採や草刈、トイレ清掃等を行い、見学しやすい環境を維持するとともにパンフレットの増刷を行うなど本古墳の普及啓発に努めた。また、倒木の危険のある樹木を伐採し、周辺民家の安全管理を行うなど今後も適切な維持管理を行いながら、発掘調査で得た新たな情報を広く発信していく。							
11	事業名	丸亀城保存整備費（公共事業）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	440	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	300,000
R4	919	0	0	400		40	執行率
R3	4,910						0.15 %
事業の趣旨・目的							
崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。							
実施事業の内容							
【予算現額のうち翌年度繰越額】（299,560）							
		委員報酬等				424	
		丸亀城石垣復旧専門部会（5人）					
		事務費等				16	
事業の成果・課題							
崩落石ならびに崩落土の回収、撤去が完了し、当初6,000石程度を想定していた崩落石数は最終的に11,746石になった。令和5年度には、今後の積上げに向けた設計業務に取り掛かっており、この設計業務の完了後、令和6年度から積上げ作業に着手する。							
12	事業名	丸亀城保存整備費（公共・繰越明許費）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	497,719	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	497,803
R4	395,078	309,282	10,000	175,800		2,637	執行率
R3	677,398						99.98 %
事業の趣旨・目的							
崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。また、歴史的建造物である延寿閣別館の耐震改修や庭園の整備を行い、城泊の宿泊施設として活用する。							
実施事業の内容							
		【丸亀城石垣復旧事業費】				298,997	
		委員報酬等				296	
		丸亀城石垣復旧専門部会委員（5人）					

建設工事関連委託料	3件	185,537	
工事請負費	1件	113,063	
事務費等		101	
【丸亀城延寿閣改修事業費】			198,722
委託料		6,483	
業務委託料	2件	5,000	
建設工事関連委託料	3件	1,483	
工事請負費	4件	192,239	

事業の成果・課題

石垣復旧事業では、崩落石ならびに崩落土の回収、撤去が完了し、積上げに向けた設計や新石材の製作などに着手している。

延寿閣別館改修事業では、城泊開始に向けて宿泊施設として延寿閣別館の改修ならびに庭園を整備し、必要な家具の購入を行った。

13	事業名	丸亀城保存整備費（単独事業）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	37,218	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	44,254
R4	21,094	0	0	23,800	1,282	12,136	執行率
R3	16,722						84.10 %

事業の趣旨・目的

崩落した三の丸坤櫓（ひつじさるやぐら）跡石垣と帯曲輪（おびぐるわ）南西部石垣を復旧する。また、歴史的建造物である延寿閣別館の耐震改修や庭園の整備を行い、城泊の宿泊施設として活用する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】 (5,026)

【丸亀城石垣復旧事業費】			10,142
建設工事関連委託料	2件	999	
工事請負費	8件	9,143	
【丸亀城延寿閣改修事業費】			27,076
建設工事関連委託料	2件	2,618	
工事請負費	6件	24,458	

事業の成果・課題

石垣復旧事業では、石材製作等工事などの実施設計作成業務や現場内の支障木撤去工事などを行い、事業の進捗を図った。

延寿閣改修事業では、延寿閣別館の土台となる石垣の耐震調査や建物改修に伴う監理業務ならびに火災監視機器の移設工事などを行った。

14	事業名	まち並保存事業費（公共事業）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	42,065	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	42,078
R4	25,177	21,031	0	14,800	151	6,083	執行率
R3	7,264						99.97 %

事業の趣旨・目的

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区のまち並み整備を図るため、国庫補助を受け地区内の建物等の修理・修景を行うとともに、観光や学習機会の誘致により、活性化を図る。

実施事業の内容

建設工事関連委託料		1,650
工事請負費	2件	31,315
笠島伝統的建造物群保存修理事業補助金		8,990
事務費等		110

事業の成果・課題

伝統的建造物群保存地区内の防災計画に基づき、地区内に防災施設倉庫を建設し、必要な防災用具を購入した。併せて、地区内の建物の修理補助を行い、適切な保存と活用につなげた。

15	事業名	まち並保存事業費（単独事業）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	6,054	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,480
R4	4,823	0	0	0		6,054	執行率
R3	3,756						93.43 %

事業の趣旨・目的

丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区のまち並みの復元整備を図るため、地区内の建物等の修理・修景のうち国庫補助の対象とならない小規模または突発的な工事の実施及びその補助を行う。

実施事業の内容

補助金		4,270
保存修理事業 3件	修景事業 3件	
業務委託料	2件	527
工事請負費		970
事務費等		287

事業の成果・課題

市単独補助事業により、家屋等の保存修理事業を3件、修景事業を3件実施し、本島笠島のまち並みの保存、景観の維持に努めた。伝統的建造物群保存地区では高齢化や過疎化に伴う空き家や老朽家屋の維持管理が課題となっていることから、NPO法人などと連携し物件所有者への働きかけを行うなど、適正な保存と活用に努めていく。

16	事業名	史跡快天山古墳整備事業費（公共事業）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,380	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,388
R4	5,252	1,202	0	0		1,178	執行率
R3	2,580						99.66 %

事業の趣旨・目的

史跡快天山古墳の保存整備計画策定に必要な基礎資料として、埋葬施設や古墳前方部などにおける構造や保存状態などを発掘調査により確認する。

実施事業の内容

委員報酬等	337
史跡快天山古墳保存整備委員等（7人）	
委託料	1,162
地形測量業務委託料	297
発掘作業業務派遣委託料	865
工事請負費	1件 802
事務費等	79

事業の成果・課題

3基ある埋葬施設のうち1号石棺および2号石棺の発掘調査を実施し、保存状態を確認した。この調査結果では、1号石棺と2号石棺が同時埋納された可能性があり、新たな史跡の本質的価値を探るものとなった。また、これらの発掘調査を基にした市民説明会では、多くの方にご参加をいただき、本古墳に対する理解と関心を高めることができた。

17	事業名	市指定文化財整備事業費				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,221	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	9,221
R4	2,048	0	0	0		9,221	執行率
R3	1,270						100.00 %

事業の趣旨・目的

丸亀市指定文化財の適切な保護を図るため、保存修理等を行い、公開に適した状態に整備し、市指定文化財の普及啓発を行う。

実施事業の内容

市指定文化財保存修理事業補助金	71
工事請負費	7,500
建設工事関連委託料	1,650

事業の成果・課題

主にシロアリの害による損傷を受けていた市指定文化財の夫婦倉（有形文化財・建造物）の一部保存修理工事を実施した。令和6年度の工事完了に向け、引き続き保存修理工事を進める。

18	事業名	丸亀城石垣保全整備事業費（公共）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	11,634	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	11,636
R4	18,383	5,817	0	2,400		3,417	執行率
R3	13,176						99.98 %

事業の趣旨・目的

丸亀城石垣の適切な保全を行うための調査や対策の検討を行い、有効な対策を実施する。

実施事業の内容

報酬等						313
史跡丸亀城跡調査整備委員（7人）						
業務委託料						3,488
地形測量業務委託料					3,058	
発掘作業業務派遣委託料					430	
建設工事関連委託料				2件		2,941
工事請負費				1件		4,365
使用料及び賃借料						489
発掘用機器借上料						
事務費等						38

事業の成果・課題

二の丸において発掘調査を実施し、江戸時代の排水路の形状や排水経路の確認を行った。また、令和4年度に引き続き二の丸において排水路の整備を行ったが、二の丸深井戸への導線上に排水路を設置し、舗装を行うことで、適切な雨水排水を行うとともに、二の丸深井戸への誘客にもつながっている。今後においても計画的に整備を行い、石垣の保全に努める。

19	事業名	丸亀城石垣保全整備事業費（単独）				担当課	文化財保存活用課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,969	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,300
R4	—	0	0	0		1,969	執行率
R3	—						85.61 %

事業の趣旨・目的

丸亀城石垣の適切な保全を行うための調査や対策の検討を行い、有効な対策を実施する。

実施事業の内容

工事請負費				5件		1,969
-------	--	--	--	----	--	-------

事業の成果・課題

二の丸敷地の整地を行い、雨水排水整備の整備効果の向上を図るとともに石垣の支障木を撤去するなど石垣の保全対策を行った。

20	事業名	丸亀城天守耐震診断事業費（繰越明許費）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,650	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,650
R4	10,420						執行率
R3	—	0	0	0		1,650	100.00 %

事業の趣旨・目的

多くの観光客が訪れる丸亀城天守の耐震診断等を実施することで、地震発生時等における安全性を確認する。

実施事業の内容

業務委託料 1,650
丸亀城天守等年輪年代調査業務委託料

事業の成果・課題

天守の耐震診断に引き続き年輪年代調査を実施し、建造年次を確認した結果、現在、絵図などから考えられている1643年からの建造開始であることが裏付けられた。

21	事業名	埋蔵文化財調査事業費（単独・繰越明許費）				担当課	文化財保存活用課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	785	国支出金	県支出金	地方債	負担金	一般財源	785
R4	—						執行率
R3	—	0	0	0	785	0	100.00 %

事業の趣旨・目的

市内遺跡の適切な保護を図るため、調査により得られたデータを報告書として保存し、その公開や説明会などに活用することで埋蔵文化財への理解と保護意識の高揚に努める。

実施事業の内容

印刷製本費 388
業務委託料 397
文化財等保存処理業務委託料

事業の成果・課題

四国ガス事業所兼ショールーム建設に伴う発掘調査の報告書を発行し、調査成果を公開した。また、本発掘調査で検出された鉄製品の保存処理を行い今後の展示公開に活用することとした。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	13	文化振興費
---	----	-----	---	---	-------	---	----	-------

1	事業名	瀬戸内文化芸術支援事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	6,009	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	6,326
R4	3,866	0	0	0		6,009	執行率
R3	3,376						94.99 %

事業の趣旨・目的

美術を専攻する学生による滞在型制作活動を通して、文化芸術の振興を図るとともに、地域住民との交流により、離島の活性化に寄与することを目的とする。（HOTサンダルプロジェクト）

実施事業の内容

県内旅費	9
HOTサンダルプロジェクト事業委託料	6,000

事業の成果・課題

地元の受け入れ体制を勘案して、参加者を少人数に絞って実施し、従前より参加実績がある美術大学5校より10人の学生が、本島、広島、小手島に滞在して作品制作を行った。滞在校期间中には、香川大学の学生によるワークショップや、本事業をきっかけとして島に移住した卒島生によるワークショップを開催して、住民と学生との交流を図った。また、作品発表会や展覧会も実施し、島民をはじめ、広く市民に鑑賞の機会を提供した。さらに、卒島生が作品発表会の講評を担当するなど、事業継続を見据えた人材育成にも取り組んだ。

今後は、島しょ部以外の市民にも事業を周知し、学生が制作した作品を鑑賞することで、文化芸術に興味を持ったり、島に関心を持ってもらうことで、関係人口を増やす取り組みを検討していく。

2	事業名	文化芸術振興事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	15,052	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	15,254
R4	12,087	0	0	0	656	14,396	執行率
R3	11,481						98.68 %

事業の趣旨・目的

文化芸術基本計画に基づき、市民を主体とした文化芸術施策の推進を目的とする。丸亀市文化協会の育成補助など文化団体の育成を図るとともに、文化芸術公演や文化芸術祭など幅広く市民に向けた文化振興事業を実施する。

実施事業の内容

文化芸術推進審議会委員（15人）報酬（1回）	84
文化芸術推進審議会委員（15人）費用弁償（1回）	8
丸亀市文化功労賞記念品（1人）	21
委託料	9,341
額一式作成業務委託料	44
まるがめ文化芸術祭業務委託料	1,500
文化振興事業委託料	7,097
ゲートプラザ活用事業業務委託料	700
丸亀市文化協会運営育成事業補助金	5,190
事務費等	408

丸亀市文化振興事業協議会事業開催状況

事業名	事業内容・場所	回数等(回)	来場者数(人)
①文化芸術アウトリーチ事業			
芸術体験プログラム	東小川児童館、通町オルデ	2	41
デニムMusicLive! ～ふらっと音楽のヨリミチ～	大手門・大手門櫓、市民交流活動センター	5	229
アウトリーチコンサート	(クラシック) 特別養護老人ホーム珠光園、(即興演劇) 城西小学校青い鳥教室、城辰小学校青い鳥教室	3	152
②まるがめ文化芸術祭事業			
まるがめ文化芸術祭	行事件数 14件	(9～11月)	—
「丸亀こどもデー」関連イベント	綾歌総合文化会館	1	312
③若手芸術家育成事業	コンサート(「ピアノ×木管楽器のマリアージュ」アンサンブル【室内楽】)・生涯学習センター	1	338
④市民協働・市民提案事業			
JLYp2023宮崎県と丸亀市の地域交流事業「演劇がつなぐ宮崎市と香川県丸亀市」	生涯学習センター	1	210
市民提案「城のある町」BGMサマカイトバージョン制作	公共施設での放送、イベント時のBGMとして使用	—	—
⑤「第九」源流のまち推進事業			
2023まるがめ第九プレコンサート	本願寺塩屋別院	1	134
2023まるがめ第九演奏会	綾歌総合文化会館	1	567
ドイツ兵俘虜写真パネル展	市民交流活動センター	(1週間)	—
マルタスde第九演奏会	市民交流活動センター	1	80
⑥共生社会推進事業			
まるがめ2023こども落語ワークショップ	生涯学習センター	1	77
鑑賞サポートワークショップ&舞台手話通訳、字幕、音声ガイド付き演劇「メゾン」	綾歌総合文化会館	1	劇 77 WS 31
⑦地域文化資源活用事業			
キャッスルロード関連公演	大手門櫓	1	200
⑧文化交流推進事業			
「シルヴィア・カレドゥフルート リサイタル」	リサイタル(フルート)・綾歌総合文化会館	1	243

丸亀市文化協会事業開催状況（委託事業）							
事業名		事業内容・場所				回数等(回)	来場者数(人)
まるがめ文化芸術祭2023運営業務							
主催展覧会		書、華道等・生涯学習センター				(2期)	1,180
主催公演		コンサート（箏・三弦・尺八）・綾歌総合文化会館				1	658

事業の成果・課題							
丸亀市文化振興事業協議会及び丸亀市文化協会の事業について、積極的に実施し、子どもから大人までの幅広い年齢層の市民に対し、文化芸術活動や鑑賞・体験の機会を提供した。また、高齢者施設入所者を対象とした「アウトリーチコンサート」のほか、「舞台手話通訳、字幕、音声ガイド付き演劇公演」や「鑑賞サポートワークショップ」を実施し、身体状況等の特性に関わらず、市民が文化芸術に触れる機会の拡大に努めた。 今後も、丸亀市文化振興事業協議会及び丸亀市文化協会に対し、全ての市民を対象とした文化芸術に触れる機会の充実や文化芸術交流活動の支援となるような事業の実施を求めている。							

3	事業名	「津島寿一」文化振興補助金				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,290	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	2,290
R4	2,290	0	0	0	28	2,262	執行率
R3	2,290						100.00 %

事業の趣旨・目的							
故津島寿一氏の遺志により、遺族からの寄附金を基に設立した文化体育振興基金を活用し、文化施策を実施する。事業内容は、文化協会事業への補助金であり、文化協会を通じて市民主体の文化振興事業を展開する。							

実施事業の内容							
丸亀市文化協会文化事業補助金						2,290	
丸亀市文化協会事業開催状況							
事業名		事業内容・場所				日数等(日)	来場者数(人)
丸亀お城まつり協賛市民展		絵画、ちぎり絵等・生涯学習センター 茶道・保健福祉センター 書・市立資料館				2	4,596
丸亀お城まつり協賛こどもワークショップ		生涯学習センター				1	85
大西きくゑ遺墨展		市立資料館				9	1,251
うちわに描こう絵画展		応募点数 1,573点・生涯学習センター				17	1,745
芸能フェスタ丸亀2023		出演団体 28団体・綾歌総合文化会館				2	653
丸亀こどもデー関連事業		綾歌総合文化会館				2	68
うちわに描こう絵画展特別展		丸亀うちわミュージアム				18	1,907
あやうた音楽祭		出演団体 8団体・綾歌総合文化会館				1	442

事業の成果・課題

丸亀お城まつり協賛市民展では、展示のほかこどもワークショップを開催し、家族で文化芸術を体感・鑑賞することで、文化芸術に興味・関心をもってもらうことができた。うちわに描こう絵画展では、小中学校や就労施設のほか、親善都市である七尾市からも応募があり、地域間の文化交流としての役割も果たした。また、丸亀市文化協会の加入団体による作品展示や公演のほか、丸亀市文化振興協議会との協働により、フラワーアレンジメントなどのワークショップや立体切り絵アーティストによる創作ライブ、トークイベント等の丸亀こどもデー関連事業を実施し、市民主体の文化振興を図っている。

しかしながら、文化協会会員の高齢化等によりその数が減少傾向にあることから、文化協会所属団体が学校に出向き、様々な文化芸術を体験してもらうなど、中学校部活動の地域移行の動向を見据えた取り組みを実施し、若い世代の参加・参画につながるよう働きかけていきたい。

4	事業名	瀬戸内国際芸術祭事業費				担当課	まなび文化課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源を含む）					予算現額
R5	4,705	国支出金	県支出金	地方債	補助金	一般財源	6,012
R4	50,937	0	0	0	1,651	3,054	執行率
R3	14,303						78.26 %

事業の趣旨・目的

瀬戸内国際芸術祭2025に向け、継続作品周辺の環境整備など本島での受入体制の整備を図り、島内外の活性化につなげる。

実施事業の内容

瀬戸内国際芸術祭負担金	1,050
瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会補助金	1,000
業務委託料	2,144
作品管理等業務委託料	138
パンフレット製作業務委託料	55
瀬戸内国際芸術祭関連業務委託料	300
芸術鑑賞支援業務委託料	1,651
事務費等	511

事業の成果・課題

香川県と連携し、離島航路無料キャンペーン期間中に、瀬戸内国際芸術祭の作品を開催年以外でも鑑賞ができる特別展示を開催し、また、本島ウオーク大会に併せて、大会参加者が瀬戸内国際芸術祭作品を鑑賞できるよう展示を行ったところ、ホームページやSNSでの情報発信の効果もあり、約300人もの来場があった。

また、瀬戸内中讃定住自立圏の小中学生とその保護者162名を対象に、「本島体験交流親子バスツアー」を実施し、瀬戸内国際芸術祭の屋外作品や丸亀港周辺の文化施設を活用して、文化芸術に触れる機会を提供した。

今後は香川県や瀬戸内国際芸術祭本島実行委員会と連携しながら、既存作品を利用した鑑賞事業等、アート作品による地域の活性化を図る活動を行う一方、作品周辺の環境整備や今後増加すると考えられる外国人観光客への対策に取り組むなど瀬戸内国際芸術祭2025に向けて準備を進めていく。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	14	市民会館費
---	----	-----	---	---	-------	---	----	-------

1	事業名	綾歌総合文化会館管理運営費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	50,346	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	50,855
R4	60,942	0	0	0		50,346	執行率
R3	52,636						99.00 %

事業の趣旨・目的

優れた舞台芸術の発信や地域における文化芸術の推進、人々のつながりの創出を図る効果的な事業を実施する。

実施事業の内容

綾歌総合文化会館指定管理者選定委員報酬（2人）	14
綾歌総合文化会館指定管理者選定委員費用弁償（2人）	3
綾歌総合文化会館指定管理者選定委員会会議資料送付料	1
綾歌総合文化会館テレビ共聴設備修繕料	550
業務委託料	49,778
綾歌総合文化会館指定管理委託料	49,400
中央装置（空調設備）年間保守業務委託料	378

事業の成果・課題

綾歌総合文化会館では、歌舞伎や室内楽、演劇など幅広い分野における本格的な公演を実施したほか、小学校とコミュニティーセンターに現代サーカスの公演とピアノコンサートをアウトリーチすることで、様々な環境で生活を送る方に対して優れた文化芸術を体験できる機会を提供した。地域に密着した文化芸術等の支援として、「まるがめ第九演奏会」や「新春和の祭典」などを実施し、丸亀の文化芸術の継承や発展、地域の賑わいづくりに努めた。また、「あやうた音楽祭」や「香川県高等学校演劇研究大会」、「市民劇」など、多数の事業を共催することで、様々な主体による文化芸術活動を推進することができた。

貸館事業における利用件数については、昨年度と比較して11%増の1,065件となっており、コロナ禍前の状況まで回復した。

2	事業名	新市民会館整備事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	16,512	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	18,090
R4	9,781	0	0	0	6,000	10,512	執行率
R3	7,191						91.28 %

事業の趣旨・目的

市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（300）	
会計年度任用職員報酬等（1人）	1,970
県外旅費・県内旅費	965
業務委託料	12,745
イベント等開催業務委託料	2,296
課題解決型実践事業業務委託料	3,198
文化芸術推進サポーター養成講座開催業務委託料	5,157

アーティスト・コーディネーター育成業務委託料	1,006
チラシ作成委託料	391
障害福祉施設等における文化芸術活動に関する調査集計業務委託料	94
その他業務委託料	603
事務費等	832

事業の成果・課題

イベント等開催業務では、和紙や木工など日本の伝統文化と現代サーカスのコラボレーションによる創造的な公演のほか、障がい者をテーマにした演劇公演やコンサートを実施し、鑑賞を通じて社会について再考する事業を展開した。

課題解決型実践事業は、「子ども」「高齢者」「障がい者」を中心に事業を実施した。それぞれの対象に関するニーズに対し、舞台芸術の特性を活かしたアプローチを行うことで、新たな気づきや知識が得られる機会を提供した。

サポーター養成講座では、コアサポーターが企画、制作、運営する実践的な事業として、市民劇を実施した。サポーターの能力開発やネットワーク構築につながり、新市民会館の運営をサポートする人材の育成を行うことができた。

アーティスト・コーディネーター養成講座は、文化芸術的アプローチにより地域や社会で活躍できる人材の育成を目的に実施し、文化芸術が社会や個人に与える影響について理解を深めた。外国籍の方、学生、県内で活躍するアーティスト等、多様な受講者同士が議論できる時間を設けることで、自発的な学びやつながりを持つきっかけをつくることができた。

文化芸術活動実態調査では、市内全ての障害福祉施設を対象にアンケートを実施した。多くの施設で文化芸術活動の重要性を理解しているものの、職員が不足している等の理由により、実施できていないという現状も把握することができた。今後もヒアリング等を継続して行い、障害の有無によって分け隔てられることのない社会の実現に向けて取り組んでいきたい。

3	事業名	新市民会館開館準備事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	9,308	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	9,318
R4	—	0	0	0	3,778	5,530	執行率
R3	—						99.89 %

事業の趣旨・目的

新市民会館の開館に向けて、指定管理者の選定及び開館準備を円滑に進める。

実施事業の内容

市民会館指定管理者選定委員報酬（5名・開催回数4回）	126
市民会館指定管理者選定委員費用弁償（5名・開催回数4回）	182
市民会館開館準備業務委託料	9,000

事業の成果・課題

新市民会館の管理運営を行う指定管理者の選定を行い、開館に向けた準備を着実に進めるため、開館準備業務を委託し、開館までに必要な利用規則やマニュアルの検討、運営実施体制の検討等を行った。

今後も指定管理者と丁寧に協議を重ねながら、開館に備えたい。

4	事業名	綾歌総合文化会館施設整備費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	484	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	13,000
R4	7,403	0	0	0		484	執行率
R3	37,713						3.72 %

事業の趣旨・目的

丸亀市綾歌総合文化会館の設備が老朽化、更新時期を迎えていることにより、設備改修に伴う設計業務委託及び改修工事を行い、適正な維持管理を行う。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（11,753）
綾歌総合文化会館舞台照明改修他設備設計業務委託料 484

事業の成果・課題

大ホールのシーリングスポットライトと多目的広場の照明設備を更新するために必要な設計を行った。工事については、能登半島地震の影響により部品の供給が困難となったため、繰越しを行ったが、不具合などが生じる前に速やかに完了を目指す。

本館は開館から27年が経過していることから、全体的に施設内の設備の更新を行う必要がある。新市民会館の開館にあわせて、大規模改修工事に入れるよう計画的に準備を進めていく。

5	事業名	新市民会館建設事業費				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,217,920	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	2,384,900
R4	52,915	150,000	0	1,009,500		58,420	執行率
R3	1,444						51.07 %

事業の趣旨・目的

市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（1,165,800）

印刷製本費	323
委託料	85,233
埋蔵文化財調査業務委託料	12,287
発掘作業業務派遣委託料	1,801
文化財等保存処理業務委託料	945
建設工事関連委託料	70,200
使用料及び賃借料	22
工事請負費	1,132,342
丸亀市（仮称）みんなの劇場新築に伴う給排水設備工事費	24,600
丸亀市（仮称）みんなの劇場新築に伴う空調設備工事費	50,400
丸亀市（仮称）みんなの劇場新築に伴う新築工事費	932,500
丸亀市（仮称）みんなの劇場新築に伴う舞台機構設備工事費	31,600
丸亀市（仮称）みんなの劇場新築に伴う舞台照明設備工事費	27,900
丸亀市（仮称）みんなの劇場新築に伴う電気設備工事費	44,100
丸亀市（仮称）みんなの劇場新築に伴う舞台音響設備工事費	20,600
劇場新築に伴う街路樹撤去工事費	627
大手町東西2号線外灯撤去に伴う電源線切離し工事費	15

事業の成果・課題

新市民会館の工事は7工種に分割して発注し、市、工事監理業者、指定管理者が連携を図りながら工事を進めているが、近年の物価変動や労務単価の上昇など工事に影響が及ぶ課題が生じている。関係者と十分に協議を重ねながら工事の完成を目指す。

埋蔵文化財調査は、令和3年度と令和4年度に出土した遺物や遺構の実測及び保存処理業務を実施し、文化財の保存を適切に行った。

6	事業名	新市民会館建設事業費（繰越明許費）				担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	140	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,200
R4	346,839	0	0	0		140	執行率
R3	4,698						11.67 %

事業の趣旨・目的

市民の心豊かな生活と人々のつながりを「文化芸術」で創り出す公共的な使命を果たすとともに、地域社会が抱える諸問題に関わる社会機関となる文化施設を整備する。

実施事業の内容

市民会館建設に伴う安全柵の借上料

140

事業の成果・課題

新市民会館工事の着手に伴い、作業車が搬入されるまでの間、安全対策として敷地への進入を防ぐ柵の借上げを行った。工事は長期にわたるため、安全に問題なく完了するよう工事業者とともに取り組んでいく。

款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	15	学習センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	----	---------

1	事業名	学習センター施設管理運営費					担当課	まなび文化課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	93,480	国支出金	県支出金	地方債	諸収入	一般財源	98,969	
R4	93,679	0	0	0	777	92,703	執行率	
R3	87,490						94.45 %	

事業の趣旨・目的

生涯学習を総合的に推進するため、その中核的施設である「生涯学習センター」と「飯山総合学習センター」の管理運営を行う。

実施事業の内容

施設管理委託料	91,852
生涯学習センター指定管理委託料	61,309
生涯学習センター指定管理委託料（光熱水費追加分）	5,850
飯山総合学習センター指定管理委託料	21,000
飯山総合学習センター指定管理委託料（光熱水費追加分）	920
E V 充電設備保守点検委託料	439
飯山総合学習センター長寿命化計画策定業務委託料	2,334
指定管理者選定委員報酬	14
土地借上料	505
修繕料等	1,109

※生涯学習センター利用状況（令和5年度開館日数は355日）

施設名	利用件数(件)	利用人数(人)
1階		
ギャラリー1	236	17,264
ギャラリー2	130	9,750
2階		
教養室	58	733
大広間	492	6,342
茶室	86	1,036
3階		
会議室	448	4,707
ホール	94	13,273
4階		
大広間	186	2,346
講座室1	242	9,908
講座室2	382	7,638
講座室3	355	8,167
講座室4	333	7,113
5階		
音楽室	530	7,213
視聴覚教室	425	5,209
小ホール	589	7,689
小計	4,586	108,388
社会教育関係団体室	276	481
児童館	303	14,398
児童館（団体利用）	4	84
天体観測室	13	553
小計	596	15,516
合計	5,182	123,904

※飯山総合学習センター利用状況 (令和5年度開館日数は299日)

施 設 名		利用件数(件)	利用人数(人)
1階	香川放送大学丸亀教室	297	690
	(学習室)	328	5,388
	児童施設遊戯室・集会場	296	9,184
	ロビー展示コーナー	169	3,411
2階	研修室	559	9,247
	調理室	108	1,631
	和室	303	2,867
合 計		2,060	32,418

事業の成果・課題

生涯学習センターの令和6年度末閉館に向けて、代替施設の検討や備品の整理など必要な業務を指定管理者とともに引き続き行っていく。

飯山総合学習センターの利用人数は、昨年度より2,410人増加しているものの、コロナ禍前の水準には戻っていない。児童施設や図書館との複合施設といった特色を生かし、利用者の増加につながる取組を検討する。また、施設の長寿命化を図るため、長寿命化計画を策定した。今後は、市内の類似施設の改修計画等を勘案し、利用者の安全確保、効率的な維持管理、施設の性能向上の方針のもと計画内容を実施していく。

款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	---------

1	事業名	保健体育管理費				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	70,749	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	71,340
R4	76,144	0	0	0		70,749	執行率
R3	73,372						99.17 %

事業の趣旨・目的

市民全体の健康寿命延伸につながるスポーツへの意識強化と習慣づくりのため、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進を図る。

実施事業の内容

職員給与等	67,548
スポーツ推進審議会委員報酬（2回）	119
スポーツ推進委員報酬（41人）	1,394
新聞代ほか消耗品費	98
ガソリン代ほか燃料費	216
車検代ほか修繕費	194
電話代ほか通信運搬費	247
スポーツ推進委員連絡協議会補助金	500
事務費等	433

・スポーツ推進委員の活動状況

大会・事業名	委員参加者数（人）
シニアスポーツ大会	14
遊・遊スポーツ：室内ペタンク大会	37
まるっこフェス	18
えがおでスポレク教室（5回）	延24
丸亀市障がい者スポーツ大会	18
第33回ふるさと健康ウォークin丸亀	22
第76回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	14
第64回全国スポーツ推進委員研究協議会（青森県）	9
第54回四国地区スポーツ推進委員研修会（高松市）	延37
県スポーツ推進委員研修会（高松市）	17
市スポーツ推進委員総会	31
市スポーツ推進委員研修会（3回）	延53
市スポーツ推進委員役員会	5
市スポーツ推進委員理事会（2回）	延37
市スポーツ推進委員部会（8回）	延87

事業の成果・課題

各地区のスポーツ推進委員においては、本市の主催するイベントに協力いただくだけでなく、スポーツ推進委員が主体となる「シニアスポーツ大会」「室内ペタンク大会」の企画・運営を行い、市民スポーツを推進した。また、「ペタンク研修」、「普通救命講習」、全国・四国大会での研修会に参加し、知識や技術の研鑽に努めた。

2	事業名	生涯スポーツ推進事業費				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	53,476	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源	53,709
R4	49,838	0	0	0	3,963	49,513	執行率
R3	47,858						99.57 %

事業の趣旨・目的

生涯スポーツ活動の普及や競技力の向上を推進するため、各種スポーツ関係団体との連携を深めるとともに、市民がスポーツに参加しやすい環境づくりに努める。

実施事業の内容

市民体育推進費	15,377
国際・全国大会等スポーツ競技大会出場報奨金（164人）	691
初心者スポーツ教室開催事業費	99
運動遊び指導員派遣事業費	168
まるっこフェス開催事業費	180
「はつらつまママさんバレーボールinまるがめ」開催業務委託料	625
「ENJOY! パラスポーツ体験会in丸亀」開催事業費	2,000
「第33回ふるさと健康ウォークin丸亀」開催事業費	27
第49回中讃地区陸上競技大会開催業務委託料	150
2024年初日の出を迎える会開催業務委託料	240
第76回香川丸亀国際ハーフマラソン大会補助金	10,000
天皇賜杯第78回全日本軟式野球大会ENEOSトーナメント補助金	1,000
丸亀武道の祭典補助金（剣道体験教室）	73
事務費等	124
市民体育祭開催費	1,615
市民体育祭開催業務委託料	1,615
スポーツ協会育成費	34,550
スポーツ協会育成補助金	5,650
スポーツ協会運営補助金	28,900
体育施設開放事業費	1,934
学校体育施設開放運営委員会管理委託料	1,934

・各種大会・事業の実施状況

大会・事業名	参加者数（人）
第76回香川丸亀国際ハーフマラソン大会	9,250
チャレンジデー2023	65,827
初心者スポーツ教室（5教室）	延 296
はつらつまママさんバレーボール教室	123
ENJOY! パラスポーツ体験会in丸亀	645
第49回中讃地区陸上競技大会	683
第68回丸亀市民体育祭	916
まるっこフェス	400
第33回ふるさと健康ウォークin丸亀	105
2024年初日の出を迎える会	600
剣道体験教室	24

・丸亀市体協婦人部活動の実施状況

大 会 ・ 事 業 名	参加者数 (人)
夏季体育大会特別編	141
秋季球技大会	136
健康づくりバスハイク開催事業	延 257
冬季健康づくり推進事業特別編	134

・少年スポーツ活動の状況

大 会 ・ 事 業 名	教室数	参加者数
少年スポーツ教室開催事業	59教室	延10,612人

・スポーツ少年団登録状況

加盟校区数	加盟種目数	団数	団員数	指導者数	役員・スタッフ数
15校区	13種目	59団	1,286人	191人	80人

・学校体育施設開放事業の利用状況

学 校 名		登録団体 (団)	延利用者数 (人)	学 校 名		登録団体 (団)	延利用者数 (人)
小 学 校	城 乾	8	5,998	中 学 校	東	9	4,428
	城 坤	10	9,076		西	16	5,735
	城 北	13	12,283		南	12	10,331
	城 西	12	19,961		綾 歌	12	3,518
	城 南	12	11,635		飯 山	12	9,097
	城 東	15	12,526	中学校計		61	33,109
	城 辰	17	14,803				
	郡 家	20	19,190				
	飯 野	14	15,269				
	垂 水	11	7,137				
	広 島	1	305				
	富 熊	8	5,621				
	岡 田	8	4,126				
	飯山南	3	3,768				
	飯山北	6	8,862				
小学校計		158	150,560	合 計		219 団	183,669 人

事業の成果・課題

住民総参加型イベント「チャレンジデー」や「香川丸亀国際ハーフマラソン大会」、未就学児向けの運動遊びイベント「まるっこフェス」、バレーボールの指導者や地域で活躍する家庭婦人バレーボールチームを対象にした「バレーボール教室」等を開催し、世代・環境を問わず広く市民にスポーツに関わる機会を提供した。

3	事業名	スポーツホームタウン推進事業費				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	2,903	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	3,360
R4	2,742	0	0	0		2,903	執行率
R3	2,752						86.40 %

事業の趣旨・目的

スポーツを通じたにぎわいづくりの視点から、地域密着型スポーツチームを活用したスポーツイベントやシティセールスの実施により、交流人口の増加を図り、経済波及効果につなげる。

実施事業の内容

香川県地域密着型スポーツ活用協議会負担金 2,700
事務費等 203

・各種事業の実施状況

事業名	来場者数(人)
丸亀市サンクスDAY	
4/16 カマタマーレ讃岐 VS 愛媛FC戦	2,982
瀬戸内中讃定住自立圏ホームタウンDAY	
9/2 香川オリーブガイナーズ VS 徳島インディゴソックス戦	220
10/15 カマタマーレ讃岐 VS ガイナーレ鳥取戦	1,788
12/9～10 香川ファイブアローズ VS 山口パッツファイブ戦	延 3,211
Jリーグオープニングセレモニー	
2/25 カマタマーレ讃岐 VS いわてグルージャ盛岡戦	2,220
シティセールス（アウェイ戦）	
6/24 カマタマーレ讃岐 VS FC今治戦	3,516
8/26 カマタマーレ讃岐 VS 愛媛FC戦	4,225

事業の成果・課題

丸亀市総合運動公園は中・西讃の中核施設としての役割を担っており、本公園内で地域密着型プロスポーツチームのホーム試合「丸亀市サンクスDAY」、「瀬戸内中讃定住自立圏ホームタウンDAY」、「Jリーグオープニングセレモニー」を実施した。また、対戦相手チームの試合会場（アウェイ）ではホーム戦にも相手チームのサポーターの皆様に来ていただけるよう、チームのPRとあわせてシティセールスを実施した。今後も各チームや県、瀬戸内中讃定住自立圏域市町と連携して開催する各種イベントを通じて地域に根ざしたチームとなるよう取り組む。

4	事業名	女子サッカー推進事業費				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	3,160	国支出金	県支出金	地方債	寄附金	一般財源	3,863
R4	3,048	0	0	0	3,000	160	執行率
R3	3,068						81.80 %

事業の趣旨・目的

「国内女子サッカーの聖地・丸亀」を展開すべく、サッカー経験の有無は問わず年中から小学6年生までを対象とした「こどもサッカー教室」を実施する。またサッカーをしている同世代のつながり拡大を目的とし、主に中・四国を中心に活動している女子児童で構成されたサッカーチームを招き、交流大会を開催し、市内の女子サッカーの普及推進を図るとともに、女子児童を取り巻くスポーツ環境の整備に努める。

実施事業の内容							
こどもサッカー教室開催事業費 (計11回、参加者 523名)						660	
第9回丸亀なでしこスマイル☆サッカー交流大会開催委託料 2/10～11 7チーム参加 (県内3、県外4) 参加者104人						2,500	
事業の成果・課題							
企業版ふるさと納税を活用し、今年度より新しくJフット丸亀校にサッカー教室を委託し、サッカーの専門コーチの協力のもと、性別に関わらず初心者からでも気軽に参加できる「こどもサッカー教室」を実施し、すそ野の拡大を図った。 さらに女子児童で構成されるチーム同士で競いあう「丸亀なでしこスマイル☆サッカー交流大会」においては、元サッカー日本代表選手によるサッカー教室を同時開催するなど、サッカーの魅力を感じてもらえるよう取り組みを行った。 また、丸亀駅構内に日本サッカー協会（JFA）よりご提供いただいた、なでしこジャパン関連品の展示をこれまでの展示内容に加えて行うなど新たな方向性も取り入れつつ今後も女子サッカーの普及および競技人口の拡大に努める。							
5	事業名	「津島寿一」体育振興補助金				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	800	国支出金	県支出金	地方債	基金運用利子	一般財源	800
R4	800	0	0	0	28	772	執行率
R3	800						100.00 %
事業の趣旨・目的							
丸亀市の文化・スポーツにゆかりの深い、故津島寿一先生の功績を称え、その遺志でもある「地域スポーツ文化の普及・振興」を継承・発展させるため、関係の各種大会等の開催を支援する。							
実施事業の内容							
津島杯等大会・教室開催への補助金 津島杯争奪女子6人制バレーボール大会ほか14大会 (参加者数 延 3,072人) 健康スポーツ教室 はじめての里山歩き入門ほか2教室 (参加者数 延 252人)						800	
事業の成果・課題							
丸亀市スポーツ協会においては、津島杯の大会に加え、全世代を対象とした各種教室を開催するための補助金を交付しており、市民のスポーツに対する意識啓発や競技人口の拡大とともにスポーツ文化の普及・振興を図ることができた。 これからもスポーツ教室を継続して実施することで、市民のスポーツへの意識を高め、健康への寄与に努める。							

款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	2	体育施設費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-------

1	事業名	体育施設管理費					担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	194,024	国支出金	県支出金	地方債	広告料等	一般財源	195,645	
R4	182,592	0	4,799	0	17,796	171,429	執行率	
R3	165,792						99.17 %	

事業の趣旨・目的

市内の体育施設を安全かつ効率的に運営し、それぞれの形態に応じた管理業務を行う。

実施事業の内容

光熱水費	676
丸亀市民体育館ほか指定管理料	135,097
丸亀市民体育館ほか指定管理料（光熱水費）	23,650
体育施設管理ほか業務委託料	20,962
土器川公園し尿汲取料	221
使用料及び賃借料	951
飯山総合運動公園駐車場ほか土地借上料	840
体育施設利用者貸出用AED借上料ほか	111
工事請負費	3,518
飯山総合運動公園ちびっこ広場便所洋式化改修工事ほか	
原材料費	102
土器川公園用花崗土	
体育施設修繕料	6,123
丸亀市民球場医務控室前雨漏り修繕ほか	
卓球台ほか備品購入費	2,054
中津万象園トイレ使用光熱水費負担金	240
事務費等	430

体育施設利用状況

(単位:人)

管 理 施 設 名		利用人数	管 理 施 設 名		利用人数
丸亀市民体育館	メインアリーナ	52,212	丸亀市 総合運動公園	陸上競技場	0
	サブアリーナ	18,299		テニスコート	27,773
	体育指導相談室	4,144		自由広場	10,700
	別館会議室	9,787		第1多目的広場	9,965
	小 計	84,442		第2多目的広場	1,250
土器川体育 センター	アリーナ	25,124		屋根付き広場	5,750
	多目的ホール	7,520		アーバンスポーツパーク	2,892
	更衣室温水シャワー	222		小 計	58,330
	小 計	32,866	丸亀市民球場		68,953
飯山総合運動公 園体育館	メインアリーナ	30,430	郡家運動広場		7,945
	サブアリーナ	18,298	丸亀市野外活動センター		59,935
	トレーニングルーム	1,975	中津運動公園		10,616
	健康相談室	598			
	会議室	3,731			
	更衣室温水シャワー	44			
	小 計	55,076			

〔表の続き〕

飯山総合運動公園	多目的広場	18,579	丸亀土器川公園	野球場	19,440
	テニスコート	9,593		ソフトボール場	20,437
	ちびっこ広場・その他	24,461		サッカー場	21,852
	小 計	52,633		自由広場・その他	48,690
蓮池公園	ゲートボール場	3,845	土器川河川公園	小 計	110,419
	テニスコート	6,861			
	自由広場	33,543			
	健康運動センター	10,262			
	小 計	54,511			
三浦運動広場		6,917	飯山土器川公園	野球場	6,995
広島西運動公園	運動場	0		サッカー場	6,650
	体育館	0		ゲートボール場	1,330
	小 計	0		小 計	14,975
綾歌総合運動公園	テニスコート	3,183	綾歌土器川公園	野球場	1,620
				サッカー場	6,790
				小 計	8,410
			合 計		649,261
畦田キャンプ場		1,868			

事業の成果・課題

指定管理者制度の活用、地元への業務委託により、体育施設の維持管理コストの抑制に努めることができた。さらに受託団体においては、より安全で効率的な管理運営に向け、利用者の要望やニーズ把握、またサービスの充実等により、利用者の満足度向上を図ることができた。

2	事業名	体育施設整備費（単独事業）				担当課	スポーツ推進課
	決算額	事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	776,186	国支出金	県支出金	地方債	助成金等	一般財源	823,466
R4	116,193	0	0	626,400	18,000	131,786	執行率
R3	296,796						94.26 %

事業の趣旨・目的

老朽化している体育施設の改修及び整備を計画的に行う。

実施事業の内容

【予算現額のうち翌年度繰越額】（33,213）

三浦運動広場トイレ整備事業費	7,800
工事請負費	7,800
体育施設LED照明整備事業費	383,400
発掘作業業務派遣委託料	102
重機等借上料	483
建設工事関連委託料	4,037
第1多目的広場夜間照明設備整備に伴う設備設計ほか	
工事請負費	378,660
丸亀市民球場及び第1目的広場LED照明整備工事ほか	
事務費等	118

飯山総合運動公園体育館改修事業費	19,085
建設工事関連委託料	19,085
飯山総合運動公園体育館長寿命化改修に伴う主体設計ほか	
スケートボードパーク等施設整備事業費	365,901
スケートボードパークオープニングセレモニー業務委託料	1,881
看板製作委託料	205
建設工事関連委託料	5,982
工事請負費	357,441
事務費等	392

事業の成果・課題

丸亀市民球場内の夜間照明をLEDに交換し、第1多目的広場にLED夜間照明を整備した。丸亀市総合運動公園ではアーバンスポーツパークの完成・運用により施設の利用促進を図った。また、令和6年度以降の飯山総合運動公園体育館の大規模改修の実施に向けて必要な調査や設計を行った。そして三浦運動広場トイレ改修は令和6年度中の完成に向けて取り組む。

款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	3	学校給食センター費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-----------

1	事業名	学校給食センター管理運営費				担当課	学校給食センター
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	579,569	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	596,879
R4	572,705	0	0	0		579,569	執行率
R3	536,217						97.10 %

事業の趣旨・目的

安全安心な学校給食を提供するため、給食センター4施設を維持管理し、適切な衛生管理を図るとともに、異物混入や食中毒対策など食の安全性を確保しながら、子どもたちに正しい食に関する知識と望ましい食習慣を育んでいく。

実施事業の内容

学校給食センター施設費	194,630
学校給食センター運営費	384,939
職員給与等	130,979
会計年度任用職員報酬等（34人）	62,309
中央及び飯山学校給食センター調理等業務委託料	178,890
学校給食管理システム保守業務委託料	616
配送業務委託料	4,301
その他	7,844

事業の実績

・給食実施回数及び食数

	中央		第二		本島		飯山		計
	回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数	食数
幼稚園	190	17,107	190	18,532	—	—	—	—	35,639
こども園	230	46,572	—	—	—	—	214	26,443	73,015
小学校	197	534,971	196	453,137	191	2,036	198	213,101	1,203,245
中学校	193	304,674	181	145,475	192	2,253	188	86,812	539,214
センター	230	10,385	197	7,629	193	579	205	5,122	23,715
計	—	913,709	—	624,773	—	4,868	—	331,478	1,874,828

・アレルギー対応給食実施状況

「丸亀市食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、中央及び第二学校給食センターで代替食及び除去食を実施している。

実施対象食品	鶏卵、牛乳、果物（キウイ・メロン・バナナ）					
実施校数	20校	（小学校12校	中学校 5校	こども園1園	幼稚園2園）	
実施児童数	62名	（小学校47名	中学校12名	こども園1名	幼稚園2名）	

・有機農産物の利用状況

有機給食の実施

12月8日	（小学校16校	中学校6校	幼稚園4園	こども園3園	保育所3園）
2月16日	（小学校16校	中学校6校	幼稚園4園	こども園3園	保育所3園）

登録有機生産者数 3件 (市内2件 県内1件)

・残菜率

(単位: %)

	中央			第二			本島		飯山		
	幼稚園 こども園	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	小学校	中学校	こども園	小学校	中学校
年平均	6.1	6.2	5.0	6.0	3.3	6.5	0.0	0.0	8.1	3.3	4.2

※食品残渣発酵分解装置への食品残渣及び残菜投入量 約35 t

・丸亀市学校給食センター運営委員会

【委嘱期間】令和5年6月1日～令和6年5月31日

【開催日】令和5年4月20日・令和5年7月13日・令和5年11月9日・令和6年3月18日

事業の成果・課題

子どもたちに安全安心でおいしい学校給食を円滑に提供するとともに、異物混入などが起きないように衛生・安全管理を徹底している。また、望ましい食習慣の形成と、日本の伝統的な食文化である「和食」の継承を目的とした米飯給食や、有機農産物を利用した有機給食などに取り組んでいる。さらに、食品残渣を堆肥化し、地産農家へ配布して循環型社会の形成に取り組んだ。

2	事業名	学校給食費公会計事業費					担当課	学校給食センター
	決算額	事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)						予算現額
R5	569,137	国支出金	県支出金	地方債	学校給食費等	一般財源		576,300
R4	530,634	0	10,949	0	99,097	459,091		執行率
R3	521,601							98.76 %

事業の趣旨・目的

給食物資については、良質、安全、安価な物資を適正に調達するため、丸亀市学校給食物資選定委員会を毎月開催する。また、日々の給食物資の荷受けに当たっては、品質や鮮度などの検収体制の強化に努める。

学校給食費の徴収については、保護者負担の公平性の原則に立ち、滞納者への納付促進に努める。

実施事業の内容

会計年度任用職員報酬等 (3人)	7,531
賄材料費	385,504
香川県給食会負担金 (パン、牛乳)	168,741
中讃広域行政事務組合負担金	3,943
その他	3,418

・丸亀市学校給食物資選定委員会 毎月10日前後に開催 (翌月の学校給食物資の選定)

・令和5年度給食費等支援補助金の状況

補助要件	対象者 (人)	支給額 (円)
特別支援学校	38	1,426,866
アレルギー対応 (弁当等)	2	71,625
合 計	40	1,498,491

・滞納給食費の徴収状況 (学校給食費無償化以前分)

調定額 (円)	徴収済額 (円)	未納額 (円)	徴収率 (%)
2,625,387	1,399,527	1,225,860	53.31

事業の成果・課題

学校給食費は、令和4年12月から継続して無償化を実施している。また、令和5年度から給食費等支援補助金制度を設け、特別支援学校に通う児童生徒及びアレルギー等により弁当を持参している児童生徒に補助金を交付した。

学校給食物資の調達については、毎月開催している丸亀市学校給食物資選定委員会で良質かつ安全性の高い物資を選定し、日々の荷受では職員の立会いにより、鮮度と品質等の確認を実施している。

無償化以前の滞納給食費の徴収については、戸別訪問のほか、申出による児童手当からの天引きや、裁判所への支払督促の申立により納付促進に努めた。

3	事業名	学校給食センター施設等整備費（単独事業）				担当課	学校給食センター
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	1,848	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	1,848
R4	1,188	0	0	1,300		548	執行率
R3	1,485						100.00 %

事業の趣旨・目的

安全安心な学校給食を提供するために、施設や設備の改修や更新を適切に進める。

実施事業の内容

第二学校給食センター消毒保管機購入事業費 1,848

事業の成果・課題

食器用蒸気式消毒保管機の購入により、衛生・安全管理につながっている。
施設や設備については、引き続き定期的に点検を実施し、計画的な改修や更新を進めていく。

4	事業名	新第二学校給食センター施設整備事業費				担当課	学校給食センター
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	14,734	国支出金	県支出金	地方債		一般財源	15,500
R4	—	0	0	0		14,734	執行率
R3	—						95.06 %

事業の趣旨・目的

第二学校給食センターの建替えに向けて、整備手法や調理業務の運営方針について準備を進める。

実施事業の内容

新第二学校給食センター整備事業費 14,734

基本計画策定及び民間活力導入可能性調査業務委託料	10,340
地歴調査業務委託料	220
地質調査業務委託料	4,174

事業の成果・課題

建設計画地の地歴調査・地質調査のほか、基本計画の策定や民間活力導入可能性調査において、新第二学校給食センターの整備・運営の方向性を定めた。

款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	4	市民球場費
---	----	-----	---	---	-------	---	---	-------

1	事業名	市民球場利活用推進事業費				担当課	スポーツ推進課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）					予算現額
R5	12,052	国支出金	県支出金	地方債	剰余金等	一般財源	12,180
R4	12,000	0	0	0	8,481	3,571	執行率
R3	12						98.95 %

事業の趣旨・目的

プロ野球の開催など、球場を利活用することを通して、市外・県外からの交流人口の増加を図り、地域活力の向上につなげる。

実施事業の内容

プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦開催業務委託料 12,052
 7/29 来場者数4,149人 7/30 来場者数3,155人
 7/31 野球教室参加者数100人

事業の成果・課題

天候にも恵まれて市内外からの来場者が2年連続過去最高となった。今後も丸亀市民球場における恒例イベントとして取り組む。

款	12	公債費	項	1	公債費	目	1	元金
---	----	-----	---	---	-----	---	---	----

1	事業名	長期債償還金					担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	5,751,008	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源		5,751,010
R4	5,808,952	0	0	0	30,492	5,720,516		執行率
R3	5,670,241							100.00 %

事業の趣旨・目的

地方財政法第5条に基づき発行した市債の元金を償還する。

実施事業の内容

長期債償還元金

5,751,008

償 還 先	償 還 額
財務省（財政融資資金）	1,656,251
旧郵政公社（郵貯資金、簡保資金）	244,612
地方公共団体金融機構（旧公営企業金融公庫含む）	1,029,021
市中銀行等	2,635,435
共済等	143,992
香川県（県貸付金）	41,697
合 計	5,751,008

事業の成果・課題

公共施設の老朽化対策に伴う起債の償還が本格化するなか、公債費が50億円を超える状況が今後一定期間続くものと見込んでいる。

毎年度決算時に改訂する中期財政フレームの改訂作業を通して、今後の地方債残高や公債費の動向を監視していくほか、可能な限り財政措置の有利な起債の活用を図りながら適正管理に努めていく。

款	12	公債費	項	1	公債費	目	2	利子
---	----	-----	---	---	-----	---	---	----

1	事業名	長期債利子					担当課	財務課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	135,502	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源		135,510
R4	143,754	0	0	0	2,627	132,875		執行率
R3	178,743							99.99 %

事業の趣旨・目的

地方財政法第5条に基づき発行した市債の利子を償還する。

実施事業の内容

長期債償還利子

135,502

償 還 先	償 還 額
財務省（財政融資資金）	40,953
旧郵政公社（郵貯資金、簡保資金）	1,552
地方公共団体金融機構（旧公営企業金融公庫含む）	22,211
市中銀行等	68,867
共済等	1,872
香川県（県貸付金）	47
合 計	135,502

事業の成果・課題

過去に発行した高金利の市債が徐々に償還を終える中、近年は比較的低金利での発行が続いていることや発行後10年を経過した市債の利率見直しを実施することで金利負担は減少しているが、今後の金利負担の増加が危惧される。

長期債償還元金とともに、中期財政フレームにおいて動向を注視しながら、引き続き公債費の適正管理に努める。

国民健康保険特別会計

1	事業名	国民健康保険事業					担当課	税務課・健康課・ 保険課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	11,518,490	国支出金	県支出金	地方債	保険税等	一般財源		12,516,246
R4	11,788,483	316	8,457,770	0	1,868,860	1,191,544		執行率
R3	12,269,625							92.03 %

事業の趣旨・目的

国民健康保険制度における資格管理、被保険者に係る疾病・負傷・出産・死亡等に要する保険給付及び健康保持増進に向けた保健事業等を実施することにより、地域住民の福祉増進を図る。

実施事業の内容

1	総務費	202,064
	職員給与等	88,816
	レセプト電算処理等事務費	33,739
	国民健康保険団体連合会負担金	14,078
	中讃広域行政事務組合負担金 （国保賦課情報・国保滞納整理割等）	57,219
	賦課徴収事務費	6,656
	納税奨励費	1,371
	国民健康保険運営協議会費	185

国保加入状況

区 分	年度末		年間平均		
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	増 減
被保険者数	20,408 人	19,439 人	20,988 人	19,948 人	△ 1,040 人

2	保険給付費	8,321,861
	保険給付状況	

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減
療養諸費件数	401,570 件	391,617 件	△ 9,953 件
療養諸費保険者負担額	7,316,650 千円	7,146,530 千円	△ 170,120 千円
高額療養費	1,114,941	1,116,948	2,007
出産育児一時金	22,948	22,440	△ 508
葬 祭 費	7,650	8,100	450
移 送 費	0	0	0

〔表の続き〕

審査支払手数料	27,071 千円	27,733 千円	662 千円
傷病手当金	3,440	110	△ 3,330

被保険者1人当たり療養諸費費用額の状況

区 分	令和4年度	令和5年度	増 減
一 般	469,156 円	483,271 円	14,115 円

3 国民健康保険事業費納付金		2,812,974
一般被保険者医療給付費分	1,976,136	
退職被保険者等医療給付費分	0	
一般被保険者後期高齢者支援金等分	639,671	
退職被保険者等後期高齢者支援金等分	0	
介護納付金分	197,167	
4 保健事業費		113,816
医療費通知等保健指導事業	9,728	
データヘルス計画事業費	10,726	
人間ドック助成事業費	11,864	
地域医療確保等対策事業費	12,470	
特定健康診査事業	62,681	
特定保健指導事業	6,347	

保健事業の実施状況

区 分	事業実績
医療費通知	年1回通知 計 18,624件 送付
ジェネリック（後発）医薬品	差額通知 年2回通知 計 1,198件 送付 普及率 81.1% （令和6年3月診療分）
糖尿病性腎症重症化予防事業	対象者571人 案内 参加者17人
人間ドック費用助成	日帰り （上限15,000円補助） 730人 1泊2日 （上限20,000円補助） 46人

特定健康診査等の状況

区 分	受診人数
特定健康診査 個別（医療機関）	4,986
集団 （35歳～39歳の特定健診）	778 59
特定保健指導	125

※集団特定健康診査のうち
インターネット予約 397人

5 基金積立金		1
（参考） ※財政調整基金積立金現在高	970	

6	諸支出金		9,227
	償還金及び還付加算金	9,227	
	(保険税過誤納還付金、還付加算金)		
	高額療養費貸付金	0	
7	診療所への繰出金		58,547

事業の成果・課題

「第2期データヘルス計画」に基づき、被保険者の疾病予防や健康づくり推進のため、医療機関等との連携による糖尿病性腎症重症化予防事業、人間ドック費用の一部助成、特定健康診査等を実施した。

また、後発医薬品普及促進のための取組及び5大疾病の一つである糖尿病の特集を組んだ「国保だより」を国保全世帯に配布し、医療費適正化の周知・啓発を行う等、効果的かつ効率的な保健事業を実施した。

特定健康診査等については、令和4年度より対象者を「35歳～39歳」に広げており、合わせて保健指導も実施している。集団特定健康診査は、インターネットからの予約が半数を超えており、受診につながりやすい環境づくりが定着してきている。

なお、働く世代の被用者保険の適用拡大等により、国民健康保険被保険者数は減少しているものの、国保被保険者の年齢構成は、より医療を必要とする65歳以上の前期高齢者が全体のほぼ半数を占めている。その他にも医療技術の高度化もあり、1人当たりの療養諸費費用額は、依然として増加傾向にあるため、被保険者の健康寿命の延伸と医療費適正化の両面から、国の保険者支援制度の財源を十分に確保し、効率的で質の高い保健事業を推進いたしたい。

国民健康保険診療所特別会計

1	事業名	国民健康保険診療所事業					担当課	保険課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	82,406	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源		107,500
R4	159,041	0	0	0	23,859	58,547		執行率
R3	147,954							76.66 %

事業の趣旨・目的

医療機関の無い広島・本島地区において国保直診診療所を安定的に運営することにより、島民の医療を受ける機会を確保する。

実施事業の内容

1	総務費	職員給与等 診療事務費	36,092 28,711	64,803
2	医業費	医薬材料費等		15,338
3	公債費	長期債償還元金 長期債償還利子	1,984 281	2,265

診 療 状 況	区 分		令和4年度	令和5年度	増 減
	国 保	件数	429 件	376 件	△ 53 件
		実日数	562 日	492 日	△ 70 日
		金額	4,678 千円	3,761 千円	△ 917 千円
	社 保	件数	195 件	157 件	△ 38 件
		実日数	230 日	181 日	△ 49 日
		金額	1,683 千円	1,238 千円	△ 445 千円
	後期高齢	件数	1,186 件	1,091 件	△ 95 件
		実日数	1,734 日	1,551 日	△ 183 日
		金額	18,150 千円	14,868 千円	△ 3,282 千円
	生活保護	件数	56 件	25 件	△ 31 件
		実日数	100 日	30 日	△ 70 日
		金額	705 千円	226 千円	△ 479 千円
	その他の診療	件数	704 件	1,181 件	477 件
		実日数	704 日	1,181 日	477 日
金額		3,082 千円	3,323 千円	241 千円	
合 計	件数	2,570 件	2,830 件	260 件	
	実日数	3,330 日	3,435 日	105 日	
	金額	28,298 千円	23,416 千円	△ 4,882 千円	
文 書 料	金額	166 千円	85 千円	△ 81 千円	

※窓口一部負担金及び公費負担金を含む

事業の成果・課題

広島及び本島診療所を運営し、訪問診療・往診等を含む医療サービスの提供や各種健診・予防接種などの実施を通じて、島民の健康づくりに努めた。島の人口は減少傾向にあり、患者数も減っていることから診療収入は年々下がっているが、診療所は島民の健康を支える拠点施設であり、今後も維持継続していきたい。

駐車場特別会計

1	事業名	駐車場事業					担当課	都市計画課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	121,460	国支出金	県支出金	地方債	使用料等	一般財源		122,174
R4	116,779	0	0	0	121,460	0		執行率
R3	104,394							99.42 %

事業の趣旨・目的

道路交通の円滑化や市民の安全と福祉の増進等に資するために設置する市内6か所の市営駐車場について、効果的・効率的な管理運営を行う。

実施事業の内容

駐車場管理費	121,449
委託料	59,370
駐車場指定管理委託料	58,497
パーキングシステム変更業務委託料	576
丸亀市営駅前地下駐車場雨水槽内清掃業務委託料	297
工事請負費	5,570
大手町第一駐車場間仕切り設置工事費	524
大手町第二駐車場屋上街灯移設工事費	182
大手町第一駐車場屋外街灯電源整備工事費	62
大手町第二駐車場精算機器他撤去移設工事費	186
大手町第二駐車場移動式粉末消火設備撤去処分工事費	378
駅前地下駐車場雨水ポンプ制御一部改修工事費	126
駅前地下駐車場雨水槽排水ポンプ改修工事費	891
その他 3件	3,221
その他管理費	153
公課費	5,517
一般会計繰出金	50,839
公債費	11
長期債償還利子	11

駐車場利用状況

駐車場の名称	区画数(台)	利用台数(台)	使用料(千円)
駅 前 地 下 駐 車 場	263	214,194	45,112
福 島 駐 車 場	345	59,802	11,905
大 手 町 第 一 駐 車 場	248	55,499	15,099
大 手 町 第 三 駐 車 場	14	9,020	4,187
港 駐 車 場	95	26,891	9,155
大 手 町 西 駐 車 場	137	71,072	35,611
合 計	1,102	436,478	121,069

事業の成果・課題

各駐車場の精算機について、国の制度改正に関してインボイス対応するための改修を行った。大手町周辺の駐車場についても、今後の4街区再編整備などを見据えて利用促進を図っていく。

後期高齢者医療特別会計

1	事業名	後期高齢者医療事業					担当課	税務課・健康課・ 保険課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	1,724,265	国支出金	県支出金	地方債	保険料等	一般財源		1,741,581
R4	1,654,637	0	0	0	1,359,635	364,630		執行率
R3	1,523,913							99.01 %

事業の趣旨・目的

香川県後期高齢者医療広域連合と連携し、被保険者の申請受付や保険料徴収などを行い、市民の利便性を図るとともに、保健事業を実施し、被保険者の健康増進に努める。

実施事業の内容

1	総務費	27,120
	職員給与等	8,860
	資格管理等事務費	15,365
	徴収等事務費	2,895

後期高齢者医療制度加入状況

令和6年3月末現在

		年齢層別被保険者数 (人)								
			現役並み所得者				一般 I	一般 II	低所得者 I	低所得者 II
			現役 I	現役 II	現役 III					
被 保 険 者 数	65歳～69歳	10	1	1	0	0	2	1	3	3
	70歳～74歳	39	2	1	1	0	9	4	14	10
	75歳～79歳	7,129	576	376	103	97	2,606	1,485	466	1,996
	80歳～84歳	4,723	276	202	43	31	1,570	975	542	1,360
	85歳～89歳	3,182	144	92	24	28	952	636	510	940
	90歳～94歳	1,726	65	42	13	10	384	301	401	575
	95歳～99歳	559	17	13	3	1	143	68	182	149
	100歳～	75	1	0	0	1	15	7	36	16
	計	17,443	1,082	727	187	168	5,681	3,477	2,154	5,049

2	後期高齢者医療広域連合納付金	1,647,381
	保険基盤安定分	339,630
	保険料分	1,307,751
3	諸支出金	666
	償還金及び還付加算金 (保険料過誤納還付金、還付加算金)	666
4	保健事業費	49,098
	健康診査等事業費	
	後期高齢者健康診査	受診者数 4,888人

事業の成果・課題

後期高齢者医療制度における各種申請・届出等の窓口受付及び保険料徴収を行うとともに、後期高齢者医療広域連合から委託された健康診査事業等を実施し、被保険者の健康増進や疾病予防に努めた。

本市及び香川県における後期高齢者1人当たりの医療費は、全国平均よりも高い水準で推移している。今後も被保険者の増加に伴い、医療費も増加が見込まれることから、広域連合と連携し、高齢者の特性を踏まえつつ、健康寿命の延伸に向けた取組や医療費適正化を図るための保健事業を積極的に推進したい。

介護保険特別会計

1	事業名	介護保険事業					担当課	税務課・高齢者支援課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	8,930,733	国支出金	県支出金	地方債	保険料等	一般財源		9,247,858
R4	8,717,196	1,982,672	1,272,233	0	4,172,315	1,503,513		執行率
R3	8,848,032							96.57 %

事業の趣旨・目的

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となっても、自らの尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう住民の保健医療の向上及び福祉の増進を図る。

実施事業の内容

1 総務費 197,430

職員給与等	69,544
地域密着型サービス運営委員会委員報酬	147
地域包括支援センター運営協議会委員報酬	147
賦課徴収費	3,843
中讃広域行政事務組合負担金（情報センター）	27,867
介護認定審査会費（中讃広域行政事務組合負担金）	19,727
会計年度任用職員報酬等（20人）	48,132
主治医意見書作成料	18,625
趣旨普及用冊子作成	1,096
計画策定委員会費	5,524
事務費等	2,778

第1号被保険者数 32,020 人 (令和6年3月末現在)

要介護認定申請件数

新規調査	変更調査	更新調査	合 計
1,460	811	1,831	4,102

要介護認定者数 (令和6年3月末現在)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
第1号被保険者	843人	1,170人	1,128人	807人	615人	620人	396人	5,579人
第2号被保険者	7人	22人	9人	23人	10人	16人	10人	97人
合 計	850人	1,192人	1,137人	830人	625人	636人	406人	5,676人

2 保険給付費 8,043,336

介護サービス等諸費	7,281,669
介護予防サービス等諸費	405,015
審査支払手数料（県国保連合会）	9,965
高額介護サービス等費	169,231
特定入所者介護サービス等費	150,121
高額医療合算介護サービス等費	27,335

保険給付費の内訳

	令和4年度		令和5年度		前年度比 (%)
	件数	給付金額	件数	給付金額	
訪問介護	7,862	487,435	7,852	491,174	100.8
訪問入浴介護	528	33,399	579	38,824	116.2
訪問看護	3,830	160,902	4,336	188,670	117.3
訪問リハビリテーション	299	11,280	314	12,348	109.5
居宅療養管理指導	5,804	47,904	6,818	55,551	116.0
通所介護	8,639	758,806	8,224	757,447	99.8
通所リハビリテーション	10,732	598,354	11,115	618,141	103.3
短期入所生活介護	2,871	403,233	3,043	402,526	99.8
短期入所療養介護(老健施設)	117	9,216	149	11,693	126.9
短期入所療養介護(介護医療院)	8	454	12	841	185.2
福祉用具貸与	26,567	288,059	27,454	300,889	104.5
福祉用具購入費	456	12,172	455	12,661	104.0
住宅改修費	356	25,605	433	29,433	115.0
特定施設入居者生活介護	2,025	331,985	1,871	297,811	89.7
介護予防支援・居宅介護支援	35,351	376,488	35,946	382,940	101.7
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	12	2,047	95	12,889	629.7
夜間対応型訪問介護	-	-	4	1,276	皆増
地域密着型通所介護	2,932	239,267	3,160	267,606	111.8
認知症対応型通所介護	145	16,050	129	10,600	66.0
小規模多機能型居宅介護	1,060	185,311	948	163,409	88.2
認知症対応型共同生活介護	1,825	458,208	1,939	481,470	105.1
地域密着型特定施設入居者生活介護	352	66,853	355	64,281	96.2
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	975	276,166	960	283,607	102.7
看護小規模多機能型居宅介護	383	98,089	545	132,274	134.9
介護老人福祉施設	4,752	1,205,638	4,734	1,219,944	101.2
介護老人保健施設	4,745	1,283,690	4,742	1,303,854	101.6
介護療養型医療施設	11	3,565	17	5,404	151.6
介護医療院	373	129,411	406	139,121	107.5
特定入所者介護(介護予防)サービス費	6,468	163,899	6,063	150,121	91.6
審査支払手数料	121,881	9,682	125,436	9,965	102.9
高額介護サービス費	15,295	165,300	15,270	169,231	102.4
高額医療合算介護サービス費	949	27,379	930	27,335	99.8
合 計	267,603	7,875,847	274,334	8,043,336	102.1

3 地域支援事業費(地域包括支援センター実施事業) 349,819

①地域包括支援センター管理費 64,353

職員給与等 64,353

②総合相談支援等事業費 12,518

地域包括支援センターランチ委託料等 12,040

事務費等 478

総合相談件数 4,244 件

権利擁護に関する相談 515 件

地域包括支援センターランチ相談等件数

ランチ設置場所	件数
珠光園老人介護支援センター	245
青の山荘老人介護支援センター	149

〔表の続き〕

たるみ荘老人介護支援センター	273
老人介護支援センター今津荘	78
紅山老人介護支援センター	63
シャローム老人介護支援センター	22

介護教室・相談会 6 回 参加者数 66 人

③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費 198

介護サービス事業者連絡会 開催数 10 回

④任意事業費 3,024

成年後見制度利用支援事業費 813

市長による成年後見申立 10 件

成年後見人報酬助成 8 件

介護給付適正化事業費 2,211

介護保険適正化研修会 (WEB) 2 回 参加事業者数 135 事業所

ケアマネジメント力向上研修 1 回 参加事業者数 6 事業所

給付実績等管理指導 20 事業所

⑤認知症総合支援事業費 7,690

認知症初期集中支援チーム 対応者数 37 人

介護者支援教室 6 回 参加者数 70 人

認知症サポーター養成講座 57 回 参加者数 2,443 人

認知症カフェ 169 回 参加者数 2,054 人

⑥在宅医療・介護連携推進事業費 7,720

在宅医療・介護連携推進事業等委託料 7,362

事務費等 358

地域包括ケアシステム推進協議会 1 回開催

⑦生活支援体制整備事業費 2,253

生活支援体制整備委託料 2,250

事務費等 3

協議体の設置数 11 か所 話し合いの場 61 回開催

生活支援コーディネーター 16 人

⑧介護予防・生活支援サービス事業費 242,005

介護予防・生活支援サービス事業費 214,309

介護予防・生活支援サービス事業費の内訳

	件数	事業費
訪問型サービス (現行相当サービス)	4,080	76,384
通所型サービス (現行相当サービス)	6,257	135,302
介護予防ケアマネジメント	22	92
高額介護予防サービス事業等費	173	799
訪問型サービス A (委託型)	787	1,732
合 計		214,309

介護予防ケアマネジメント事業費 27,696

会計年度任用職員報酬等 (7人) 22,312

介護予防ケアマネジメント業務委託料 5,011

事務費等 373

介護予防ケアマネジメント件数

	件数
介護予防ケアマネジメント件数 (全体)	3,804
地域包括支援センター分	2,734
委託分	1,070

⑨一般介護予防事業費 9,235

会計年度任用職員報酬等 (2人) 2,976

ケーブルテレビ広報番組制作・放映委託料 990

運動指導事業委託料 90

運動教室委託料 3,385

健口教室委託料 480

運動処方プログラム委託料 440

事務費等 874

介護予防講演会等 17 回 参加者延人数 408 人

運動教室 337 回 参加者延人数 6,265 人

健口教室等 24 回 参加者延人数 210 人

元気いっぱい長生き体操 49 か所

ケーブルテレビ広報番組制作・放映 毎日放映 (15分番組)

丸亀市公式YouTube配信動画作成 (認知症・食生活改善・オーラルフレイル等)

⑩審査支払手数料 823

4 基金積立金 143,292

介護給付費準備基金積立金 143,292

5 諸支出金 195,681

第1号被保険者保険料還付金等 1,694

償還金 193,987

6 繰出金 1,175

一般会計繰出金 1,175

7 歳入の内訳 9,196,516

① 介護保険料 1,908,960

② 手数料 1,081

③ 国庫支出金 1,982,672

④ 支払基金交付金 2,233,328

⑤ 県支出金 1,272,233

⑥ 財産収入 611

⑦ 繰入金 1,503,513

⑧ 繰越金 290,414

⑨ 諸収入 3,704

事業の成果・課題

介護保険制度は、高齢者の介護を社会全体で支える仕組みとして定着し、介護保険サービスは市民の生活に密接に関わっている。今後も介護保険サービスの利用件数の増加に伴う給付費増、また認知症や一人暮らし高齢者の増加といった課題に対応するため、地域包括ケアシステムの構築や介護給付の適正化などに取り組んでいく。高齢者が自ら進んで介護予防に取り組めるよう周知・啓発に努め、身近な場所で継続的に介護予防ができるよう地域づくりを推進する。

介護保険サービス事業特別会計

1	事業名	介護保険サービス事業					担当課	高齢者支援課
決算額		事業の財源内訳 (基金は一般財源に含む)						予算現額
R5	108,664	国支出金	県支出金	地方債	予防給付費等	一般財源		114,300
R4	106,390							執行率
R3	110,952	0	0	0	59,211	49,453		95.07 %

事業の趣旨・目的

要支援1、2の要介護認定を受け、介護サービス利用を希望する人に対して、自立支援の観点から介護予防給付に係る介護予防ケアマネジメントを行う。

実施事業の内容

1	総務費						44,409
	職員給与等					44,409	
2	事業費 (介護予防サービス計画事業費)						64,255
	介護予防支援件数						
	全体						
	初回加算 359 件 連携加算 179 件				介護予防支援費	13,141 件	
	うち地域包括支援センター分						
	初回加算 230 件				介護予防支援費	8,242 件	
	①会計年度任用職員報酬等 (12人)					37,923	
	②介護予防支援業務委託料					22,382	
	初回加算 129 件 連携加算 179 件				介護予防支援費	4,899 件	
	③中讃広域行政事務組合負担金 (地域包括支援システム)					2,191	
	④事務費等					1,759	

事業の成果・課題

自立支援の観点から介護予防ケアプランを作成し、必要とする人に必要なサービスを提供し、在宅生活を支援することができている。

高齢化が進む中、市民に利用可能なサービス等の情報提供や、心身の健康保持のために必要な援助を行いながら、介護予防サービスが「自立支援」に向けたものであることを理解してもらえよう周知啓発に努めたい。

下水道事業会計

1	事業名	下水道事業（収益事業）					担当課	下水道課
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	2,320,170	国支出金	県支出金	地方債	事業収益	一般財源		2,450,630
R4	2,360,686							執行率
R3	2,646,580	0	0	0	2,320,170	0		94.68 %

事業の趣旨・目的

快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るため、新浄化センターや污水管きよの整備を計画どおり実施するとともに、下水道施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画に基づき改築工事を実施するほか、農業集落排水処理施設の公共下水道への編入に向けた実施設計業務及び工事を着実に進める。

また、浸水対策として、今津排水区ではポンプ場建設工事を進めるほか、土器排水区では現状を調査分析し対策検討を実施する。

実施事業の内容

一般会計繰入金（営業収益 588,764、営業外収益 302,952） 891,716

収益的収入及び支出（税込み）

下水道事業収益	2,822,373
下水道事業費用(決算額)	2,320,170
収益的収支 支弁人件費	69,030

【剰余金処分案】

減債積立金
144,443
利益積立金
0
建設改良積立金
0
資本金へ組入
0
一般会計繰出
0

資本的収入及び支出（税込み）

資本的収入	3,710,858
資本的支出	4,765,703
資本的収支 支弁人件費	28,757

事業の成果・課題

令和2年度から公営企業会計に移行し、独立採算制を基本とした会計方式になったことから、資金状況を注視しながら、事業運営に努めた。

新浄化センターは機械・電気設備や放流渠などの建設工事を計画どおり実施し、污水管きよの整備も着実に実施できたほか、下水道施設の延命化を図るため、全施設を対象にしたストックマネジメント計画に基づき改築工事を実施した。今後も、計画的かつ適正な施設管理を行い、水環境の保全に努める。

また、農業集落排水処理施設の公共下水道編入に向けて、岡地区と西坂元地区での下水道布設工事を引き続き実施するとともに、赤坂地区の接続工事の発注準備、三谷地区の実施設設計業務に着手したほか、浸水対策として、今津排水区ではポンプ場建設工事を継続して行ない、土器排水区では対策工事の工法検討業務を実施した。

モーターボート競走事業会計

1	事業名	モーターボート競走事業（収益事業）					担当課	ボートレース事業局
決算額		事業の財源内訳（基金は一般財源に含む）						予算現額
R5	132,031,444	国支出金	県支出金	地方債	事業収益	一般財源		137,803,721
R4	141,131,686							執行率
R3	144,793,301	0	0	0	132,031,444	0		95.81 %

事業の趣旨・目的

地域に密着したボートレース場として将来にわたり存続し、その事業活動を通じて、収益を確保し、市財政に安定的に繰出しを継続することにより、公共の福祉に寄与する。

実施事業の内容

一般会計繰出金（営業外費用 3,000,000、前年度剰余金処分 6,000,000） 9,000,000

収益的収入及び支出（税込み）

競走事業収益	140,246,251
競走事業費用（決算額）	132,031,444
収益的収支 支弁人件費	207,971

【剰余金処分案】

減債積立金
0
利益積立金
1,405,153
建設改良積立金
0
資本金へ組入
2,362,216
一般会計繰出
6,500,000

資本的収入及び支出（税込み）

資本的収入	0
資本的支出	3,408,271

事業の成果・課題

令和5年度はナイター照明のLED化工事を実施し、ゼロカーボンの推進に取り組むとともに、タクシー乗場エレベーター設置工事、外向発売所移転拡充工事基本実施設計業務などを行った。また、コミュニティーパーク「グリーンまるがめ」・ボートキッズパーク「モーヴィまるがめ」がオープンし、地域に開かれたボートレース場として順調な船出を果たした。

開催業務については、SG・PGIなどのグレードレースがなかったことや、ナイター照明LED化工事のため開催日数が183日と少なかったことなどから、総売上は対前年比93.7%、1日平均売上は対前年比98.3%と、前年を下回った。しかしながら、GI京極賞開設71周年記念競走やGI第67回四国地区選手権競走では、それぞれ過去最高の売上を記録した。

コロナ禍は収束したものの、物価高に伴う景気の下振れリスクもあり、舟券の売上にも影響するものと考え。そのため第3次中期経営計画に基づく施策を着実に進捗させ、市財政への安定的・継続的な繰出しといった経済的価値はもとより、地域貢献やSDGsの目標達成といった社会的価値も追求し、さらなる企業価値の向上を目指していく。